昭和２４年３月１９日第３種郵便物認可　昭和３５年12月２０日印刷　昭和３５年12月２５日発行　第４１輯第12号　（毎月１回２５日発行）

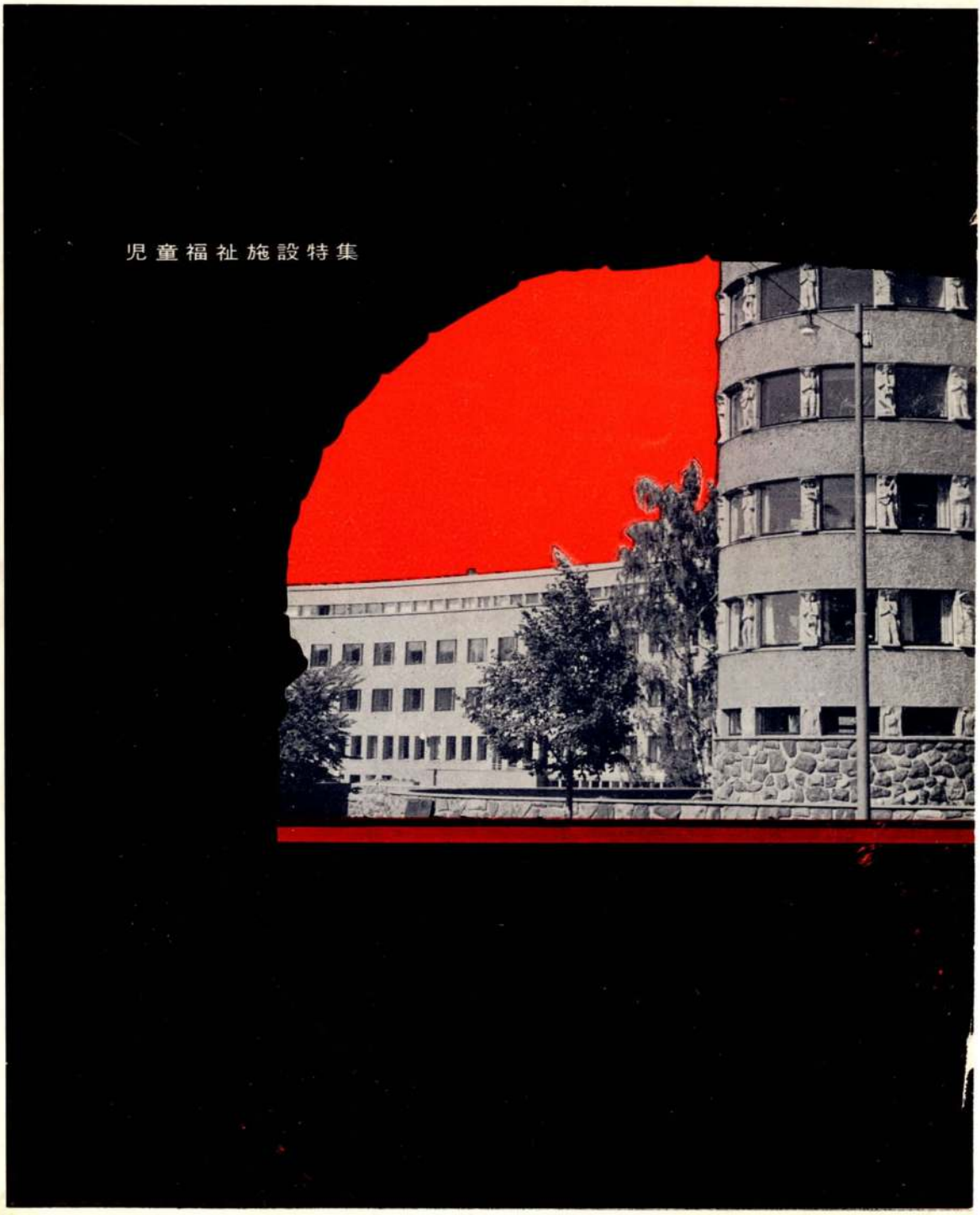
建築と社会

1960 12

日本建築協会

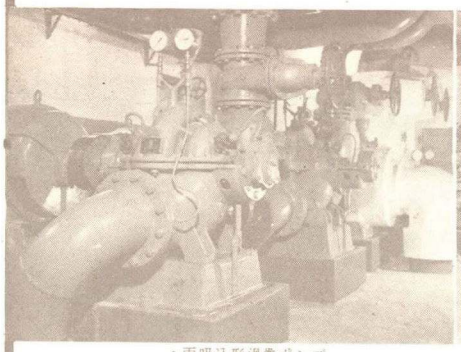
the architectural association of japan

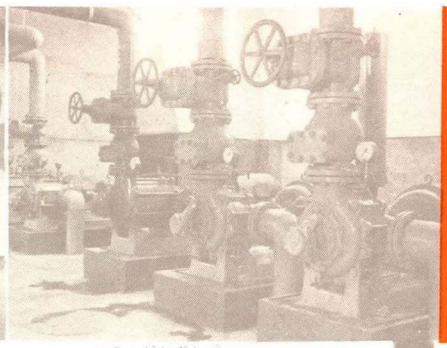
児童福祉施設特集



近代建築の機能を生かす！

建築の設備とこれを生かすそれぞれの機器は近代建築美に調和した設計と機能を備えねばなりません。
日立製作所では、ビルディングに不可欠の各種ポンプを、多年の経験を生かして製作し各方面から絶大な称賛を博しております。

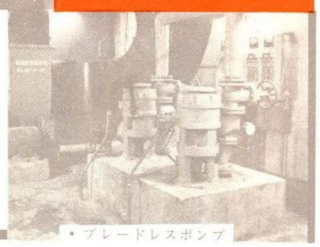

・両吸込形渦巻ポンプ


・タービンポンプ

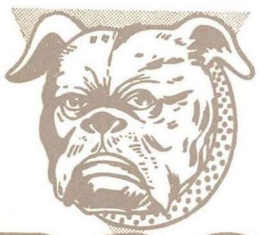
建築設備用
日立ポンプ

ＯＶ型渦巻ポンプ
ＤＶ型両吸込渦巻ポンプ
ＧＭＣ型タービンポンプ
モートルポンプ
汚物用ブレードレスポンプ
水中モートルポンプ
ボアホールポンプ

日立製作所


・ブレードレスポンプ

TRADE MARK



DOG

メンブレン式防水

の補強材料は30余年の経厂を誇る

ドッグ印で!!

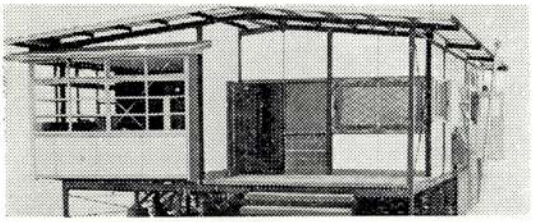
ドッグ印	アスファルトルーフィング
〃	アスファルトフエルト
〃	石綿ルーフィング
〃	砂付ルーフィング
〃	メルタイトルーフィング
〃	キンマレアタイト（高級瀝青金麻布）
〃	ヘッシャンファブリック（瀝青黄麻布）
〃	コットンファブリック（瀝青綿布）
〃	白麻ファブリック（瀝青苧麻布）
〃	ゲオンタイト（伸縮目地板）

地下鉄道、高架鉄道の如き激しい震動箇所でも弊社製品は完璧の防水効果を発揮して居ります

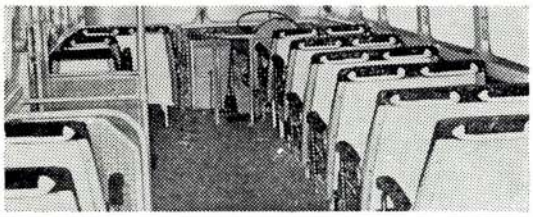
型録・見本・仕様書
御報呈上

株式会社 工英社

本社・工場　大阪市西成区橘通９丁目24番地　電話天下茶屋㊽8861・8862番



アートボンド



米国ＵＳラバー社との
技術提携による
ビニールと金属との積層板

素晴らしい色、ソフトな感じ、しかも耐久性と加工性に富んだ金属板―**アートボンド**が誕生しました。

自由な色や柄をプリントしたビニールフイルムを特殊な方法で強力に鉄板又はアルミ板に接着した、美しい金属板です

アートボンドは建築用、船舶用、自動車、車輛用、工業用、電器用、雑貨用と利用範囲が極めて広く、各方面から多大の期待を集めています。

社名変更・本社移転御通知

社名　(新)八幡エコンスチール株式会社
　　(旧)中之島製鋼株式会社
本社　東京都中央区日本橋江戸橋3丁目2
　　(第2丸善ビル4階)
　　電話東京(201)9261(代)

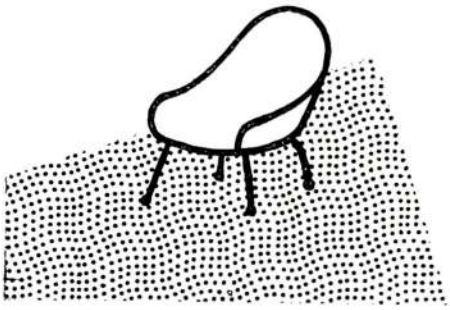
主要製品

軽量形鋼　エコンシートパイル
デッキプレート　ガードレール
サッシバー　サッシフレーム
電縫鋼管　アートボンド

八幡エコンスチール株式会社
大阪工場　大阪市東区今天町4　電代表(94)5031・6031
東京工場　東京都足立区千住関屋町33　電(881)6141-4

八幡製鐵株式会社

皆様の設計と施工に**東洋**の床材



リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンジシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

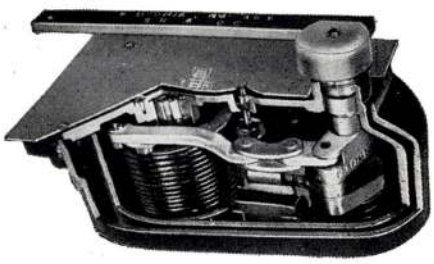
東洋リノリューム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
　　電話 伊丹 代表3531・大阪㊽4490
東京支店　東京都中央区銀座4　三和ビル
　　電話(561)1701・2564
大阪事務所　大阪市東区瓦町2　三和ビル
　　電話(23)0375～0379

S.K

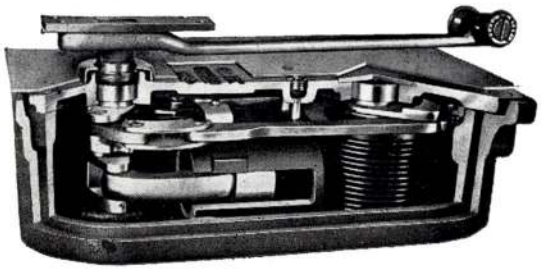
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



（片開持出吊り型）

フロアーヒンヂ　ピボットヒンヂ



（中心吊自由開型）



（ピボット・ヒンヂ持出し吊り型）

（カタログ御入用の節は御申込下さい）

製造元

敷島金物株式会社

布施市横沼町1丁目46番地　電話布施(72)839・7713番
東京都千代田区神田三崎町2／26　電話東京(301)0403(332)5310番

特　許

平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命児」現る！

経費節減 **527万円の利益を生む**

☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額

7′×30′ランカシヤボイラと比較して

527万円益

（但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭6000円/屯
1日24時間1月25日として）

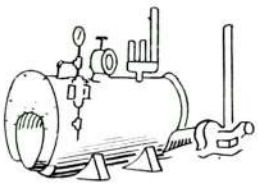
大阪府立工業奨励館

公式試験成績

汽缶効率 **81.2%**

石炭焚にて

排ガス温度 197℃



◁営業科目▷ 平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

株式會社 **平川鉄工所**

本社・工場　大阪市大淀区大仁西2の1　電話福島㊽1975－8
東京営業所　東京都中央区八重洲6の7　電話(281)5883・7787－8
九州出張所　福岡県小倉市富野545　電話小倉⑤1362

あなたの忠実な…

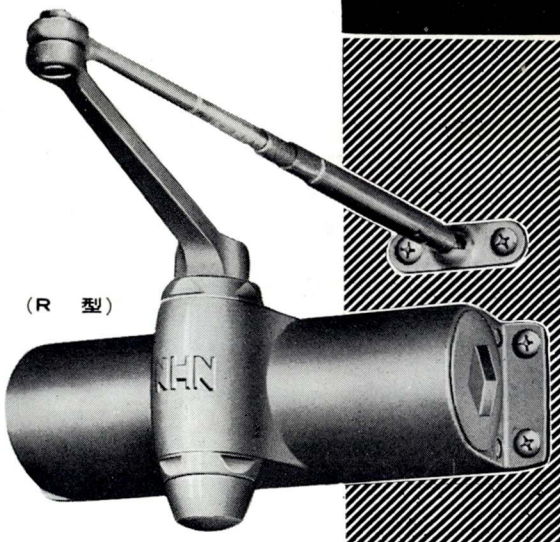
ドアーボーイ！

NHN

＊紫綬褒章に輝く＊

日・米・英・独，各国特許

ニッカナ ドアーチエック



(R 型)

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美
故障絶無

錆びない

岩住の

サッシ・ドアー

弊社製品の総てに

尼崎新工場稼動

オートメーションに依る 錆止メ塗装は 実施致しまして 期しています

ボンデライトを 焼付塗装を 完全防錆を 是非御採用の程願上ます

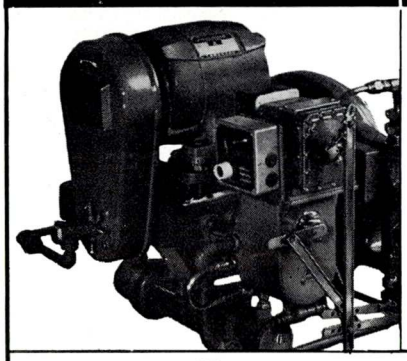
株式会社 岩住鐵工所

本社及本社工場 大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地 電話 (47) 代表 5123・3000

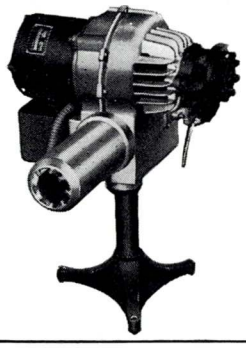
尼崎工場 尼崎市守部字下河原一五番地 電話 (40) 3 7 7 4

最高水準を行く

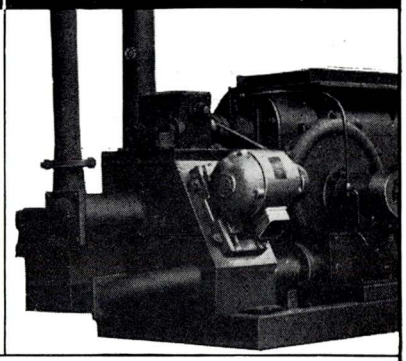
サンレー 重油は
全自動 ロータリー
重油バーナー



サンヒート 軽油は
全自動 ガンタイプ
軽油バーナー



サンレー 石炭は
全自動 ニューマチック
スプレッダー ストーカー



NIKKYO
日共冷熱機材株式会社

本社 大阪市大淀区天神橋筋六丁目五（天六阪急ビル）、
電話 大阪㉟代表 1476（直通）7071（交換）

東京出張所 東京都千代田区神田神保町1丁目
電話 東京 (291) 2718

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル（2粍厚）

新製品



K－タイル（1.5粍厚）

アスタイル

藤森建材株式会社

本社 東京都中央区日本橋通1ノ2（大倉ビル）
電話 東京 (271) 6432～5
大阪出張所 大阪市西区土佐堀通1－1（大同生命ビル内）
電話 大阪 ㊹ 9417～8・8461～4
九州出張所 福岡市薬院大通2－73 電話 福岡 ④1945・⑤3473



最新の設備
優秀な製品

三和シヤッター

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

三和シヤッター株式会社

本店　尼崎市久々知字コエ23　電話大阪 代表 (40) 5341

札幌支店	札幌市琴似町琴似522	電話 (5) 6873 (3) 7438	
旭川営業所	旭川市常盤通3丁目	電話 (2) 5097	
帯広出張所	帯広市西二条南7丁目6	電話 3856・3857	
東北支店	仙台市土樋112	電話 (3)3296・9618	
秋田営業所	秋田市楢山虎ノ口外張新町9	電話 2783	
新潟営業所	新潟市春日町西2丁目	電話 (3) 1443	
会津若松出張所	会津若松市西栄町496	電話 2388	
東京支店	東京都新宿区新宿1丁目60	電話 (341)2478・9678・3696	
神田営業所	東京都千代田区神田松住町12山京ビル	電話 (291)3841～5	
神奈川営業所	横浜市中区官川町1丁目6	電話 (3) 8023	
群馬営業所	高崎市通町49	電話 5755	
栃木営業所	宇都宮市東塙田町198	電話 5374	
甲府営業所	甲府市紅梅町21	電話 2442	
名古屋支店	名古屋市中村区広井町2丁目46八洲ビル	電話 (54)2846・(55) 9786	
静岡営業所	静岡市音羽町188	電話 (3) 2846	
長野営業所	長野市妻科町739	電話 (2) 5292	
松本出張所	松本市旅町149	電話 2497・4744	
四日市出張所	四日市市四ツ谷新町2823	電話 244 3	
大阪支店	尼崎市久々知字コエ23	電話代表 (40)5341	
大阪南営業所	大阪市阿倍野区三明町1丁目22ノ3	電話 (77) 8217	
神戸営業所	神戸市長田区菅原通3丁目196	電話 (5) 9451	
金沢営業所	金沢市上胡桃町36	電話 (2) 1387	
岐阜営業所	岐阜市四番町88	電話 2053	
高松営業所	高松市塩上町809	電話 (3) 4290	
高知営業所	高知市旭町3の50	電話 ② 1576	
広島営業所	広島市千田町3の856	電話 ④ 3756	
九州支店	福岡市渡辺通5丁目92	電話 (5) 5181・6901	
熊本営業所	熊本市東外坪井町73	電話 (2) 893	
佐世保営業所	佐世保市島瀬町140	電話 5513	
鹿児島営業所	鹿児島市平野町119	電話 (2) 6762	

社団法人

日本サッシ協会

関西支部賛助会員

スチールシャッター

日本シャッター製作所
小俣製作所大阪支店
鈴木シヤタア商会
本田工業株式会社

錠前

谷山製作所
昭和金属工業株式会社

サッシ附属金物

近松金物株式会社

ドアー附属その他建築金物

石倉商店
渋谷幸雄商店
日本ドアーチェック製造(株)
平安伸銅工業株式会社
協同金属工業株式会社

サッシバー

加納鉄鋼株式会社大阪支店
東都実業株式会社大阪出張所
東鋼商事株式会社大阪営業所
西村金属株式会社大阪出張所

サッシ・ドアー製造用諸機械

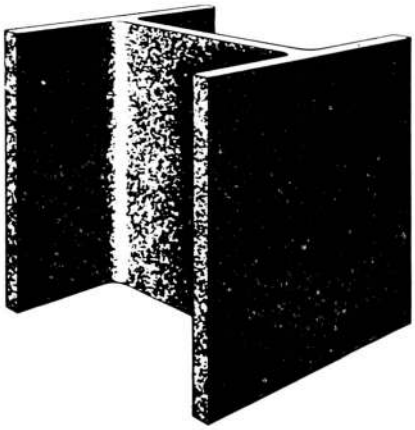
関西鉄工所

パーカー

日本パーカライジング
株式会社大阪出張所

●明日の日本を礎く…**H形鋼**

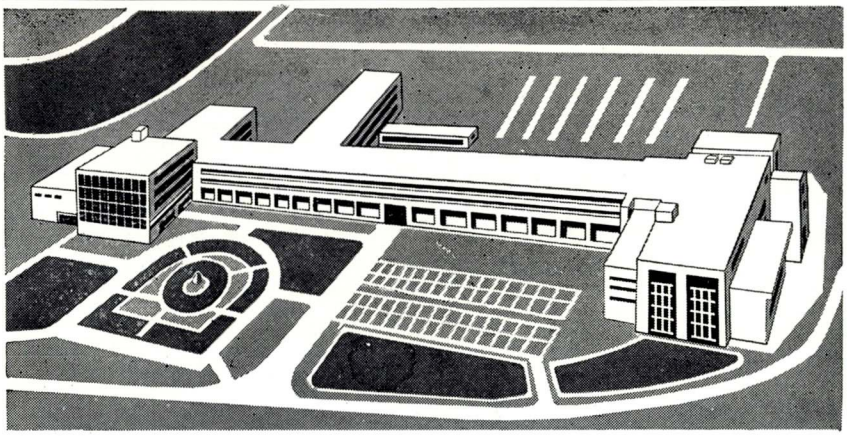
Ⅰ構造用H形鋼
Ⅱ基礎杭用H形鋼



用途・橋梁　地下鉄　建築(ビル
工場　発電所　学校　その他)
船舶　機械　鉄塔　鉄道　土留
各種基礎杭　岸壁　下水渠



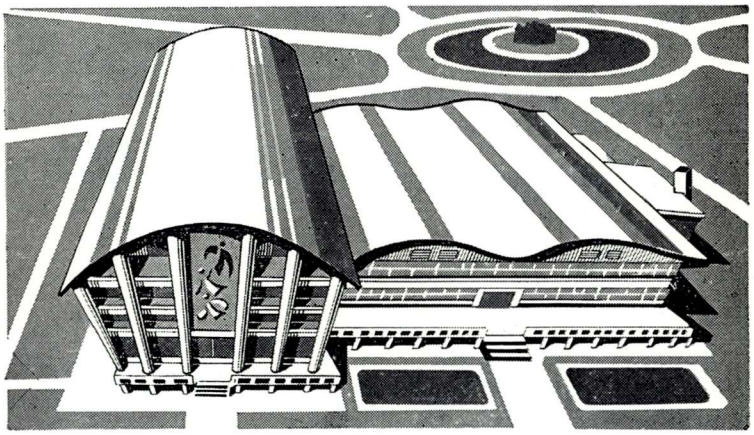
八幡製鐵株式會社



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL(271)7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町 6—101
　　TEL (807) 代表016 1～5

大阪営業所及大阪工場
　　大阪市東淀川区堀上通り３—３９
　　TEL(39)0924～5・2045・2079

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

Toyotoki 御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具（Toyotoki印）

立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具（TTK印）

立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458
TEL ⑤ 2481～5

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5—32　TEL ㉓ 4518～9
各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌・仙台・富山　TEL 2105～8

茅ヶ崎工場
神奈川県茅ヶ崎市



床材の王座（キング）！

新発売

ロンタイルK

30 cm × 30 cm ・ 厚さ 2 mm

ロンリウムK

182 cm 巾 ・ 厚さ 2mm、3mm ・ 長尺

従来のロンリウム・ロンタイルの姉妹品として、川口ゴムの最新の設備で完成したビニル新床材で、色調・摩耗性・耐燃性・耐油性など格段と優秀性を有します。ロンリウムK・ロンタイルKはいずれも全層同質で耐摩耗が強化され、然もソフトな質感は公共建築・ビル・車輌の床にピッタリとし価格も一層経済的になっています。

コンプレート
網入等各種類そろった塩ビ波板

ニューロンプレート
使いやすい、トタン小波の普及品

ロンガラス
用途の広い、透明・半透明塩ビ平板

ロンフイックス
丈夫で汚れない最新の壁・襖貼材

ロンリウム
品質随一と定評のある床張材

ロンタイル
あらゆる床にマッチする美しい床材

川口ゴム工業株式会社

本社・工場	東京都葛飾区本田四ッ木町54	電話	東京(697)6141(代表)
蒲生工場	埼玉県越谷市大字蒲生2740	電話	草加(0871)2033蒲生112
外国部	東京都千代田区神田鍛冶町2—16	電話	東京 (291) 3588～9
神田営業所	東京都千代田区神田鍛冶町2—16	電話	東京 (291) 0003～4
大阪営業所	大阪市南区北炭屋町33	電話	大阪 (27) 4358～9

要　望　書　提　出

（1）　大阪府建築士会，大阪建設業協会，日本建材協会，
日本建築学会近畿支部，日本建築家協会関西支部ならびに本会
の6会連署で下記の要望書を提出いたしました。

記

建設省建築研究所支所設置に関する要望書

建設省においては，かねてよりその附属機関として東京都に建築研究所を設置して都市計画及び建築に関する諸般の調査研究ならびに技術指導に当り，常に斯界の発展にすくなからず貢献せられていることは誠に感謝にたえないところであります。

このたび，同研究所の支所を関西地区その他に設置する案を建設省において検討せられていることを仄聞いたしましたが，これはかねてより学会，業界においても待望していたところであり，まことに時宜を得た企てとして衷心より賛意を表するものであります。近時科学技術の飛躍的な発展にともない，建築関係の材料，施工，構造などの技術上の進歩もまことに目覚ましいものがあり，日々相次いで出現する新機軸の応接にいとまもない状態でありますが，一面地方によってはせっかくのこれら新しい技術が十分消化され適正に活用されているとは申せない実情にあることも遺憾ながら認めざるを得ません。

これはせっかくの新技術の普及指導に徹底を欠くうらみがあるためでありまして，この種の研究機関が東京に偏在しておりますために地方への浸透が十分でなかったことも一因であると存じます。その反面，各地方の特殊事情や地方固有の研究課題があって中央の研究結果がそのまま受け入れられない場合のあることもまた否めない事実でありまして，いきおい，地方においてはそれぞれの研究機関においてその地方の状況に応じた独自の調査研究が行なわれる必要がありますが，地方の研究機関のみにては研究費その他の面で問題点の急速なる解決は望むべくもありません。

この両面の意味におきまして，建築研究所の支所が当地方にも設置されて地方の特殊事情なども十分考慮された調査研究がなされ，また既設研究機関とも互に協力して研究が推進されることによって新しい技術指導の恩恵を地方住民が直接うけられることになればまことに喜ばしいことであります。どうか強力な支所機関を速やかに本地方に設置せられんことを切望する次第であります。

昭和35年11月10日

提　出　先　内閣総理大臣
建設大臣外建設省各関係官
大蔵大臣外大蔵省各関係官
参議院正副議長外関係委員長
自民党三役

要　望　書　提　出

（2）かねて本会法規委員会で検討中でありました大阪市における用途地域，防（準防）火地域の修正の問題に関して下記の要望書を提出致しました。

記

用途地域の改正および防（準防）火地域の拡大指定に関し要望の件

衆知のとおり用途地域制は，都市をいくつかの地域に区分しそれぞれの特性に応じ，各々その用途を規制し，土地をもっとも効率的に利用しようとするものであるが，その用途についての適合性と開発の方向とにおいて常に慎重な考察がなされていなければならない。

最近における都市産業形態の変遷，なかんずく運輸機構の推移には注目すべきものがあり，これが用途地域制におよぼす影響には極めて大なるものがあると考えられる。

また，都市人口の急激なる増加にともなって周辺市街地において著しい家屋密集の傾向を生じ，これとともに火災による災害発生の危険が急速に増大している。

貴市においては，昭和25年来建築基準法による用途地域および防（準防）火地域の指定をみているが，最近における建設動向に鑑み，用途地域の改正および防（準防）火地域の拡大指定をすみやかに実施されることを強く要望する。

昭和35年11月12日

社団法人　日本建築協会
会長　工学博士　尾崎久助

提出先　大阪市長
大阪市会議長
大阪市会消防建設委員長

会と催

アデュー1960年忘年懇親会開催

本会恒例の忘年懇親会が，本年最後の事業を飾って，昨年好評を得ましたパーティ形式により，会場には模擬店を設け，一流芸人によるアトラクションも折りこんで下記により開催されることになりました。

記

1. 日　時　**12月14日**（水）午後6時（開会）→8時（閉会）
1. 会　場　**阪神百貨店7階大食堂**（大阪市北区梅田町・当日百貨店休業です。北側入口よりエレベータをご利用下さい）
1. 会　費　500円（別に補助があります）
1. 申　込　8日までに会費を添えてお申込み下さい。
なお定員300名に達したときは締切ります。

◆出席者全員と抽せんによる当選者に会員有志寄贈品を贈呈します。

◆一流芸人による新機軸の余興を企画しております。

お願い

（1）準備の都合上会場での受付はいたしません。

（2）申込者で当日欠席の場合でも12日までに取消しの通知のない場合は会費の負担を願います。

（3）出席者名簿を作りますので，申込の際，氏名・勤務先をお知らせ下さい。

近畿在住の会員には，11月28日にハガキによりお知らせしました。

第2回テレビ放送

第２回テレビ放送の実施

５月末以来毎日曜日に実施いたしておりましたテレビ放送「建築の広場」は，11月27日をもちまして予定の番組を終了いたしましたが，ひきつづき第２回を，下記によって実施することになりましたので，会告申します。

記

1．タイトル　「建築に生きる人たち」
1．日　　時　毎日曜日午前11時――11時20分
1．放 送 局　毎日テレビ放送（４チャンネル）
1．提供会社　大阪窯業セメント株式会社
（五十音順）東洋リノリウム株式会社
日本板硝子株式会社
1．番組予定

12月４日	今年の建築その１	病院建築
〃 11日	同	上その２ 工場建築
〃 18日	同	上その３ 日本工芸館
〃 25日	1960――61年の建築界	
１月８日	建築に生きる人たち	大工さん
〃 15日	同	上　現場監督
〃 22日	同	上　とび職
〃 29日	同	上　左　官
２月５日	同	上　石　工
〃 12日	同	上　瓦　屋
〃 19日	同	上　ペンキ屋さん
〃 26日	同	上　ガラス工

本会欧米建築事情視察団帰国

本会欧米建築事情視察団一行帰国

さる10月12日に羽田を出発した本会の欧米建築事情視察団の一行13名は，11月26日早朝一同元気に羽田に帰着いたしました。ここに会告申しあげます。

建築関係団体共催
新年交礼会開催

恒例による新年交礼会を下記により開催いたします。多数関係者が一堂に会して年頭の祝詞を交換し，かつは相互廻礼の煩を省くよう，多数会員お繰り合せご出席下さいますようお願い申します。

記

1. と　き　昭和36年1月4日（水）午後1時――2時 随時
1. ところ　大阪建設会館6館（天神橋南詰め）
1. 会　費　300 円
1. 申　込　12月20日〆切 適宜所属団体へお申込み下さい。
　追って名簿作成のため申込み〆切り日を厳守下さい。
1. 共催団体　大阪府建築士会　大阪建設業協会
　日本建材協会　日本建築学会近畿支部
　日本建築家協会関西支部　本会

「ル・コルビュジェ展」日のべ

前回の会告でお知らせしました「ル・コルビュジェ展」は目下大阪市立美術館で開催されていますが，12月4日までの予定のところ，たいへん好評ですので，2週間日のべします。

ところ　大阪市立美術館
会　期　昭和35年12月18日（日）まで（日曜休みなし）
割引券　本会にあります（¥120）

本会協賛

西山印三氏中国帰朝報告会

新中国の建築事情を聞く（講演とスライド）

中国建築学会の招請で，約1ヵ月，訪中してこられた西山卯三氏（日本建築学会副会長・日本学術会議会員・京都大学助教授）に，下記のとおり，中国の建築事情についてお話（スライド併用）を伺います。

と　き　昭和35年12月16日（金）午後6時
ところ　大阪建設会館（市電天神橋）
主　催　新建築家集団（NAC）
協　賛　大阪府建築士会・日本建築協会



大阪千代田生命ビル　　設計施工　大成建設株式会社

大阪千代田生命ビル



左：玄関前ホール照明

下：エレベータ前ホール照明



全館電気設備施工

東光電気工事株式会社

エレベータホール
円形階段　大理石・テラゾー

関ケ原石材株式会社



外装化工石

株式会社　熊取谷石材店

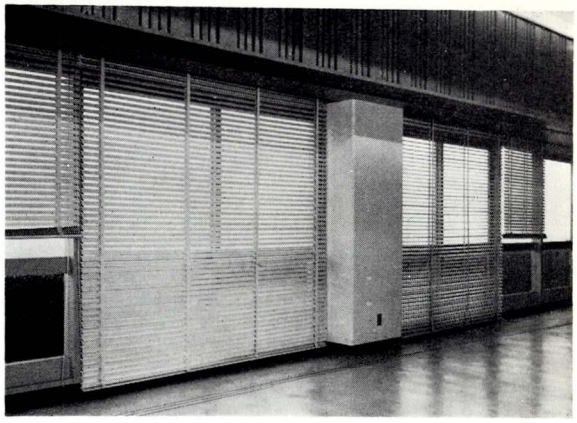
大阪千代田生命ビル

9階ホール



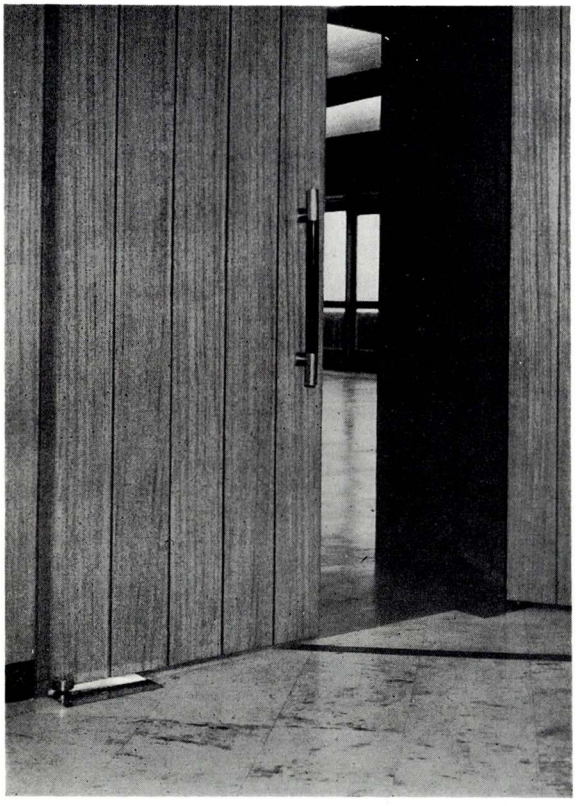
内部造作

内外木材工業株式会社



特許完包式ブラインド

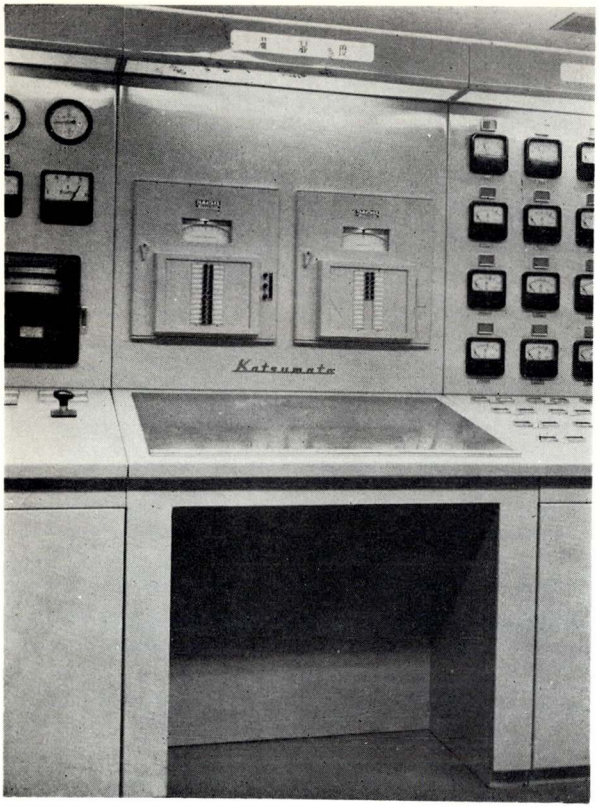
立川ブラインド工業株式会社



ユートピア印
フロアーヒンヂ
ピボットヒンヂ使用

敷島金物株式会社

大阪千代田生命ビル

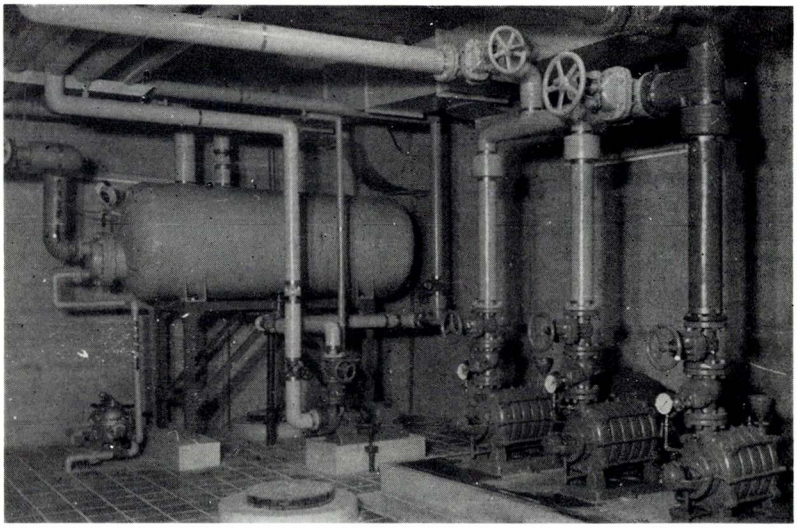


電子管式多点温度指示計
電子管式多点温度指示計

山武ハネウエル計器株式会社

給湯設備
給・排水衛生設備　施工
消火設備

株式会社　斎藤省三商店



地下ポンプ室

建築と社会

第 41 集

1960年総目録

社団法人　日本建築協会

特集号

号

モニユメント特集…… 1
原子力利用施設特集…… 2
建築計画特集…… 3
阪神都市圏の住宅問題特集…… 4
海外の建設工事特集…… 5
建築法規特集…… 6
第7回青年建築家特集…… 7
施工特集…… 8
設備特集…… 9
近代建築論特集……10
公共住宅特集……11
児童福祉施設特集……12

作品作風

官庁建築

倉敷市庁舎…… 9
　設　計：丹下健三計画研究室
　施　工：（株）大林組
尾道市庁舎…… 9
　設　計：財団法人建築研究協会
　施　工：（株）大林組

劇場・会館

大阪府農林会館…… 6
　設　計：（株）東畑建築事務所
　施　工：鹿島建設（株）
明石天文科学館…… 8
　設　計：棚橋諒・高原道夫・山口敬二
　監　理：明石市建設局
　施　工：（株）竹中工務店
広島県立図書館…… 8
　設計監理：広島県営繕課
　施　工：（株）藤田組
東本願寺同朋会館…… 2
　設　計：財団法人建築研究協会
　施　工：東海興業（株）

ビル建築

関電ビルディング…… 6
　設　計：（株）竹中工務店
　施　工：（株）竹中工務店
大阪朝日生命館……10
　設　計：（株）竹中工務店設計部
　施　工：（株）竹中工務店
泉州銀行本店…… 3
　設　計：村野・森建築事務所
　施　工：（株）大林組
中国電力（株）本社…… 8
　設計監理：中国電力（株）土木部建築課
　施　工：松本建設（株）
大阪国際貿易センター…… 5
　設　計：日建設計工務（株）
　施　工：（株）大林組
大阪千代田生命ビル……12
　設　計：大成建設（株）設計部
　施　工：大成建設（株）

研究所

大阪府立放射線中央研究所…… 2
　設　計：大阪府庁営繕部
　　京大増田研究室
　施　工：（株）間組
日本放射線高分子研究協会研究所…… 2
　設　計：京大増田研究室
　施　工：鹿島建設（株）

ゴルフクラブハウス

宝塚ゴルフクラブハウス…… …… 3

建築と社会　第41集　1960年　1月号—12月号　総　目　録

号

設　計：宝塚ゴルフクラブハウス建設委員会
施　工：（株）竹中工務店
枚方国際ゴルフクラブハウス……3
設　計：山下寿郎設計事務所
施　工：（株）竹中工務店
枚方カンツリークラブハウス……3
設　計：清水建設（株）設計部
施　工：清水建設（株）
城陽カンツリークラブハウス……3
設　計：渡辺建築事務所
施　工：清水建設（株）
花屋敷ゴルフクラブハウス……3
設　計：（株）大阪建築事務所
施　工：（株）戸田組
名古屋ゴルフ倶楽部ハウス……3
設　計：日建設計工務（株）
施　工：（株）竹中工務店
岐阜カンツリークラブハウス……3
設　計：安井建築設計事務所
施　工：大日本土木（株）
桑名カントリー倶楽部……3
設　計：山下寿郎設計事務所
施　工：鹿島建設（株）
下関ゴルフクラブハウス……3
設　計：石川建築事務所
施　工：（株）大林組
福岡カントリークラブ
和白ゴルフ場クラブハウス……3
設　計：日建設計工務（株）
施　工：大成建設（株）
垂水ゴルフ場クラブハウス……9
設　計：大成建設（株）大阪支店
施　工：大成建設（株）大阪支店

児童福祉施設

旭川荘……12
設　計：粋建築事務所中国分室
施　工：（株）竹中工務店
名張育生園……12
設　計：清水建設（株）名古屋支店
施　工：清水建設（株）名古屋支店
国立秩父学園
設　計：木下茂徳
施　工：厚生省
香川県立ひかり整肢学園
設　計：香川県土木部建築課
施　工：太洋建設（株）
兵庫県整肢施設のじぎく園
設　計：兵庫県土木建築部建築課
神戸市建設局営繕第一課
施　工：（株）進藤組

住宅団地

矢田部団地（大阪府営）……4
高丸団地（兵庫県営）……4
仁川団地（公団住宅）……4
春日丘団地（公団住宅）……4

公共住宅15年

1. R.C.アパートお目見え……夕陽丘団地…11
2. 疎開跡の整備——店舗併存アパート……堀川団地…11
3. 団地のはしり……西宮北口団地…11
4. スラムの改良……番町地区…11
5. 応急住宅の建てかえ……大開団地…11

号

6. 持家へも公共融資……近鉄学園前住宅地…11
7. 給与住宅への公共融資……富士製鉄広畑製作所社員住宅…11
8. 団地の計画……その1. 古市団地…11
団地の計画……その2. 矢田部団地…11
9. 宅地の造成……鴨子原団地…11
10. 高層化の試み……西長堀アパート…11
11. 「ニュータウン」へ……香里団地…11
12. 都心のアパートビル……天神橋施設付住宅…11

病　院

住友病院……5
設　計：日建設計工務（株）
施　工：（株）大林組

公　園

天橋立成相公園REST HOUSE……1
設　計：京大増田研究室
施　工：藤山工務店

スケッチブック

第4回建築写真コンクール入選作……1
坂記念館……3
設　計：京大増田研究室
施　工：（株）大林組
近畿各大学工高卒業設計コンクール入選作1960年……7
第6回工高生デザインコンクール入選作（設計課題：ガソリンスタンド）……12

巻頭の言

7年目のロサンゼルスとホノルルで……尾崎　久助…1
原子力利用施設特集によせて…佐藤　太…2
建設工事費の安定化について…小栗　賛吾…3
住宅団地の曲り角……深尾　実郎…4
海外建設への歩み……銭高　善之…5
建築家と法規……越田　正勝…6
青年建築家特集号によせて……中村　綱…7
建築施工法の進歩……岩崎甚太郎…8
Markelius の天井……岡橋作太郎…9
公共住宅論……中沢誠一郎…11

モニュメント

記念性と建築……鳥田　家弘…1
建築のモニュメンタリティと彫刻，絵画への系列……河本　敦夫…1
新しい構造と記念性……岡本　剛…1
商業主義のモニュメンタリティ……小川　正…1
公共建築における記念性の問題……西原　清之…1
都市計画と記念性……中沢誠一郎…1
宗教建築における記念性……福山　敏男…1
「お城ブーム」……河東　義方…1
モニュメントに関係ある建物（グラビア頁）……サグラダ・ファミリア教会地写真と文　勅使河原宏……1

原子力利用施設

原子力利用施設とは……藤井　正一…2
原子力利用施設設計施工における基本的態度……岡島　暢夫…2
関西研究用原子炉の立地問題をめぐって……横尾　義貫…2

号

放射線遮蔽コンクリートとその施工について……菅田　豊重…2
アイソトープ実験室の建築材料……藤井　正一…2
住友宝塚放射線研究所……日建設計工務株式会社…2
放射線研究所の計画について……京大増田研究室…2
A. 日本放射線高分子研究協会大阪研究所
B. 大阪府立放射線中央研究所

建築計画

科学とその対立概念……渡辺鎮太郎…3
対談「デザインの曲り角」……吉阪　隆正・足立　孝 3
計画研究者へのアンケート……3
計算資料と定数資料……小島　武男…3
研究と実用……前田　敏男…3
設計の組織編成……石原　正雄…3
研究の細分化……岡田　光正…3
求心的と遠心的……向井　正也…3
色彩計画と現場調整……山崎　勝弘…3
微妙な調整……上田　光雄…3
環境計画技術者の職種の確立……前川　純一…3
研究の結論を年報に……黒田　正巳…3
設計者へのアンケート……3
障害は設計者が作る……彦谷　邦一…3
結露と断介……田村　敏夫…3
建築計画のあり方……佐野　正一…3
基本計画に対する施主（建築家）の受けとり方において…近藤　正志…3
建築家の手に負えない建築計画上の困難……志保井正夫…3
道路幅員と建築物の高さ……陶浪　貞彦…3
熱遮断に関して……香取　礼三…3
計画原論の適用について（音響）……光安　義光…3
雑　感……井上　滉…3
具合よくなったこと・困ること……小林　武夫…3
プラスチック系床材……松本　彦次…3
七癖——建築，建築物，建築家……鍛治　延男…3

海外の建設工事

プラント建設輸出に関する諸問題……岡島　美行…5
海外建設の隘路……山崎　毅…5
海外紡織工場の建設……元木　貞次…5
ミクスタ製鉄所について……KK大阪建築事務所…5
東パキスタン肥料工場附属火力発電所の建設工事について……垣内　泰雄…5
アラスカ・パルプ工場の建設について……中村　留吉…5
エジプト砂糖プラントに携って……古田　洋二…5
テイ談：沖縄における建設工事……5
出席者（順不同）……松村雄二・山本義樹　畠山隆三郎
マレー連邦での手控えから……的場　浩…5
イランの住宅建設……市浦　健…5

建築法規

建築基準法改正の趣旨……牌田　治…6

建築と社会　第41集　1960年　1月号—12月号　総　目　録

号

大阪市における特殊建築物の定期報告および建築設備の定期検査……越田　正勝… 6
確立された報告・定期検査……景山　正明… 6
駐車場に関する問題……河村　重俊… 6
消防法改正の要旨について……恩田　一則… 6
行政上から見た建築構造設計…斧出　正隆… 6
火災保険料率規定について……中村　綱… 6

法規アンケート…… 6

法規の運用の問題点……大倉　三郎… 6
医療法との関係……川辺　真… 6
難解無双——これでは違反建築が増すばかりだ……玉置豊次郎… 6
法規と良識……越智　隆晴… 6
理論的と人為的……森　儁朗… 6
建築基準法の立法精神は習慣法であるべきかどうか……三田　一男… 6
他の法例との関係……橋本　良介… 6
法規と経済……浦辺鎮太郎… 6
建築のための建築基準法か…佐々木　保… 6
都市計画を促進するものに…諫早　信夫… 6
設備原論との関係……松浦　邦男… 6
現状にあわないもの……I.M.N生… 6
建蔽率を通して一考……光安　義光… 6
建築物の敷地に対する割合…香取　礼三… 6
法規と実際……中村　登一… 6
建築構造に関する法と規準の間……日置興一郎… 6
構造関係者より……山肩　邦男… 6
構造設計者より……長田　正雄… 6
耐火構造・内装制限・他……N. Y. 生… 6
床下換気口の大きさについて……宮野　秋彦… 6
建築違反の防止について……K. M. 生… 6
建築士法の一部改正を望む…大津　敏晴… 6
防火区画について……恩田　一則… 6
建築基準法とその行政……竹内　博文… 6
〝建築基準法〟所感……三品　哲夫… 6
アンケートに答えて……恒岡　俊行… 6

第7回　青年建築家

青年建築家　作　品
森谷　晋作……西脇公共職業安定所…… 7
宮崎　君治……ダイハツ工業池田工場研究所…… 7
和田　晋弥……大阪厚生会館…… 7
尾本　茂……姫路球場スタンド…… 7
南上　晃……Y製鉄所第2分館…… 7
山田新治郎……御所市庁舎…… 7
川辺　真……豊川市民病院…… 7
松原　孝史……日立造船株式会社因島病院… 7
山田貞次郎……大阪大学文・法・経済学部本館…… 7
今井　孝達……神山小学校…… 7
後藤　直信……大阪変圧器KK事務所…… 7
青木　繁……日立製作所石橋独身寮…… 7
平田　宣広……野村証券KK名古屋独身寮… 7
寺谷　敏行……芦屋ユースホステル…… 7
吉岡　凡夫……撫泉荘…… 7
大国　豊悦……公団住宅春日丘団地…… 7
浜崎海太郎……福武邸…… 7
大塚　仁志……王子製紙春日井工場他…… 7
山口　治男……富士製鉄広畑製鉄所DL焼結工場…… 7

施　工

新阪急ビルの竹中式深礎工法…木曽　優吉… 8

号

日本生命日比谷ビルのニューマティックケーソン工法について…清浦　直明・福田　邦雄 8
迫持式山留工法……志岐　武司… 8
欧米の基礎工法を視察して……庄野　勝… 8
新しい施工機械……原田　勲… 8
住宅のプレファブ工法……品川多美二… 8

適正工期

工期について……堀内四知丸… 8
適正工期アンケート…… 8
工期はこのように短縮されている……北山二十三… 8
適正工期アンケート……桑山　音吉… 8
工期がなぜ短かくなったのか……山本　茂… 8
適正工期について……位上　謙一… 8
アンケートに答えて……永井　義徳… 8
設備工事の観点から……高橋　誠義… 8
公共団体の営繕工事……北垣　智造… 8
適正工期アンケートの答え…山地　英雄… 8
適正工期の確保のために……神田　省三… 8
適正工期について……H. O 生… 8
適正工期について……松岡　照夫… 8
アンケートに答えて……K. U 生… 8

設　備

関電ビルの設備工事について…清水寿栄次… 9
電通大阪支社の冷暖房計画について柳町政之助・石黒次郎・中村猛 9
空気調整装置のオートメーション設備の実例……倉本武二郎… 9
建築設備裏話第2回……空気調和設備篇…… 1
建築設備裏話第3回……電気設備篇…… 9

近代建築論

ワルテンシュプール「現代建築の諸相」相川浩・藤本康雄……10
P. Waltenspuhl「現代建築の諸相」を読んで……森田　慶一…10
建築三巨匠論……向井　正也…10
現代にたいするライト建築の意味……樋口　清…10
ミース・ファン・デル・ローエの二三の作品について……薬師寺厚…10
コルビュジェの変貌……西沢　文隆…10

海外の近代建築アンケート……10
◀公共建築関係
ケルン市庁舎……鈴木　洋也…10
ストックホルム市庁舎……秀島　乾…10
ウッパルタール市営浴場……坂　静雄…10
マラカァナ・スタジァム……吉　成　武…10
アインドーフェン駅本屋……山崎　兌…10
◀オフィスビル関係
Republic National Bank of Dallas……伊藤　鉱一…10
レバーハウス……小川　正…10
レバーハウス……木村幸一郎…10
レバーハウス……東畑　謙三…10
ピレリー・ビル……角田　栄…10
ピレリー・ビル……山根正次郎…10
ピレリー・ビル……永井　賢城…10
ピレリー・ビル……池田　宮彦…10
シーグラム・ビル……徳永　正三…10
シーグラム・ビル……陶村　功…10
ノートン・ビル……長谷川大…10
トレ・ペラスカ……黒川　紀章…10

号

Manufacturers Trust Company……稲田　芳郎…10
LORRAINE-ESCAUT……稲垣　皎三…10
◀学校建築関係
ブラジル学生寮……近藤　正志…10
ウェイン大学記念館……吉原慎一郎…10
メキシコ大学構内の一群の建築……高田　秀三…10
Administration Building（メキシコ大学）……中村　功…10
◀教会関係
Chapel for M.I.T……桜井　清…10
大学の礼拝堂（Otaniemi）……塚本　猛次…10
ロンシャンの教会……前川　国男…10
バシリカ St pie X ……川崎　清…10
サグラダ・ファミリア寺院…堀橋　諒…10
◀アパート住宅関係
明日の住宅（プラスチックスの住宅）……亀井　勇…10
アルバ・アールトのアパート……大倉　三郎…10
ベリンピのアパート……吉家　光夫…10
◀会館関係
オールボルグ市民会館……寺島　三雄…10
パリユネスコ大会議場……村田　政真…10
近代ヨーロッパの建築文化……大倉　三郎… 4

公共住宅・都市計画

公共住宅15年が語ること……絹谷　裕規11
Ⅰ．公共住宅15年の概観
Ⅱ．貴重なる15年間の経験
公共住宅アンケート……11
執筆者　工藤友恵・古谷綱武
原口忠次郎・吉富重夫
磯村英一・園部貞義
妹尾高行・薄田桂
永田照海・辻元八重
港野喜代子・鈴木正明
菅野勇利・阿部光次
高橋行夫・岡本英治
重田晃一・川淵長治
阪神都市圏開発計画研究報告……11
日本・国連合同阪神都市圏計画調査団（住宅問題・住区施設に関する分科会）
阪神都市圏の開発に関する断想……中沢誠一郎… 4
京阪神10年後の将来図……諫早　信夫… 4
神戸市における宅地造成の規制条例について……稲垣　茂樹… 4
神戸市における鴨甲山一団地の住宅経営計画について……稲垣　茂樹… 4
災害予想地にひらくアパート住宅……金沢弘真・にしだたかお 4
近鉄の住宅地経営について……中沢　俊雄… 4
欧州のアパート建築……池田　宮彦… 4

児童福祉施設

児童福祉施設について……岡村　重夫…12
問題をもつ児童に対する児童福祉施設の現状と今後……寺島　久男…12
児童福祉施設の建築計画……島田　勝次…12
兵庫県立精神薄弱児施設の計画について……千葉文雄・三川栄吉…12
茨木県立整肢療護園の計画について……野村　東太…12

建築と社会　第41集　1960年　1月号—12月号　総　目　録

号

旭川荘の設計について……河合　三郎…12
肢体不自由児施設について
……柏木大治・横山三郎…12
子供の病院—ヘルシンキ—……栗原嘉一郎…12
欧州の保育所視察記……西田　誠行…12
児童福祉施設訪問記……島田　勝次…12

座談会

伊勢湾台風について——座談会——……
出席者（順不同）横尾義貫・石崎漫雄・佐藤四郎・山根正次郎・吉田憲一・広瀬一良・五十嵐昇・永田良夫・黒川巳喜・塚本猛次

商社と建築協会会員との座談会…… 5
A.　伊藤忠商事株式会社関係者に海外建設の話を聞く…… 5
出席者（順不同）水野三郎・尾島行雄・中本茂晴・岡村良一…（協会側）山本義樹・香取礼三・塚本猛次
B.　三井物産株式会社関係者に海外建設の話を聞く…… 5
出席者（順不同）山田早苗・和田政雄・小畑陽吉・中村弘・有馬国清……（協会側）山本義樹・香取礼三・塚本猛次

法規座談会…… 6
建築基準法・同施行令等に関して
出席者（順不同）玉置豊次郎・鷲尾健三・田中良太郎・宮秋利厚・長田正雄・平田定雄・陶浪貞彦・竹村吉高・石田正・椋代仁朗・駒敬三・小林得志・井上竜雄・中村銀之助・富吉志乃武・石黒次郎・東出道明・塚本猛次

建物管理者からみた設備上の諸問題（座談会）…… 9
テーマ：建物の設計と管理・施工と管理・ビル所有主と管理・ビルの一般使用者と管理・管理者の業務
出席者：順不同：新田雪信・小林昇・桜井猛・大津富士雄・古井謙治・福山竜雄・田中良太郎（司会）・編集側＝上林博雄・高橋誠義・須賀栄一

公共住宅の当面する諸問題——座談会——…11
大阪府・兵庫県・京都府・京都市・公団・公庫・大学の住宅関係者による座談会

小さなダンチ族……11
——香里団地の子供に聞く会——
建売（月賦・分譲）住宅をめぐる諸問題
——座談会——…… 4
出席者（順不同）鈴木宏幸・前田精太郎・小林三甫朗・柴田市三郎・渡辺英司・中沢俊雄・谷征一郎・松阪幸一・玉置豊次郎（司会）・塚本猛次・絹谷祐規・泉資一郎
阪神都市圏の住宅をめぐる諸問題
——座談会——…… 4
出席者（順不同）伊東五郎・寺島三雄・西村栄一・早川文夫・深尾実郎・藤本剛志・森口清・吉田圭三・（編集側）泉資一郎・絹谷祐規・松本宇一・塚本猛次

号

近代建築調査委員会報告

近代建築調査報告序言……滝沢　真弓… 1
1.　泉布観……… 1
2.　日本生命保険株式会社旧館建築
……堀口　捨己… 2
3.　宝山寺客殿（獅子閣）……近藤　豊… 3
4.　国立奈良博物館……林野　全孝… 4
5.　株式会社江商神戸支店……坂本勝比古… 5
6.　初代・二代目大阪駅　附・三菱倉庫
……波江貞夫他… 6
6.　京都銀行本店（元京都高島屋）
……鷲尾　九郎… 7
8.　八角議事堂（初代の兵庫県会議事堂）
……滝沢　真弓… 8
9.　大阪府立図書館……林野　全孝… 9
10.　同志社の明治建築 ……近藤　豊…10
11.　第一銀行京都支店本館建築
……牧野　忠…11
12.　同和火災海上保険KK
…竹中工務店名古屋支店…12

トピックス

エレベータのスケジュールコントロール
……板垣　晃平… 9
エアーリポーター（気送管）…植村　勲… 9
クーリングタワー……日本管工事工業協会… 9
電子冷房時代がくるか……南条孝一郎… 9
連続貫入試験機（記録式）……岩津　潤… 8
高張力鋼の熔接……長田　正雄… 8
モノレールトランスポーター…鬼頭　寿郎… 8
非破壊試験……小阪　義夫… 8

建築の眼

担当：飯田精次郎・伊藤克三・大倉三郎・日置興一郎・矢野豊作……1. 2. 3. 4. 5. 6
担当：北村修・百々稔・前川純一・前田勇
……7. 8
担当：木村康彦・近藤正志・隅谷一郎・光安義光 ……9. 10
担当：大野邦彦・森下祐良・長田正雄・吉田勇
……11. 12

書　評

「ヨーロッパの生活と建築」他
……鈴木　洋也…10
日本の住宅問題——解決を阻むもの——
……寺内　信…11
新刊紹介——日本近代建築史の三種
……堀口　捨己… 6
「アパートビルの手引」「商店街の新しい構成」
…… 1

随　想

しのびよるロマンティシズム…村野　藤吾… 7
8年目のホノルル・サンフランシスコ・ロスアンゼルス……尾崎　久助…10
建材雑感……置塩　章… 4
ヨーロッパ見歩くの記……小松　益喜… 5

号

会員の声

建設請負会社においては設計部門は分離すべきである……中岡　善吉… 1
"Outward-looking（外向きの）"——留学するN君へ——……金沢　弘真… 2
アメリカにおける日本ブーム…奸川　博… 5
陶郷信楽見学記……X　生… 6

その他

中国の最近の建築……西村　正邦… 5
昭和34年度委員会活動報告（順不同）…… 4
教育委員会・編集委員会・事業委員会・法規委員会・近代建築調査委員会・建材委員会・出版委員会・住宅委員会・災害委員会
坂静雄先生のプロフィル……奥島正一… 3
故伊東五郎氏を偲ぶ……桐本　楠雅… 8
故長谷部鋭吉氏の哀悼の辞……竹腰　健造…11
昭和35年度常設委員会委員氏名…… 5
建築物の台風災害防止に対する意見書…… 1
名古屋城の再建成って……加藤　清六… 3
昭和34年中に竣工した新建築（P. R）…… 1
家のできるまで（スライド）…住宅委員会… 4

会　告

会員の受賞……5. 8. 11
東海支部設立・役員選任……11
第6回工高生デザインコンクール入選者……11
本会欧米建築事情視察団出発……10
要望書提出……10
監事当選通知…… 9
建材優良認定
ダイケン・インシュレーション・吸音板）
ダイケン・インシュレーションブランク） 9
ダイヤアルテックス…… 5
ミラコート…… 3
会員倍加運動にご協力をお願い…… 9
臨時総会開催通知…… 8
通常総会決議報告…… 7
理事の補欠選任…… 7
昭和35年度支部選出評議員当選…… 7
京都支部長更迭…… 7
本会企画のテレビ放送「建築の広場」…… 7
通常総会開催通知…… 6
欧米建築事情視察団募集…… 6
昭和34年度決算報告…… 6
昭和34年度事業報告…… 6
会館基金へ寄付金受領…… 5
昭和35年度理事会務分掌…… 5
東海連絡所事務所移転…… 5
昭和35年度収支予算…… 5
昭和35年度役員選任…… 4
近畿建築会館設立資金借入金の一部抽せん償還…… 4
監事ならびに評議員当選…… 3
建設省建築研究所支所設置に関する要望書
……12
要途地域の改正および防（準防）火地域の拡大指定に関し要望の件……12

建物クリーニングの店

住宅美素工事の創始者

◎ビルディングの洗浄工事
◎建物外塗サンドブラスト工事
◎建物外壁各種吹付工事
◎建物外壁シリコーン防水工事
◎月極め清掃工事
◎木造建築洗浄美素仕上工事

株式会社 **美素工業所**

大阪市東区瓦町二丁目(三和ビル)　電話㉓4938・5888・㊼8050

三星の床材

プラスタイル"P"

(Pタイル)

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 ㊹ 5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 ㉞ 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江大通1の19電話 ㉞ 6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前)
電話 ㉕ 0471～2・0371 ㉗ 7604
京都営業所　京都市中京区河原町六角下ル　電話 ㉙ 3277

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話 ㊸ 0137 ㊹ 3286

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル電話 ㉞ 4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12 電話㊸0121・2057

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2 電話㉑1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋中区東長町39 電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108 電話 ② 2281～4
岡山・岡山市東田町3 電話②7911・8169
福岡・福岡市方行寺前町14 電話 ③ 1225～6

関西三星タイル会員

Toray
Reg. Trade Mark
東洋レーヨン株式会社

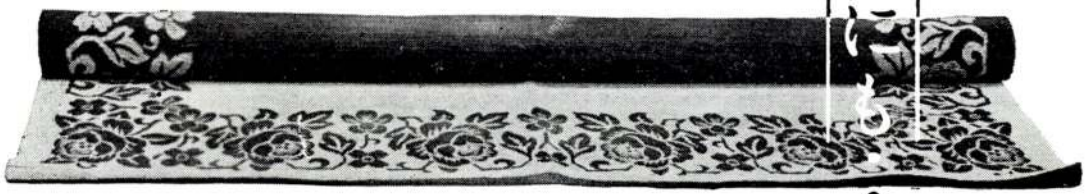
美しい花園をお部屋に…

丈夫で弾力性に富み、ホコリがたたないので大へん衛生的です。お部屋の雰囲気にマッチしたカーペットをお選びいただくため、あらゆる色柄を豊富に準備いたしております。室内に豪華な感覚と新鮮で楽しい雰囲気を漂わす東レ・カーペットをぜひお試し下さい

東レカーペット

二重織・銀鈴織・富士織・三重織・装美織・錦緑三重織・三美織などがございます

東レ・カーペットのほか、東レ・フラットーヨー使用ファンシーラッグ(夏の敷物)も好評を頂いております



東レカーペット発売元—(株)辻田文平商店(大阪市住吉区南住吉町4の59)　ファンシーラッグ発売元—丸紅飯田(株)

ビニデラックスは当社の技術陣が久しく鋭意研究を続けて完成した新しい型の合成樹脂ラテックスペイントで，他のラテックスペイントに比べて，多くの優れた性能をもつ品質優秀なアクリル系合成ゴムを主成分とする塗料です。
ビニデラックスの用途は主にコンクリート・モルタル・プラスター面などの塗装に好適な塗料で，建築内外部用塗料として発売以来好評を博しております。

● **ビニデラックスの特徴**

■ 作業性が非常によい
ハケナバキが非常に軽く，乾燥も普通のエマルジョンペイントより速くて，作業能率がよろしい。

■ 耐久力がよく"やけ"がない
アクリル系合成ゴムを主成分とするため，他のラテックスペイントにみられる"やけ"がなく，耐久力に優れています。

■ 耐水性・耐水洗性がよい
乾燥塗膜は非常に強靱で撥水性があるため耐水性がよく，特に塗膜が汚れたときには石鹸水で洗うと，たやすくきれいになります。

■ 優雅な光沢ある仕上り
塗面はエマルジョンペイントに見られない優雅な光沢があります。

■ 付着力がよい
コテ仕上のよい平滑な塗面や，ハードプラスター，調合ペイント塗面にもよく付着し，シート状にはげることがありません。

■ 耐薬品性がよい
耐アリカリ性が強く，稀薄な酸にも耐え，又カビが生えません。

● 色見本付カタログご希望の方は当社宣伝課Z係までお申付け下さい。



建築内外部用塗料
ラテックスペイント
ビニデラックス

関西ペイント株式会社
大阪市東区伏見町5丁目

建築と社会

12

児童福祉施設特集

表紙写真：ヘルシンキの子供の城
柏木大治氏撮影

1960年12月号目次

作品作風

大阪千代田生命ビル……設計 大成建設KK設計部…12
施工 大成建設KK

児童福祉施設……17

旭川荘……設計 梓建築事務所中国分室…18
施工 KK竹中工務店

名張育生園……設計 清水建設KK名古屋支店…21
施工 清水建設KK名古屋支店

国立秩父学園……設計 木下茂徳…22
施工 厚生省

香川県立ひかり整肢学園……設計 香川県土木部建築課…24
施工 大洋建設KK

兵庫県整肢施設のじぎく園……設計 兵庫県土木建築部建築課…26
神戸市建設局営繕課
施工 KK進藤組

スケッチブック

第6回工高生デザインコンクール入選作10点
（設計課題 ガソリンスタンド）……28

建築の眼……32

執筆者(50音順)：大野邦彦・長田正雄・森下祐良・吉田勇

本文

児童福祉施設について……岡村 重夫…33

問題をもつ児童に対する
児童福祉施設の現状と今後……寺島 久男…36

児童福祉施設の建築計画……島田 勝次…39

計画案二点

1. 兵庫県立精神薄弱児施設の計画……千葉 文雄…51
三川 栄吉

2. 茨木県立整肢療護園の計画……野村 東太…54

実例を通して

旭川荘の設計について……河合 三郎…57

肢体不自由児施設について……柏木 大治・横山 三郎…60

子供の病院—ヘルシンキ……栗原嘉一郎…63

見聞記

欧州の保育所視察記……西田 誠行…65

児童福祉施設訪問記……島田 勝次…68

近代建築調査委員会報告 12

同和火災海上保険KK名古屋支店…KK竹中工務店名古屋支店…75

会報（10月分）……77

「建築と社会」1960年総目録…… 5

建築と社会
第41集・第12号
売価 1部180円・送料共
昭和35年12月20日印刷
昭和35年12月25日発行
発行所 社団法人 日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話 大阪㉙ 9648・9649・9640番
振替口座 大阪39975番
編集人 松井昭光
発行人 沖田誠一
印刷所 株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話㊱ 2091～3番
印刷者 網野栄



夜　景　御堂筋ガスビル前より

大阪千代田生命ビル

1，2階柱型：花崗石貼。2階ベランダ手摺：プレキャストコンクリート。2階以上外壁：ネオタイル貼。



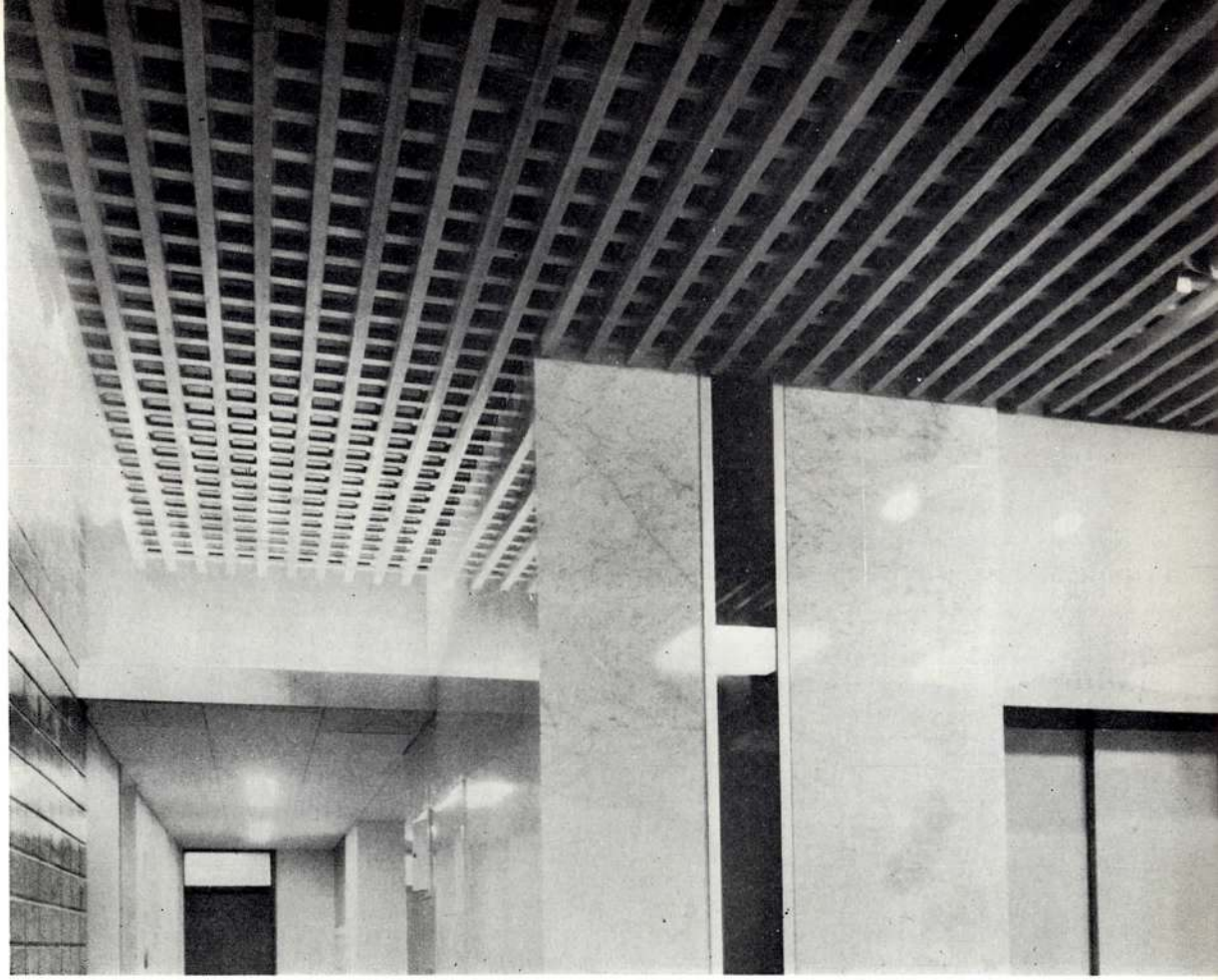
大阪千代田生命ビル設計に当って

川村豊雄

都心に建築されるオフィスビルの設計における必須の課題として，まず当面するのは都市計画への協調であるが，千代田生命ビルの場合，大阪市の幹線として計画された御堂筋の持つ特異性がすべての面で大きなファクターとなった。それは日ごと増大する交通量の問題や複雑な道路管理の問題，公共下水などの対策による諸種の制約であり，設計に当っては終始与えられた都市構成の一貫として検討を重ねた。

平面計画においては商業建築として，より合理的なコマーシャルベースにのるべく，とくにレンタブルスペースの比率には意を用いた。共通部分を東南隅に集約し，設備計画，構造計画と有機的な結びつきをもたせながら，階段室の配置などにはとくに苦心したが，この部分の解決が規準階におけるレンタブルスペース80.5%という高い比率を生みだしている。エレベーションで深く庇をだして横線を強調したことは，たんに造形的な解決にとどまらず，立地条件からくる室内採光の問題，騒音対策，建物のメンテナンス，サッシュの防錆・日照条件・構造的な解決などの諸条件をディスカッションしてエスキスを重ねている。庇をだすことにより床面積があるていど減るという事実はあるが，実際の効果はこれを補ってあまりあるものと思う。この件については，施主の方々の深いご理解とご協力があってこそ実施しえたことで感慨深いものがある。

構造計画はごく普通のラーメン架構で特異な構法は採用していないが，この建物ではじめて累加強度式の断面算定を試み，コマーシャルビルとして経済性を持たせる上に成功した。設備計画も空調室をステップシステムとして，高速ダクトを採用しているが，オフィスビルとして大変有効な働き方をしている。



1階エレベータホール　天井：桧格子組　壁：外国産大理石および泰山タイル貼

設計施工	大成建設株式会社
設計責任者	吉成武雄
設計担当者	川村豊一
設計協力	仮屋薗健幸
構造設計責任者	筒井助郎
構造担当者	竹森達犬
設備設計	加藤庄実
	落合七
電気設計	今橋清
現場責任者	百々稔

1階エレベータホール　床：花崗石貼



大阪千代田生命ビル施工者のことば　　百々　稔

事前調査で判明したことは，御堂筋側と平野町筋側に当敷地境界線に近接して，あらゆる重要施設が埋設せられていること，また他の二面は主に木造であるが，3階建式は250年も経たお寺の本堂とが境界線一杯にびっしり建ち並び，ひどいのは建物の一部あるいはその排水管などが当敷地内に設置されてあって，工事中はともかく，当建物ができてしまうとその処置に大変困るという。大阪のど真中の商業建築としての立地条件は満点のところであるが，施工の面では，ひじょうに不利な環境であった。であるから，私達の最大に注意した点は，いわゆる公害防止というか，第三者被害防止というか，要するに道路側に対しては，通行人および通行車輛の絶体安全をはかるとともに，重要な公共施設である地下埋設物，路面，街路樹などに損傷を与えないように，また隣接家屋には不等沈下の防止に，場内で発する騒音，振動を最小限にくいとめるよう，そして場内での仕事に対する安全対策が工事施工計画ならびに実施に充分留意したものである。特殊工法あるいは新工法は採用していない。

設備の点で，施工上留意したのは，これは設計上の問題が主であるが，空調工事での振動ならびに騒音の防止の点であるが，これは設計者ともども研究し，実験し，修正し，そして満足すべき結果を得た。

この建物の建設期間中天候的には非常にめぐまれ有利であり，その他の点もいろいろよい方に運がついてまわったのであるが，工事そのものはひじょうに苦しかった。立地条件，設計条件によってことなるが，この建物の工期はぎりぎりのところと思う。

竣工の時までに，延，約90万時間無災害でこられたことは望外の幸せであった。







大阪千代田生命ビル

建物位置	大阪市東区平野町4丁目36番地	
建築規模	地下3階 地上9階 塔屋3階	
	鉄骨鉄筋コンクリート造	
敷地面積		1,240.165 m²
建築面積		988.080 m²
延面積		12,875.478 m²
地下3下階		1,040.866 m²
〃 上階		176.681 m²
地下2階		819.151 m²
地下1階		1,047.058 m²
1階		988.080 m²
2階		1,015.972 m²
3～9階各階共		1,084.249 m²
塔屋1階		103.425 m²
〃 2階		93. 402 m²
〃 3階		1.106 m²
合計		12,875.478 m²
建物高サ	パラペット迄	31.000 m
	塔屋最高迄	41.050 m
建物深サ		GL－12.950 m
	最高深サ	GL－13.950 m

上：1階廻階段

踏面：ビニラートタイル

蹴込：外国産大理石

中：9階大ホール

天井：折版屋根

パーライト吹付・コルク吹付

壁　：木毛板下地木製リブ

床　：アスタイル

下：9階大ホール天井

大阪千代田生命ビル

設計施工　大成建設株式会社

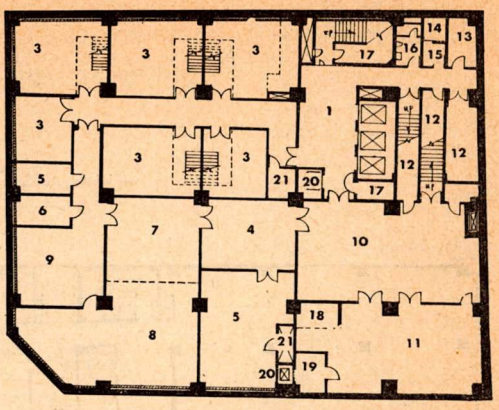
各種設備

- 空気調和設備
  （高速ダクト様式の電子管パネルゾーンコントロール）
- 換気設備（遠方操作様式の機械強制給排気）
- 衛生設備
  （給水湯，排水および消火装置ならび瓦斯設備を含む）
- 厨房設備
- 受電設備（高圧6,600V受電）
- 発電機設備（80KVA×220V）
- 蓄電池設備
- 電灯設備（全館螢光灯照明）
- 動力設備（遠方操作にて自動制御）
- 電話設備（局線400対引込）
- インターホーン設備
- 時刻表示器設備
- 電気時計設備
- テレビ共同聴視設備
- 拡声装置設備
- 赤外線ガレージ管制設備
- 火災報知設備
- エアーシュート設備
- 避雷針設備

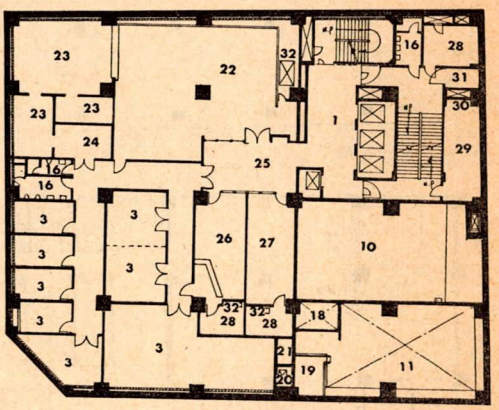
建築機械設備

- エレベーター（3基設置）
- ターンテーブル（地下1階ガレージにて使用）
- 荷搬用リフト
- 給送炭用バケットおよびベルトコンベヤー装置
- 灰出用スキップホイスト

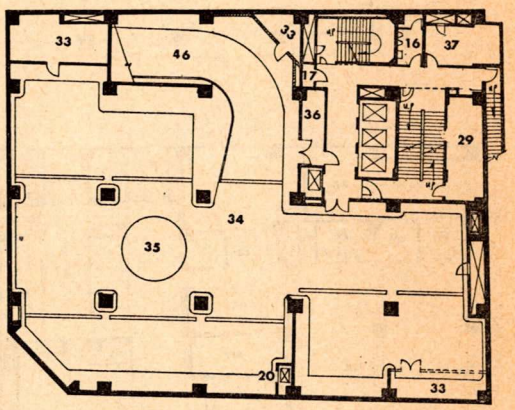
1. エレベータホール
2. 玄関ホール
3. 貸倉庫
4. 中央制禦室
5. ポンプ室
6. バッテリー室
7. 電気看視盤室
8. 変圧機室
9. 発電気室
10. 冷房機械室
11. ボイラー室
12. 倉庫
13. 汚物ポンプ室
14. 浴室
15. 脱衣室
16. 便所
17. 物入
18. 石炭庫
19. 灰庫
20. リフト
21. リフト機械室
22. 食堂
23. 厨房
24. 厨房前室
25. ホール
26. 喫茶店
27. 理髪店
28. 更衣室
29. 冷暖房風調機械室
30. ダストシュート
31. 塵埃処理室
32. パッケージ機械室
33. 換気機械室
34. ガレージ
35. タンテーブル
36. 運転手控室
37. 守衛室
38. 事務室
39. 応接室
40. 金庫
41. 会議室
42. 受付
43. 湯沸室
44. 電話交換室
45. 郵便受
46. ガレージスロープ
47. 支社長室
48. ロビー
49. 書庫
50. テレタイプ室
51. 役員室
52. 営業部長室
53. 電話交換機械室
54. 医務室
55. 検尿室
56. 暗室
57. エヤーシューター機械室
58. 大ホール
59. 控室
60. 和室
61. 談話室
62. 小会議室
63. 管理事務室
64. 重役室
65. 洗面室
66. 折盤屋根
67. 高架水槽室
68. 冷暖房用ポンプ室
69. エレベータ機械室
70. クーリングタワー室



地3階



地2階

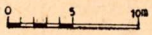


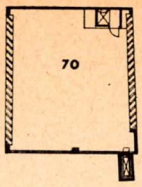
地1階

大阪千代田生命ビル平面図

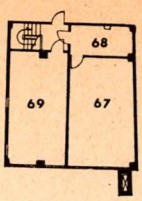
大阪千代田生命ビル平面図

（室名説明は裏面にあり）

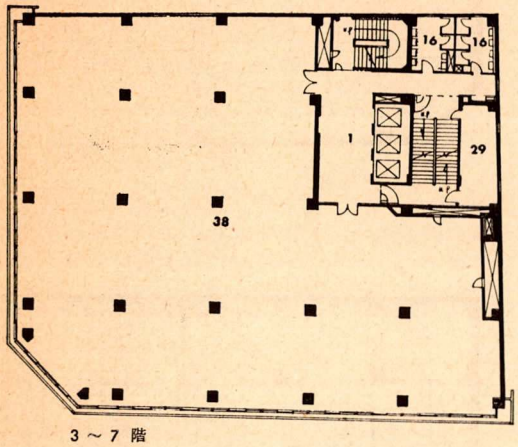




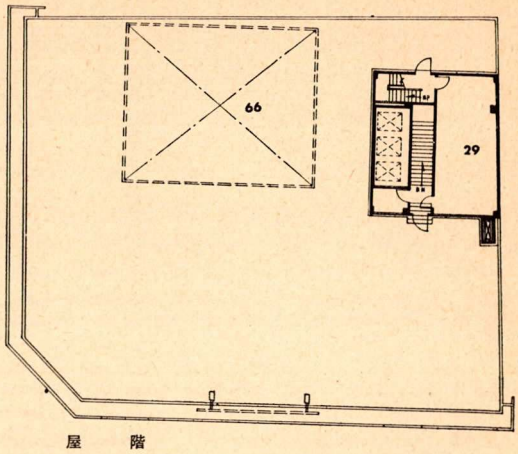
塔屋３階



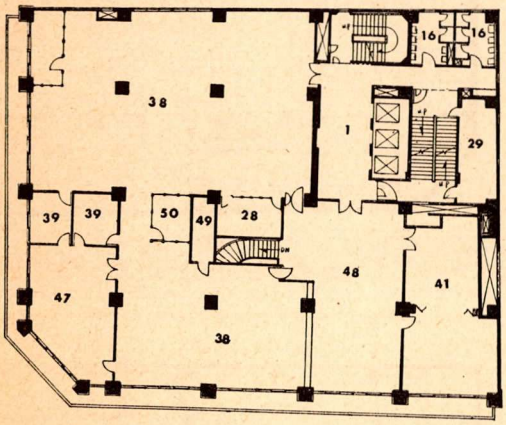
塔屋２階



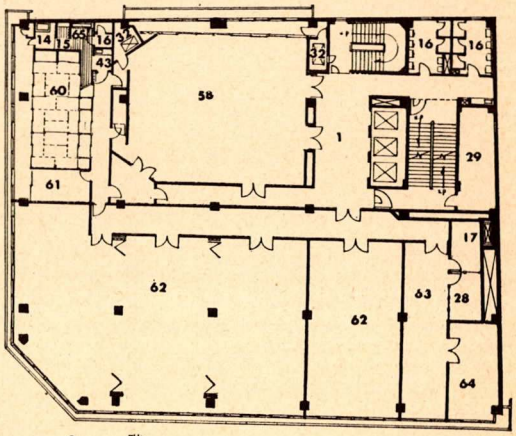
３～７階



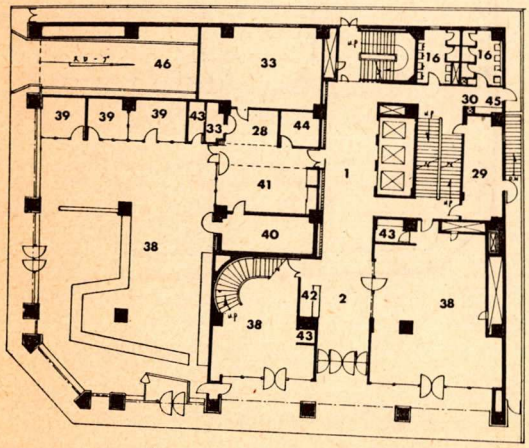
屋　階



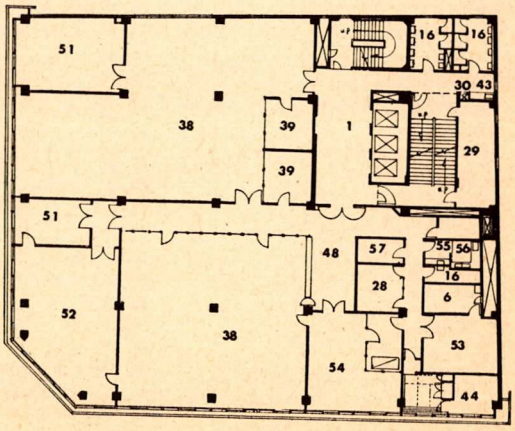
２　階



９　階



１　階



８　階



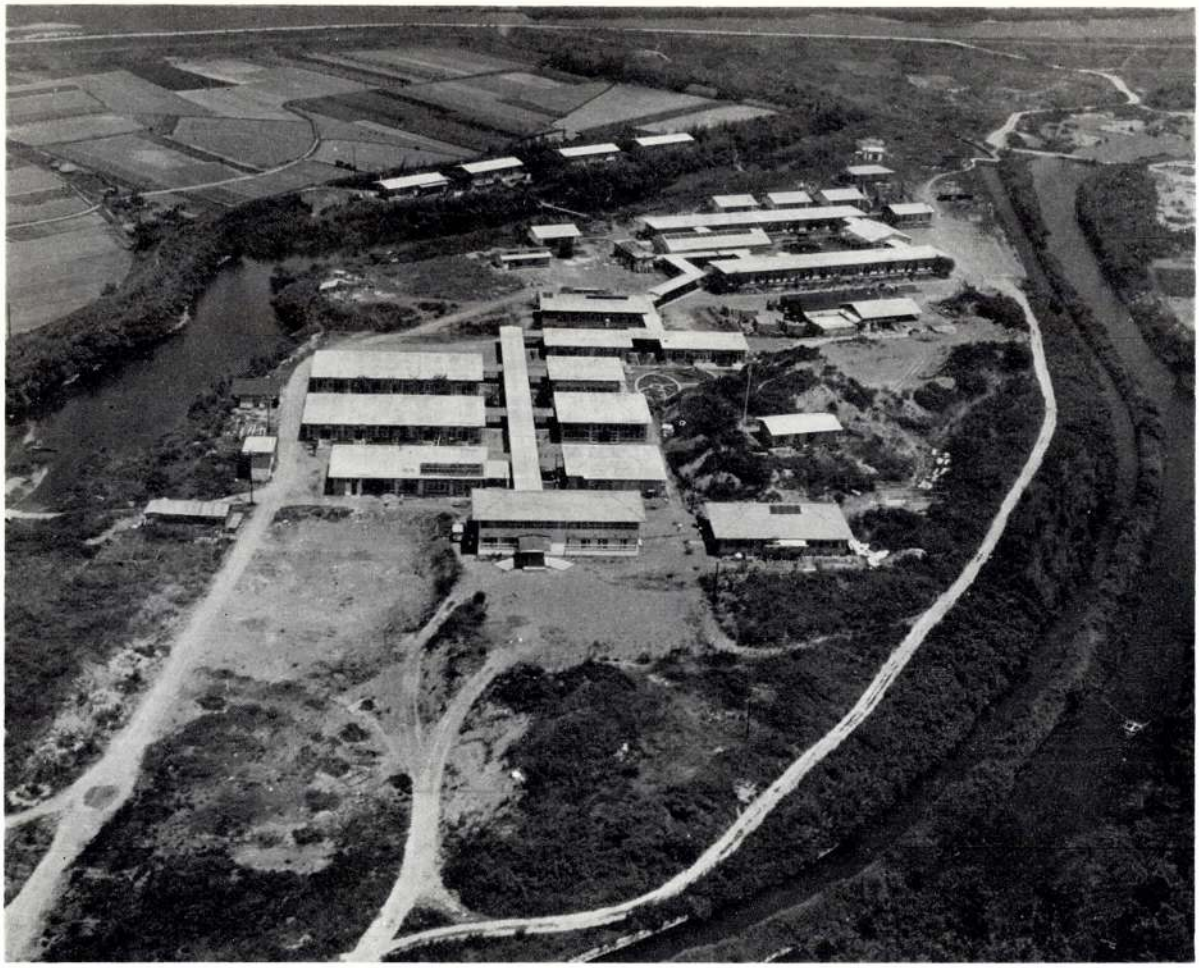
精薄女児のつくった人形
（島田勝次氏撮影）



小児整形外科病院の病室風景　ロスアンゼルス（U.S.A）にて
――拍木大治氏撮影――

作品５点
旭川荘
名張育生園
国立秩父学園
香川県立ひかり整肢学園
兵庫県整肢施設のじぎく園

児童福祉施設

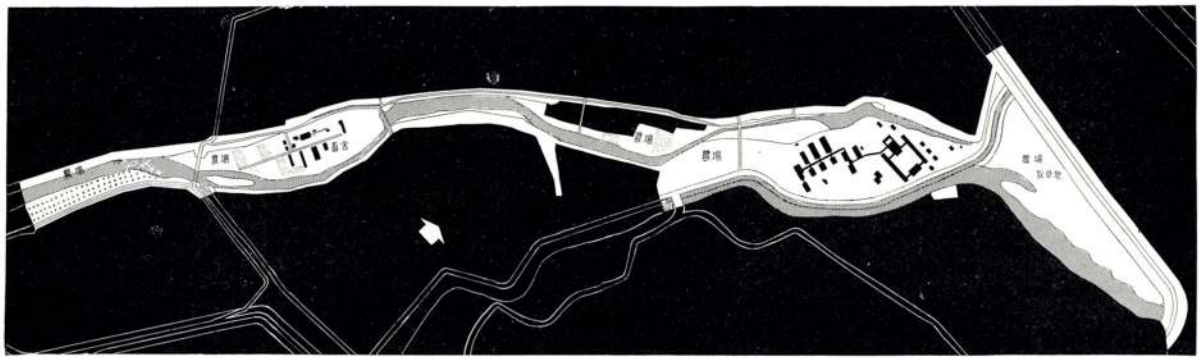


旭川荘の鳥瞰　最上部が旭川の本流

旭川荘

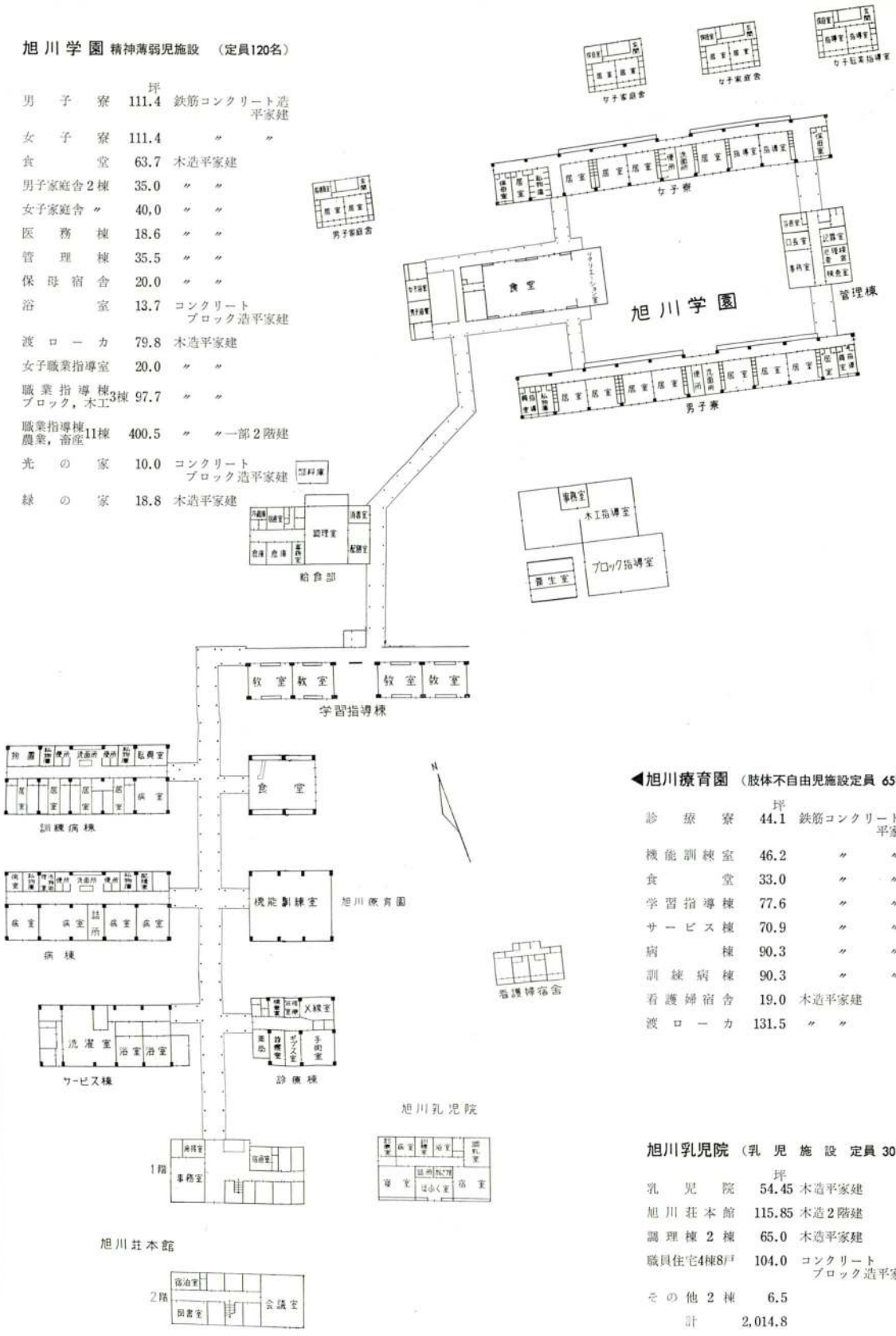
・旭川療育園（肢体不自由児施設）
・旭川学園（精神薄弱児施設）
・旭川乳児院（乳児施設）

設計者　梓建築事務所中国分室
　　田部井泰輔
施工者　KK竹中工務店
所在地　岡山市祇園地先



旭川学園 精神薄弱児施設 （定員120名）

	坪	
男子寮	111.4	鉄筋コンクリート造平家建
女子寮	111.4	〃 〃
食堂	63.7	木造平家建
男子家庭舎2棟	35.0	〃 〃
女子家庭舎 〃	40.0	〃 〃
医務棟	18.6	〃 〃
管理棟	35.5	〃 〃
保母宿舎	20.0	〃 〃
浴室	13.7	コンクリートブロック造平家建
渡ローカ	79.8	木造平家建
女子職業指導室	20.0	〃 〃
職業指導棟3棟ブロック，木工	97.7	〃 〃
職業指導棟11棟農業，畜産	400.5	〃 〃一部2階建
光の家	10.0	コンクリートブロック造平家建
緑の家	18.8	木造平家建



◀旭川療育園 （肢体不自由児施設定員 65名）

	坪	
診療寮	44.1	鉄筋コンクリート造平家建
機能訓練室	46.2	〃 〃
食堂	33.0	〃 〃
学習指導棟	77.6	〃 〃
サービス棟	70.9	〃 〃
病棟	90.3	〃 〃
訓練病棟	90.3	〃 〃
看護婦宿舎	19.0	木造平家建
渡ローカ	131.5	〃 〃

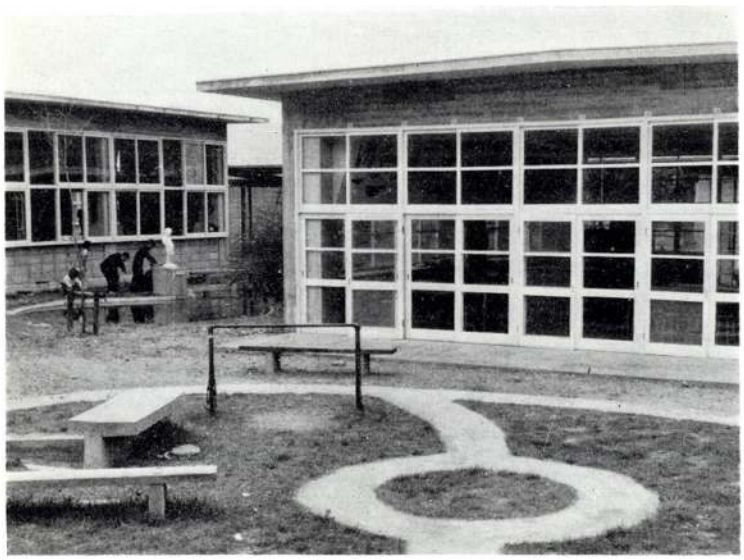
旭川乳児院 （乳児施設 定員 30名）

	坪	
乳児院	54.45	木造平家建
旭川荘本館	115.85	木造2階建
調理棟2棟	65.0	木造平家建
職員住宅4棟8戸	104.0	コンクリートブロック造平家建
その他2棟	6.5	
計	2,014.8	

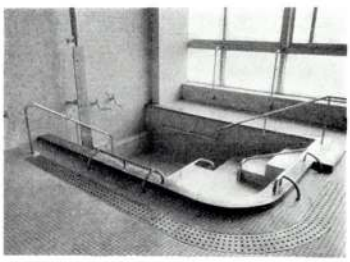
旭川荘



◀全　　景

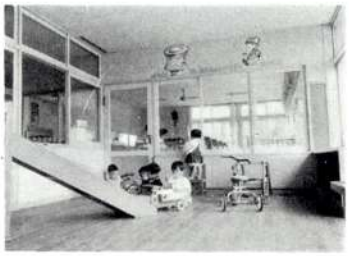


旭川療育園・右手前食堂，池の向うの建物は機能訓練室



肢体不自由児施設・旭川療育園の浴室

浴槽は深部，浅部2段となり，手摺をつたってはいる。

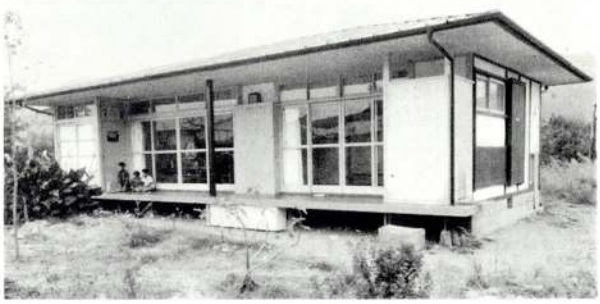


旭川乳児院・ほふく室から乳児寝室をみる ▶

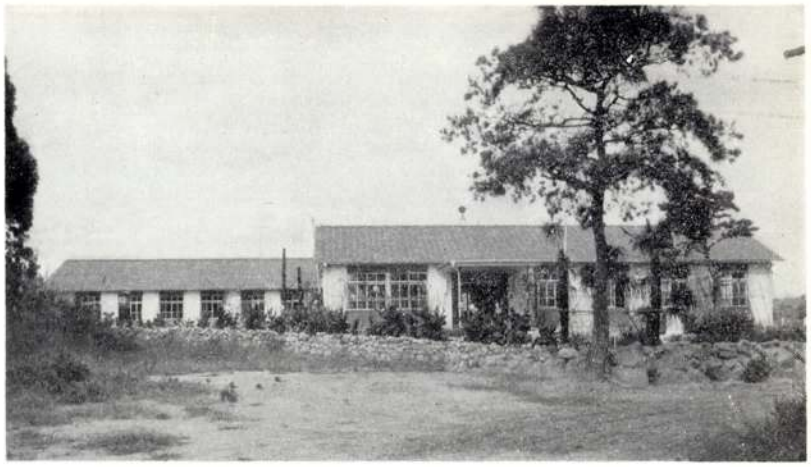
旭川学園・女子寮舎の全景



旭川学園・家庭舎のひとつ（南面）



名張育生園



本館正面および食堂遠望

所在地	三重県名張市東田原2621	
設計	清水建設株式会社名古屋支店設計部	
施工	清水建設株式会社名古屋支店	
面積	本館	58.00坪
	食堂・講堂	108.00
	男児寮舎	73.50
	女児寮舎	52.50
	渡廊下	20.50
	倉庫	30.00
	計	342.50坪
工期	着工昭和33年6月	
	竣工昭和33年10月	
規模構造	本館，食堂・講堂	木造平家建
	男児・女児寮舎	壁体コンクリートブロック造小屋木造，平家建



寮室内部（2段ベッド）



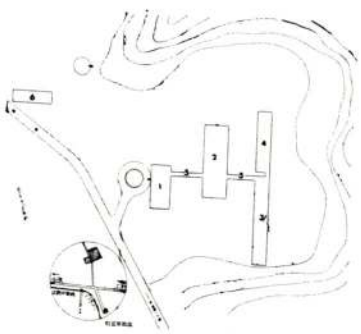
男子寮舎（右），女児寮舎（左）

設計者のことば　　大木通宣

敷地は名張市のまちはずれ，東へ約2粁の小高い丘の上，伊賀の山波が，静かに眺められるこの建物の，敷地としては絶好のものである。建物の配置については，はじめにこの丘の西方斜面を予定されていたのであるが，整地その他の関係で，現在の位置に決定したもので，南から本館，食堂および講堂，男女児寮舎の順に配置し，渡廊下で連絡されている。園長舎および職員舎2戸は，道路をへだてた南側の松林のなかに建てられている。寮舎は壁体構造をブロック造にしたが，これは防火を主眼としたものであるが，夏涼しく冬はひじょうに暖かいと好評であった。建物の色彩については，収容児の特殊性から，もう少し研究の余地があったと思う。竣工後2年使用された園長のご意見として，洗濯室が狭かったこと，乾燥室が必要であること，浴室の暖冷両水槽は暖水のみでよいこと，足洗場を広くとることなど，種々有益な意見をいただき設計者として感謝しているしだいである。

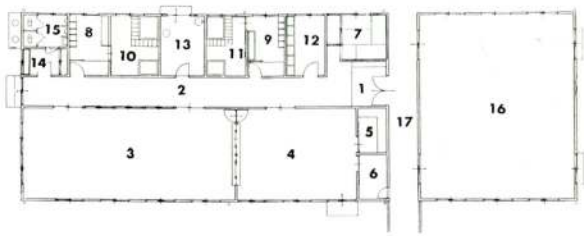
施工者のことば　　浅川松雄

特記することはありませんが，僻地の建設事業に対する困難なことは，すべてのかたがたがご承知のことと存じます。今回の精薄施設の建設作業に必要な，資材の集積および労働力の確保にあたりましては，関係各官庁をはじめ先輩の皆さまがたには，ひとかたならぬご尽力と，労務関係者の皆さまがたのご協力によりまして，がなくつつ竣工しえましたことを喜ぶしだいです。



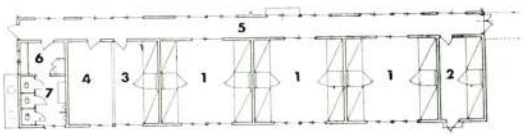
1. 本館　2. 食堂および講堂　3. 男子寮舎
4. 女子寮舎　5. 渡り廊下　6. 倉庫

食堂および講堂
1. 玄関
2. 廊下
3. 食堂
4. 厨房
5. 食品庫
6. 野菜庫
7. 用務員室
8. 男子脱衣室
9. 女子脱衣室
10. 男子浴室
11. 女子浴室
12. 洗濯室
13. ボイラー室
14. 洗面所
15. 便所
16. 講堂
17. 通路



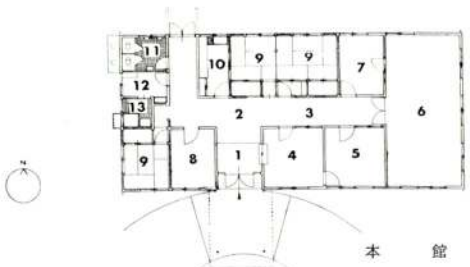
食堂および講堂

女児寮舎
男子寮舎もこれとほとんど同じ
1. 寮室
2. 保母室
3. 指導員室
4. 衣類倉庫
5. 廊下
6. 洗面所
7. 便所

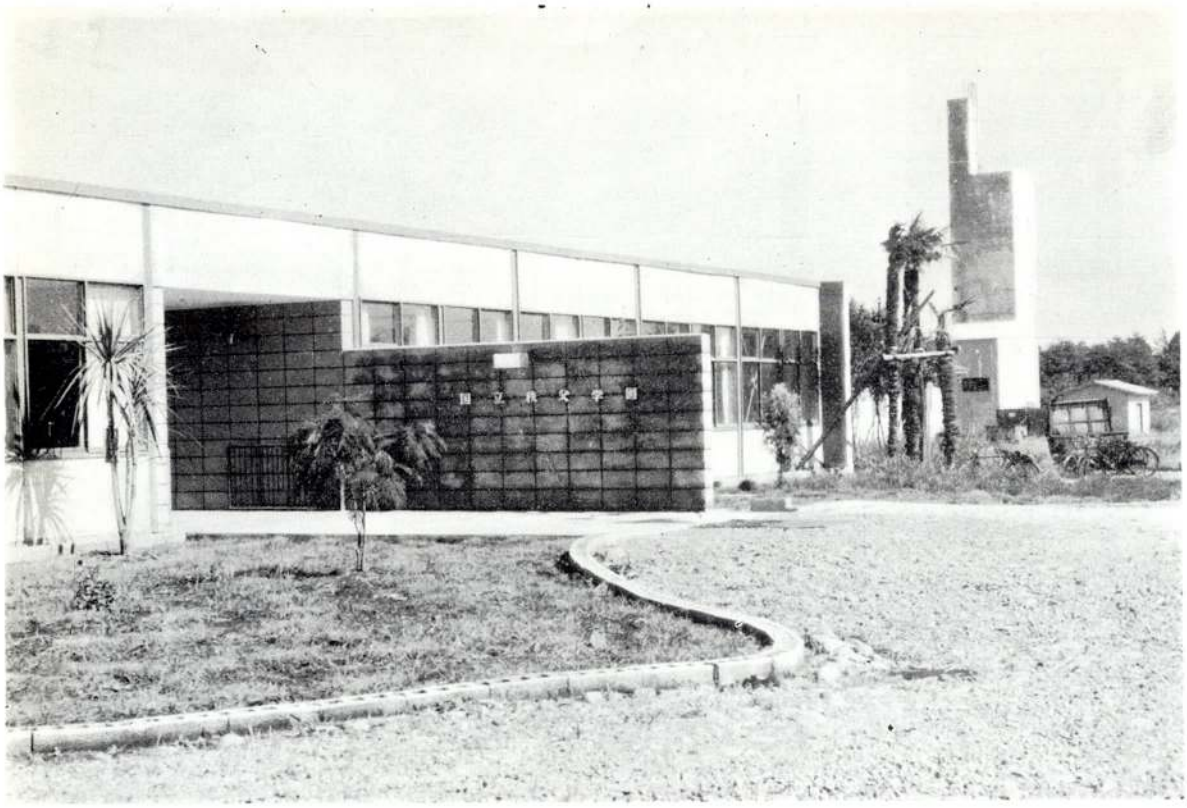


女子寮舎

本館
1. 玄関
2. ホール
3. 廊下
4. 事務室
5. 園長室
6. 会議室
7. 控室
8. 医務室
9. 和室
10. 湯沸室
11. 便所
12. 脱衣室
13. 浴室



本館



国立
秩父学園

（精薄児施設）

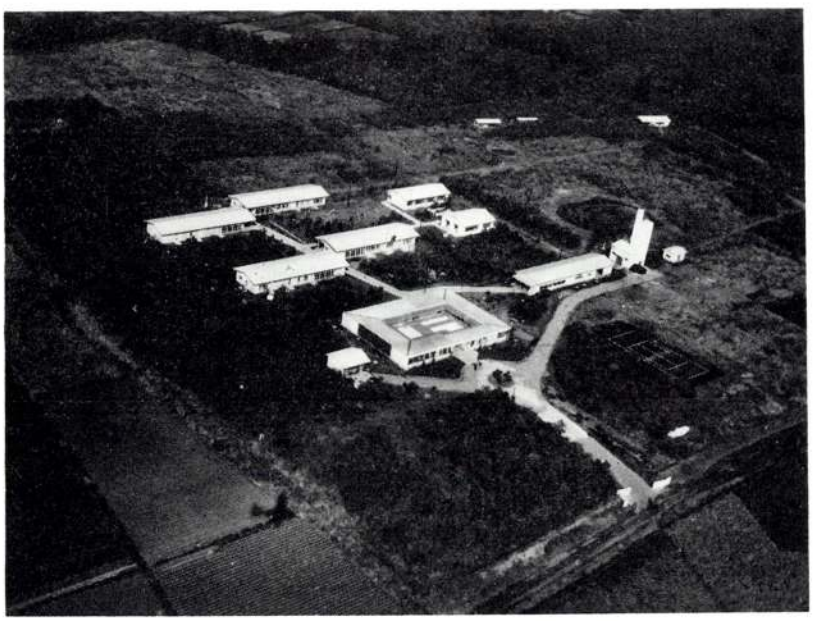
設　計：木　下　茂　徳
施工者：厚　　生　　省

所在地	埼玉県所沢市下新井860
建物延面積	707.33坪
工　期	昭和32年12月 ～ 昭和33年3月
工　費	建築工事　32,240.000円
	附帯設備
	電気工事　3,848,000円
	給排水衛生　16,798,000円
	計　52,886,000円

上：学園玄関
　　右は給水塔

下：学園全景





国立秩父学園の設計によせて

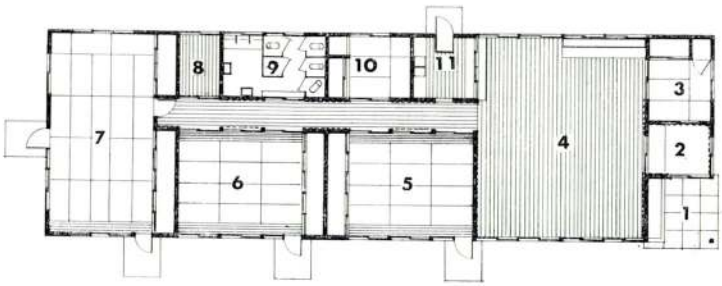
木　下　茂　徳

この建物を設計したのはたしか4年前，昭和32年だったと思います。6月頃から始った設計打合せで，各方面の専門の方々の意見をお聞きしつつ，設計を進めたのですが，議論百出でなかなかきまらず，数十回の打合せの後に最終設計ができ上ったのが，たしか11月頃だったと思います。それというのも水利の便がきわめて悪く，それに要する費用が膨大となり，したがって建築主体工事の費用が少くなったため，要求坪数を満すことはなかなか困難となり，この調整に多大の日時を要したということと，これまでこの方面の施設の研究がほとんど行なわれておらず，計画それ自体においても専門家の間に，かなりの意見の開きがあったことなどが重ったわけでありますが，設計に当ってはこれらの情勢から工期が真冬に行なわれることが必然となってきたので，予算との絡み合いで軽量鉄骨を主体とし，外部にユニオンボードを使い，内部はボードによって仕上げる，いわゆる乾式構造を採用することによって工期の短縮と外部の亀裂防止を計りました。しかし，これらの意図も新材料と，それを使用する職人の技術とのギャップはいかんともし難く，かならずしも初期の効果を上げることができず，寮舎のごときは予算の関係で，スチールサッシの予定が木製サッシに代ったなど，かならずしも満足すべき結果とはならなかったが，この方面の施設に対する新しい意欲は，各方面の方々の努力により充分に表現されているのではないかと思います。

男子寮舎

女子用寮舎もほとんどこれと同じ

1. ポーチ
2. 玄関
3. 保母室
4. 遊戯室
5. 舎室（12帖）
6. 同
7. 舎室（22.5帖）
8. 納戸
9. 便所
10. 宿直室
11. 配膳室

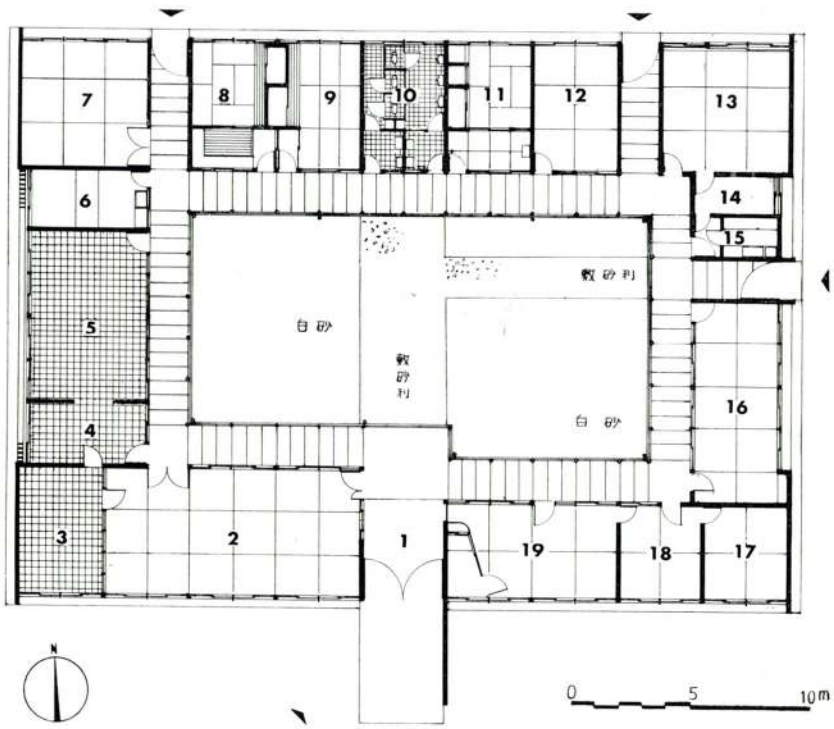


坪数

	坪
本館	187.33
寮舎	294.50
（736.25坪×4棟）	
食事棟	72
指導棟	45
浴室及洗濯棟	35
車庫	10.5
ボイラー棟	17
窯業場	24
農具舎	6
鶏舎	11
豚舎	5
計	707.33

本館

1. 玄関
2. 教員兼庶務室
3. 所長室
4. 応接室
5. 会議室
6. 小使室
7. 倉庫
8. 看護婦室
9. 静養室
10. 便所
11. 宿直室
12. 脳波測定室
13. レントゲン室
14. コントロール室
15. 暗室
16. 図書資料室
17. 行動観察室
18. 面接兼検査室
19. 治療室



国立秩父学園本館および寮舎プラン

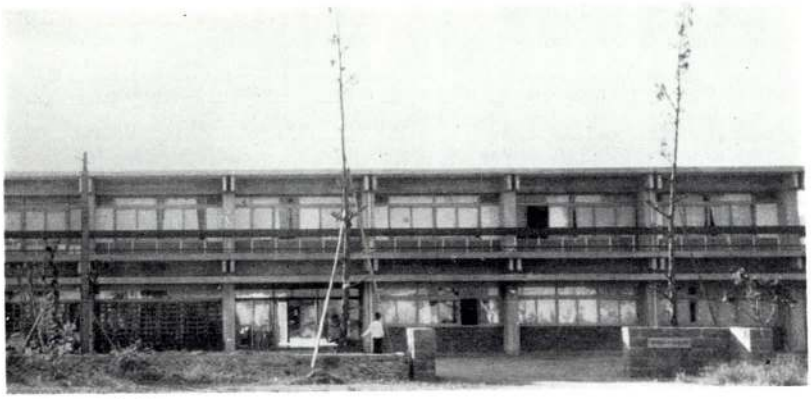
香川県立
ひかり
整肢学園

（肢体不自由児施設）

設　計　香川県土木部建築課
施　工　大洋建設KK
位　置　香川県高松市田村町1136
設置経営　香川県
開　設　昭和34年2月1日
収容人員　100名
着　工　昭和33年3月
完　成
（一期）　昭和34年2月　本館・病棟・炊事棟
（二期）　昭和34年6月　居室棟・機能訓練棟・教室棟
敷　地　3,300坪
建　物　771.81坪



本館西面詳細



本館正面（東側）

本館西側中庭



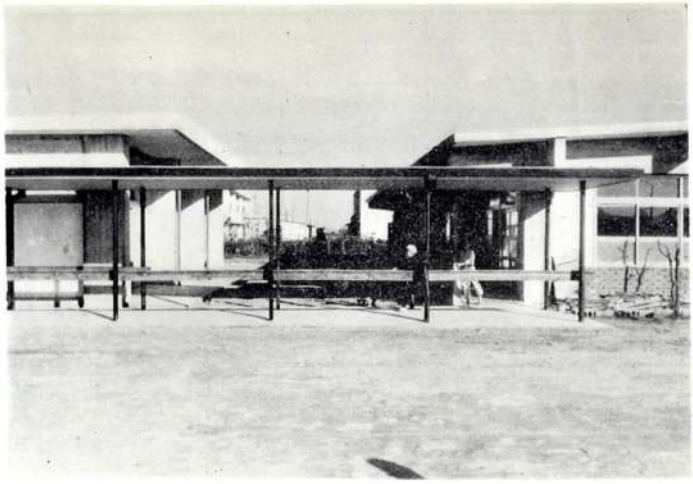
・設　計　要　旨・

「ひかり整肢学園」は，児童福祉施設に含まれる肢体不自由児施設である。これは小児マヒ・脳性マヒなどにかかって，上下肢や体幹などが不自由になった子供を収容して，適切な整形外科的手術を行ない，機能訓練をさせ，将来独立自活の生活が営めるように指導して，児童に希望を与える総合施設なのである。

香川県高松市の街はずれ，栗林公園の東の道を南へずっと入ったたんぼのなかに，当学園は建設された。総工費約5千万円で，一期，二期に分けてつくられ，躯体は鉄筋コンクリート，渡り廊下のみ鉄骨造である。

この施設の計画上の問題は，まず病院・施設（訓練・家庭）・学校の3つのセクションをいかに有機的に配置するかということであった。ここでは，病院的施設と管理のための諸室を含んだ本館と，ベッド式とタタミ式の各性格のちがった2つの病棟，そして学習棟，機能訓練棟，および炊事・食堂・浴室・ボイラー室などを含むサービス棟に分れ，それを渡り廊下でつないでいる。これらの各棟は肢体の不自由な児童のために積み重ねるわけにゆかないので，横に広くなり，したがって動線は長くなるが，機能と訓練の二方向の要求を適当に配置のなかに盛り込もうとこころみている。細部では例えば，廊下巾を広くとり，スリップや凸凹には十分注意し，壁にはずっと手すりをまわしたが，積極訓練の意味では，多少すべる床や階段も必要であろう。

ともかく，隅々まで細かい神経を働かせた「不幸な子供たちを育くむ大きな愛情」をもとにした態度が，これらの施設の設計の出発点となる。



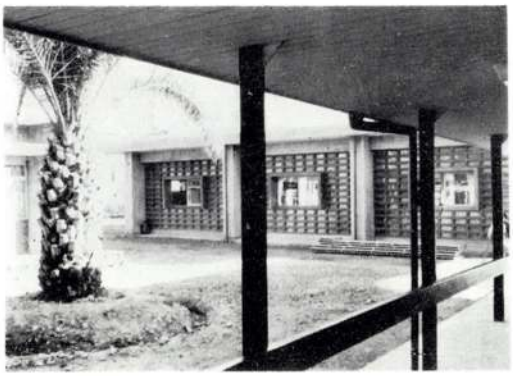


渡り廊下・（左）機能訓練棟，（右）教室棟

渡り廊下（鉄骨）―木のてすりがずっとついている―

香川県立

ひかり整肢学園



◀ 渡り廊下より機能訓練棟を望む

―― ひかり整肢学園施設内容 ――

本　館　鉄筋コンクリート造，2階建，247.50坪
園長室・事務室・医局・図書室・薬局・診察室・マッサージ室・検査室・レントゲン室・手術準備室・手術室・ギプス室・暗室・会議室・小使室・宿直室・修養室・静養室・保母室（2室）・婦長室・看護婦室（5室）

病　棟　鉄筋コンクリート造ブロック積，平家，147.58坪
病室（8室）・看護婦室・リネン室

居室棟　鉄筋コンクリート造ブロック積，平家，111.40坪
訓練室（4室）・病室（2室）・保母室・職能訓練室・リネン室

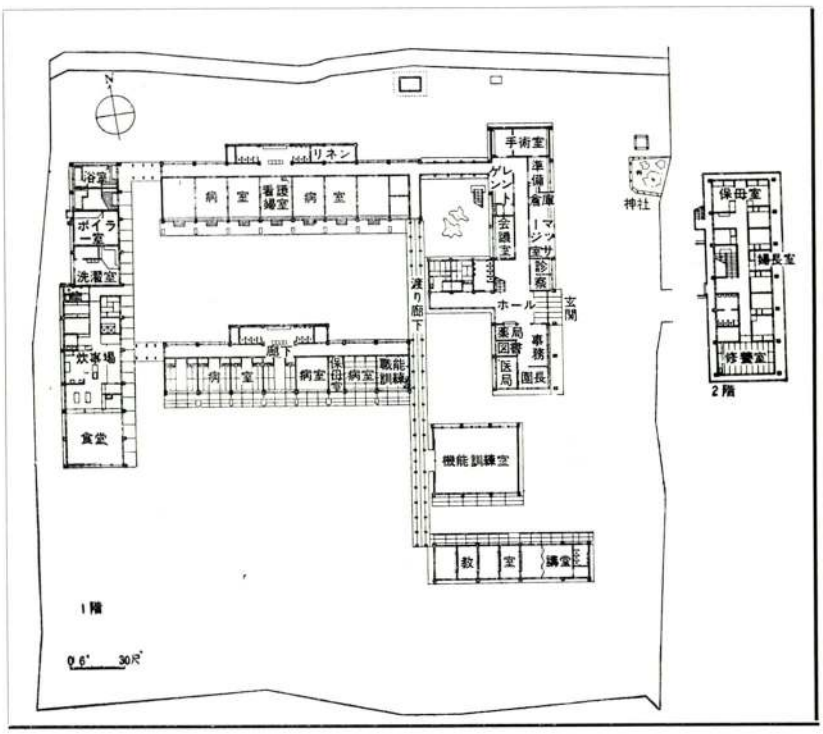
炊事棟　鉄筋コンクリート造ブロック積，平家，126.50坪
食堂・調理室・炊婦室・洗濯室・ボイラー室・浴室（2室）

教室棟　鉄筋コンクリート造ブロック積，平家，43.50坪
職員室・教室（3室）・講堂

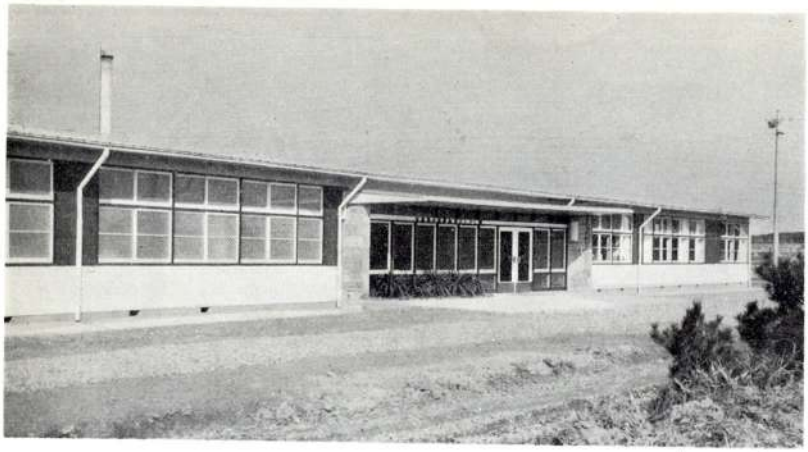
機能訓練棟　鉄筋コンクリート造ブロック積，平屋，48.00坪
機能訓練室

渡り廊下　鉄骨造，45.05坪

受電棟　鉄筋コンクリート造ブロック積，平家，2.28坪



兵庫県整肢施設
のじぎく園



本　　館



病　　棟

場　　所　神戸市垂水区押部谷町西盛字北山

設計・工事監理　兵庫県土木建築部建築課
　　神戸市建設局営繕一課

施　　工　株式会社 進 藤 組

1) 本館建築工事

- 木造平家建　1棟，三晃式W型小波鉄板葺
  梁間 5.5間　桁行 31.5間
  178.00坪
- 軒　　高　11.5尺
- 軒　　出　3 尺
- 基　　礎　コンクリート，モルタル刷毛引
- 外　　壁　モルタル刷毛引，リシン吹付
- 軒　　裏　ノザワ大平板張

2) 第1病棟および第2病棟

- プレコン平家建　三晃式W型鉄板葺
  梁間 5間　桁行 24間
- 建築面積　120坪　計240坪
- 軒　　高　11.8尺
- 軒　　出　3.3尺
- 基　　礎　モルタル刷毛引
- 外　　壁　モルタル刷毛引，リシン吹付，
  柱プレコン打放し

3) 機能訓練棟

- プレコン平家建　三晃式W型小波鉄板葺
  梁間 5間　桁行 13.5間
- 建築面積　67.50坪
  以下病棟に同じ

4) サービス棟

- 木造平家建　屋根病棟に同じ
  梁間　5間 および　1.5間
  桁行 22間 および 18.5間
- 建築面積　115.25坪
  以下本館に同じ

5) 教　室　棟

- 木造平家建　梁間　4.25間 および 5.75間
  桁行 23.5間
- 建築面積　104.375坪

6) 渡り廊下

- 鉄骨造平家建　大波スレート（コルゲート）
  梁間 1.5間　桁行 22.5間
- 建築面積　34.95坪

7) 看護婦宿舎

- 木造平家建　屋根各棟に同じ
  梁間 2.75間 および 25間
  桁行 22.5間，4 および 5間
- 建築面積　85.375坪

8) 車　　庫

- 木造平家建　屋根　ノザワ大波スレート
  梁間 2.5間　桁行 3間
- 建築面積　7.5坪

合　計　832.95延坪

手　術　室



設計の主旨

敷地は，神戸電鉄栗生線の「緑が丘」駅から徒歩で約10分，広くなだらかな緑の丘陵地で，空気の澄みきった高原地帯です。本館，病棟関係（看護婦寄宿舎をのぞく）のある位置は，いぜん神戸電鉄の広野軟式野球場だったので，1期，2期工事の整地工事はほとんどせずにそのままで，観客席一部を取除くていどであった。この「のじぎく園」は手足の不自由な子供達（満18才未満）のために医療，機能回復のための訓練，義務教育，などを行なう県立の総合施設です。この施設は厚生省の規準（50ベットで500坪，100ベットで750坪）によって計画設計を行なった。

設計上の要点および特長

不自由児のための訓練的および保利的（必要な）について，この施設では中庸を取った。
①建物の性質上全体を平家建にして，ひどい高低をできるだけさけたいために，上記にのべたいぜんの野球場の位置に本館（医療，監理），病棟，訓練棟，教育棟，サービス棟を計画し，整地費を少なくし，周囲の自然をできるだけそのままにした。
②各棟間を繋ぐ主渡り廊下は歩行訓練用をかね手摺をつけ床にペンキで歩行通路を書いた。
③各病棟にサンルームを食堂兼用にし，在来食堂という観念を取りのぞき利用度をたかめた。
④動線の合理性からサービス棟の位置を考慮して計画を行なった。
⑤浴室の計画について，年令の差が大きいので，深さを3段階にわけ浴槽内にも各手摺をつけた。水浴療法のためのプール（室内，室外2個所）を取り室内は温水プールにした。
⑥色彩調節については，子供達のことを考え暖色系統のパステルカラーを用いた。

（雑田幸夫・宮川吉夫記）

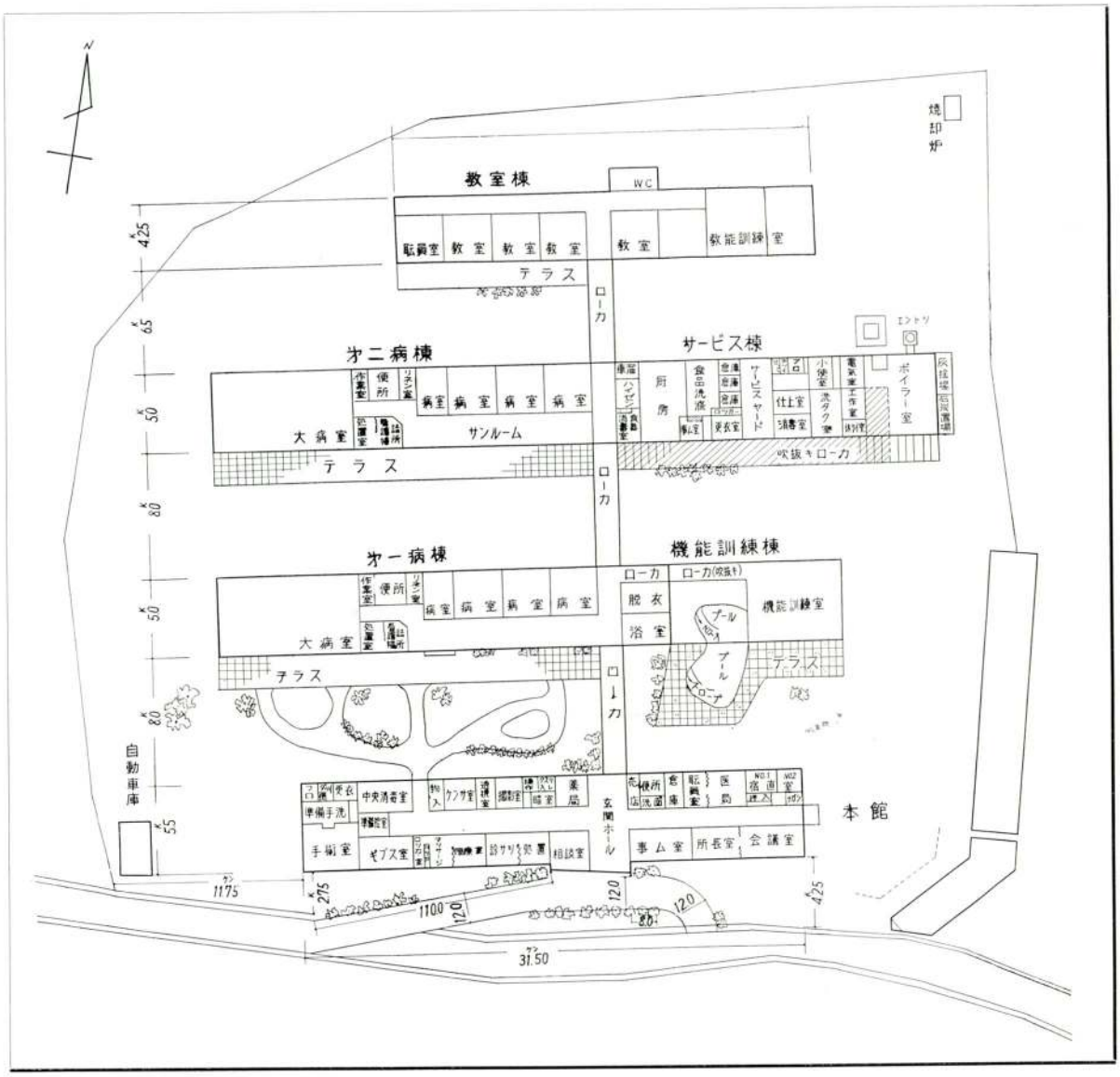


病棟内部（大部屋）



浴　　室

兵庫県整肢施設のじぎく園

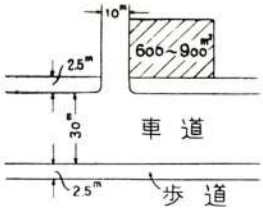


第 6 回
工高生デザインコンクール
入選作品

設計課題
ガソリンスタンド
主　催
社団法人 日本建築協会

設計要件

a. 敷地	600～900m² 右図の通り矩形（正方形も含む）の敷地
b. 建築の面積	30～50m² （庇面積を含まない）
c. 規模・設備	(1) 事務所（事務室・仮眠室・湯沸場・客兼用便所） (2) 貯蔵庫3～6m² （危険物少量貯蔵） (3) 給油計量器4基（地下貯蔵タンクは考慮の要なし） (4) 洗車場 (5) 広告用アクセサリーその他
d. 構造	主体は鉄筋コンクリート造平家建



審査は昭和35年10月22日午後2時～6時にわたって伊藤貞亮委員長，足立孝，杉本裕，竹口信夫，辻秋次，島田家弘，西沢文隆（代理），松川和正各審査員の出席を得て，本会4階集会室において開催した。本年も北海道から鹿児島にわたる全国の工高より26校・94点の応募作品があった。審査方法は従来通りの荒選びを行ない約3分の1程度の作品を残し，それより投票により順次審査を進め，入選作品10点を選んだ。入選作品についての審査員各位からのご批判を要約して作品の頃に掲載した。

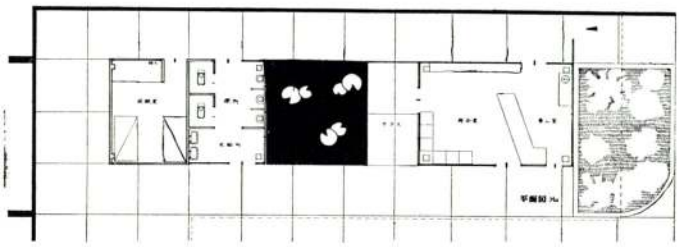
審　査　総　評

審査委員長　伊　藤　貞　亮

今回の課題は，一見自由奔放にデザインの腕がふるえそうであるが，いざタッチしてみると，なかなかそうはゆかず，応募者におかれては，いろいろと壁や制約にぶつかり，かえってやり難く感じたことと思います。実際においては，その制約は案外大きなもので，実施設計にあたるものは創作意欲に比例して，苦しみを味わうものであります。今回は応募諸子が，その制約を意識的に，あるいは無意識的に，少々破ることによって何か新しいアイディアを提供してくれることを，秘かに願ったのは小生だけではないようです。

結果は上々で，多くの応募作品はこれに答えてくれ，なかなか楽しい審査でありました。全般的な評としては，製図技術，とくに透視図のでき栄えが一段と進歩してきたことと，計量器まわりの照明が不足していること，車の運行上の配慮が不足していることが挙げられます。　以　上

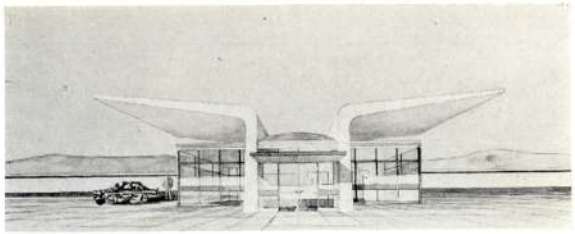




デザインとしての，野心の一部はうかがわれるが，もっとアクセサリーなどつけたして欲しい。迫力不足も惜しい。

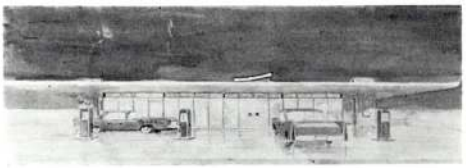
新潟県立高田工業高校　3　年　松島哲奘，鹿住　烈，中村公一

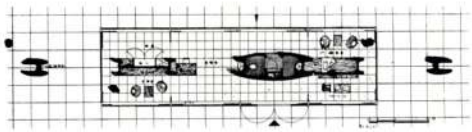




大胆さと意気を買う。アクセサリーを用いずに逃げたが，これは非現実的である。プラスチックの屋根は再考を要する。

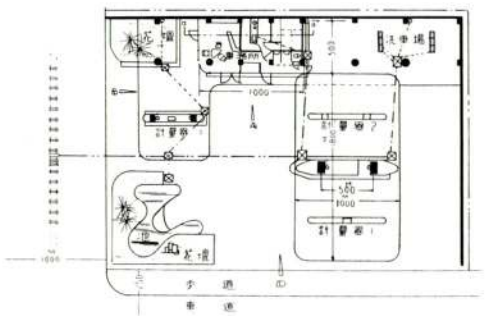
大阪市立都島第二工業高校　4年　仲宗根宗誠，高橋博之





創作意欲が充分透視図に表現されていないが，なかなかよい作品である。着想は面白いが車の運行上の配慮不足。

東京都立墨田工業高校　3年　大谷海浄，宮本光雄



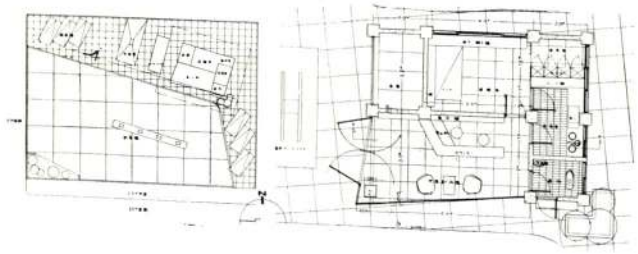


特色が不明瞭であるが，真面目な制作態度を買う，ただし若人の意気はやや不足。

京都市立伏見高校　3年　中路克己



力強さと大胆さを買う，造形的な美的センスがもう少し欲しい。



名古屋市立工芸高校

2　年

渡　辺　正　之



ひとつの主張を生かすために，重要な面がなおざりになっている。もっと苦労して案を練ったら，すばらしいものになる。

早稲田大学工業高校

4 年　菅　家　靖　夫

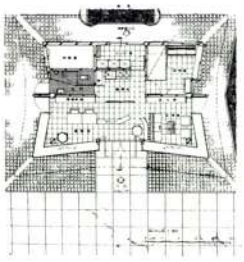
3 年　有　村　光　郎

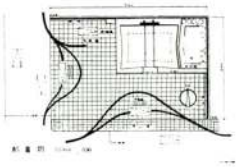
3 年　根　岸　太　郎





プランの実用性を買う，外観をもう少し研究したらよい作品となる。

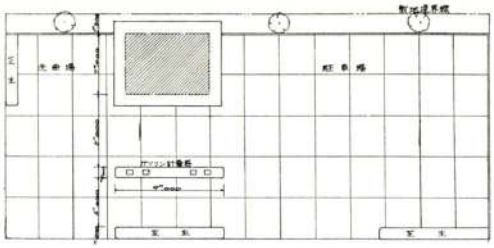




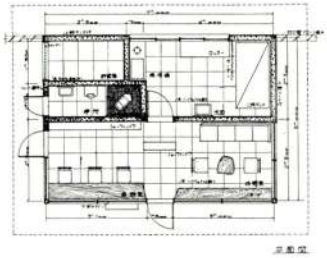
神奈川県立神奈川工業高校

3　年

三　宅　健　司







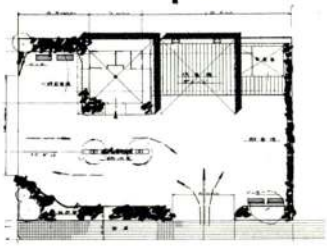
簡明さを買う，ただし独創的センスやや不足。

大阪市立都島工業高校　3年　伊藤善文



近い将来の傾向を暗示するような作品。着想は優れているが，構造的な要素も同時に考えながら，案を練る必要がある。

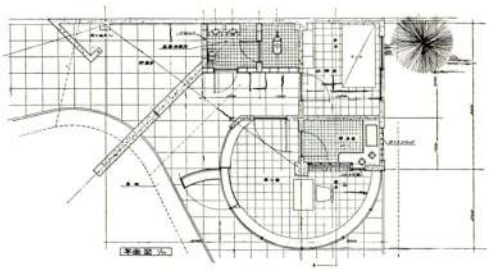


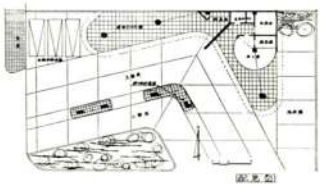


大阪府立西野田工業高校　3年　浜崎彰



力強さ，洗練さを買う，車の運行上の細かい配慮を行なえばもっとよいものになる。





名古屋市立工芸高校　3年　前田嘉夫

大阪の交通問題

最近ある雨の日，大阪では梅田を中心に全くの交通マヒ状態で，3時間も車が立往生するようなことが起った。国民所得倍増論に先がけて，中古車でも運転しようというサラリーマンが急速に増えつつある現在，当然避けられない無計画都市大阪の病状である。ターミナル梅田はもっと広い広場を計画しておくべきであったのに。今からでも，地下を含む三層の立体広場を築き，人は地下道路を車は阪急・阪神をとりまく六本の交叉路道線を立体的に一方交通にして駅前ロータリーで廻転させるような方法をとれば，もっとスムースな流れが期待できる。

それより前に，市電を全廃して2階建バスに換え，地下鉄を増設すれば，道路だけすこしは美しい都市にうまれ変ることだろうが，それにしても小型車が満員で走っているのに，キャデラックに一人ふんぞり返っているような見栄を止めてもらわないと，道路はますます狭くなるばかりである。 (Ms)

車窓より

このごろ汽車で旅行すると，各地で秋のみのりのあいまに新しい工場建築が目につき，そのいずれもが競って建築的な広告効果を意識して計画され，また充分その効果を発揮しているのに感心する。しかし，これは会社側の申出によるのが建築家の申しでによるのかと考えてみた。

もし会社側の申しでならば，その会社の人々は建築を充分理解しておられるわけであり，また建築家に対しても相当の尊敬をはらわれるに違いない。建築家の提案によるものなら，私は作品そのものに対する敬意とともに，建築家の一人として，それらの作品を通じて世人の建築に対する理解を深められ，ひいてはわれわれ建築家の地位の向上にも貢献せられた点に感謝したい。そしてわれわれにもこれら建築家の驥尾に付して，作品を通じて世人の建築に対する理解と建築家への尊敬を高めたいと思う。 (NM)



（次号は新執筆者を予定しております。）

なこおどの心がまえ

雨が降ったら豆をばらまいたような音がしないか。夏をより暑くして焼鉄板の下で眠らねばならぬようなことをしていないか。土で作った瓦よりも構造体は経済的に使用されているか。台風にさらされたとき，お隣は瓦がゆるんでいる程度であるのに，こちらは一皮むけてしまっていたりしないか。40年位は大丈夫です，といいきれるか。瓦葺のものよりも優れたデザインであるか。

土で作った瓦が重いから，鉄板やアルミのように現代的な材料を使用して屋根を葺く方が頭は軽くなって大変によろしい，ということが大原則であるように思えるし，また現代の建築家としては常識のようなものだと思うのだが，最近の住宅建築のスタイルとしては，緩勾配でないとオシャレをしていないような風潮がなきにしもあらず，といいたい。きわめて初歩的なことだが，前記のようなことに再注目して，私達は，鉄板やアルミのもつ特性を最高度に生かすように心がけたいものだと思う。日本という風土と，新しい建築材料のブレンドを，私達は成功させなければならない重大な仕事をしているのだから。 (Ok)

1分間消費するためのお金

私の設計した洋酒喫茶が，だいたい6分の入りで，まずはめでたし，と思っていたところ，赤字だという。経営者とともにイロイロ検討した結果，10分の入りを仮定しても初期の利潤がないという結論に達した。洋酒喫茶客1人当り1分間5円ぐらいに相当し，喫茶店で4円，中華料理（宴会）で10円，おでん屋で10～12円，ナイトクラブで25円ぐらいという数字がでた。以上の数字を信用したわけでもないだろうが，結局ナイトクラブに改装することになった。

月収3万円の人で労働時間1分当り2.5円，年収100万円の人で7円ぐらいになるはず。うかうか酒ものめない。

何かもっと安いのはないかな……。夕刊が0.2円，週間誌が0.3円，雑誌が0.4円，小説1円，銭湯0.5円，トルコ風呂10～12円，市電1円，郊外電車2円，汽車10円，飛行機50円，ハイヤー20円，家賃0.07円（3000円/月），螢光灯0.0174円（償却とも）等々。けっきょく銭湯へ行って，家で寝ころんで，夕刊を読んでるのが一番安いようです。 (YI)

児童福祉施設について

岡　村　重　夫

1. 児童福祉施設の種類

児童福祉法には，12種類の「児童福祉施設」がさだめられている（法7条，法36—44条参照）が，それらはいわば法定の施設であって，そのほかにも児童を短期間収容する施設や児童の問題について相談をうけたり，心理的治療とする施設もある。そこでまず児童福祉法でさだめられているものをあげてみよう。1.助産施設，2.乳児院，3.母子寮，4.保育所，5.児童厚生施設，6.養護施設，7.精神薄弱児施設，8.精神薄弱児通園施設，9.盲ろうあ児施設，10.虚弱児施設，11し体不自由児施設，12.教護院（以上は法律用語そのままを使った）。そしてこの法定の「児童福祉施設」のほかに，公立児童相談所とそれに付設せられる一時保護所や1959年ごろから国庫助成をうけて，ぽつぽつ作られている母子健康センター，農繁期保育所や5人未満の小規模の収容施設なども，広い意味で児童福祉施設ということができよう。

このようにひとくちに児童福祉施設といっても，その目的や機能はさまざまである。そこでこれをまず二つに分けて，（1）児童を施設に収容して起居させる収容保護施設と（2）昼間だけ施設を使って児童を保護する昼間保護施設とに分類することができる。この二つは，建物においても，設備においても全く異ることは，いうまでもないが，しかし同時に，おなじ収容保護施設でもそれぞれちがった目的をもっているので，以下この点について，簡単に解説しておこう。

1) 収容保護施設

助産施設　児童の福祉は母体の保護からはじまる。貧困のため入院助産をうけることのできない妊産婦を入所させる。これには病院と助産所の2種類がある。

乳児院　原則としてし満1才未満の乳児を収容し，これを養育することを目的とするが，10人未満の乳児を収容させるものは，「乳児預り所」といい，設備，職員などの法定条件において乳児院ほど厳格ではない。

母子寮　18才未満の子をもつ独身の母を収容するが，各戸自炊を行なう。児童の年令と数によって保建上の設備について特別の規定がある。

養護施設　乳児をのぞいて，保護者のいない児童，虐待されている児童など家庭に代る養護を必要とする児童を収容する。日本の現状では年長児童にも，まだ個室をあたえていない。児童相談所付設の「一時保護所」はこれに準ずる。

精神薄弱児施設　精神薄弱児童を入所させて，保護するとともに，独立自活に必要な知識・技能をあたえる。したがって養護施設以上に職業の指導に重点をおいている。

盲聾唖児施設　盲児（強度の弱視児をふくむ）を収容する「盲児施設」と聾唖児（強度の難聴児をふくむ）を収容する「ろうあ児施設」とに区分する。法律ではこれを一括してよんでいるが，実際には別箇の施設である。いずれも日常生活の保護独立自活に必要な知識と技能をあたえる。

虚弱児施設　身体の虚弱な児童に適正な環境をあたえて，その健康の増進をはかるために収容保護をおこなう。診療室が必要である。

肢体不自由児施設　上肢，下肢または体幹の機能の不自由な児童を収容して，治療を行なうとともに独立自活に必要な知識技能をあたえる施設である。したがって高度の医療設備や職業指導ないし作業療法設備のほか，就学免除（猶予）者のための教育設備を法的に要求せられている。

教護院　「不良行為をなし，またはなすおそれのある児童を収容して，教護することを目的とする施設」と定義されていて，少年院法で定める少年院とはまったく別箇のものである。

2）昼間保護施設

保育所　古くは「託児所」とよばれ，いまでも地方によっては「保育園」とよばれるが，法律用語は「保育所」である。家庭が昼間保護をうけることのできない乳児や幼児をあずかって保育する施設であるが，設備について法定の条件を要求せられるのは，児童15人以上の保育所である。

児童厚生施設　「児童館，児童遊園など児童に健全な遊びをあたえて，健康を増進するとともに情操をゆたかにすることを目的とする施設である」と定義されている。

精神薄弱児通園施設　精神薄弱児童を毎日自宅から通わせて，独立自活に必要な知識・技能を教育することを目的としている。学校教育法に規定する「特殊学級」ににているが，通常の学校に付設されるのではなく，独立した施設である。

児童相談所　公立の児童相談所は，ひろく児童の問題について相談をうけ，法律上の権限にもとづいて児童を措置するほかに，検査および心理的治療を行なう。短期間収容のために付設の一時保護所を設けるほか，多数の面接相談室や検査室および観察室を必要とする。なお法律上の権限をもたないで，児童の相談や検査を行なう一種の「児童相談所」を設けることもできる。

2．児童福祉施設の数

前節であげたような児童福祉施設は昨年度はじめにおいて，合計11,650ヵ所あり，そのうち8割以上は保育所である。ついで母子寮と養護施設が多い。保育所がこれほど圧倒的比重をしめるのは，わが国の児童福祉施設の特色であるが，長時間労働や低賃銀のためばかりでなく，最近の夫婦共稼ぎ傾向の増加からみて，保育所はこんごも増加するであろうと思われる。母子寮や養護施設は，終戦後の「戦争未亡人」や「戦災孤児」の問題に対応して増設せられたものであるから，こんごはあまり増加することはあるまいと考えられる。しかしその反面において，それらの多くが戦後の応急的建築であるために今日多くの施設が老朽化してしまって，改築を必要としている事実を指摘しなければならない。そのために民間団体の経営する施設においても，毎年共同募金やお年玉付年賀はがきによる建設資金配分の要求がつよくだされてきた。現に昨年度の社会福祉事業振興会に対する融資申込件数は160件以上にのぼった。

比較的少数の施設のなかでも，こんご増設の可能性のたかいものと，そうでないものとがある。たとえば乳児院，助産施設などは当分増加しないであろうし，精神薄弱児通園施設，肢体不自由児施設は，現状では到底要求に対応することができず，公立私立を問わず，こんごますます増設せられる傾向にある。これはたんに筆者個人の推測ではなくて，最近数年間の統計によって証明することができる。

この原因を明確にすることは困難であるが，しかし一応，われわれはつぎのごとく理解することができよう。じゅうらいの児童福祉施設は，戦後の社会情勢に対する応急的な対策として運営されてきたのに対してこんにちでは，むしろ，より一層専門的技術を要求するような施設を必要としてきた。たとえば貧困児童にたいして，とにかく最低限の衣食住を提供するような保護施設は，応急的対策としてのみ有意義であり，こんにちではそのために施設を設ける理由はなくなっている。むしろ児童を養育する家族の生活水準を高めることによって，施設収容を不必要ならしめるのがほんとうであろう。しかしその反面において，じゅうらいはただ漫然と衣食住を提供してすごしてきた児童のなかには，身体的にも，精神的にも特殊の条件をもつものが発見せられるようになった。これらの児童は，一般家庭で取扱うことも困難であり，専門家の治療や生活指導を必要とするものである。肢体不自由児施設や精神薄弱児施設は，このような情勢のもとにこんごなお増設せられねばならない。厚生省の推定によれば「緊急に入所させねばならない精神薄弱児は約30,000人」に達するのであるから，現状の5倍の施設を必要とするわけである。同様の事情は肢体不自由児施設についてもいうことができる。

さて以上のような特殊な条件をもっているために，社会的保護を必要とする児童は，きわめて多数であって，とうていこれを全部施設に収容することはできない。たとえば精神薄弱児のうち，一般家庭や学校でとりあつかいの困難な白痴や痴愚程度の児童は約30万人にのぼり，また特別な医療を必要とする肢体不自由児は15万人にものぼるといわれている。したがってこのうち，重症者のみを施設に収容して保護を加えるとしても，現在施設の数倍の増設が必要なのであるから，収容施設のほかに，自宅から通園させて治療する施設がますます要求せられる現状である。「精神薄弱児通園施設」は現在はまだ少数であるが，こんご急速に増加するであろうというのはそのような理由からである。

最後に指摘したい点は，現在の児童福祉施設の欠陥を是正するものとして，小地域社会における施設の整備と

いうことである。たとえば保育所の分布は，幼児の歩行距離や出勤する母親が，朝夕子供を連れにくる便宜によって定められねばならないから，大規模の保育所を少数つくるよりも，むしろ小規模のものを多数つくるべきである。また昭和33年から着手された母子健康センターも，各市町村による設置に対して国庫助成をしようとするので，これまた地域福祉施設として，多数設けられることが望ましいのである。とくに児童のみを対象とするものではないが，児童をもふくめてすべての地域住民が毎日気やすくで入りしてレクリェーションをたのしみ，また話しあいをする隣保館あるいは公民館のような施設が，都市と農村とを問わず，人口1万ないし5千人単位に，多数設けられることが望ましい。「保健・衛生施設」「保育所」「地域社会センター」の三者をすべての住民が必要に応じて気やすく利用できるようにすることは，ひとり児童に関する問題ばかりでなく，地域住民の日常生活上の問題を予防することができるからである。というのは，こんにちの社会，とくに都市的生活形式の支配するところでは，住民はたがいに知りあう機会は少なく，またその機会があってもきわめて表面的な交渉である。それにもかかわらず住宅は昔にくらべて近接し，住民はたがいに隣近所の生活態度や，子供のしつけや，保健衛生状態につよく影響せられる。また共同使用の設備も多くなる。したがって好むと否とにかかわらず，そこでは高い公衆道徳が要求せられるはずである。ところでこの道徳は，他からあたえられるものではなくて，当事者によってつくりだされるものであるから，そのためには住民の話しあいが絶対に必要であり，たがいに相手を理解しあわねばならない。また「話しあい」の結果きめられた公衆道徳が，現実に住民によってまもられるためには，それだけの設備が必要なのである。設備なしに，公衆道徳だけを強調するような命令型の共同生活は必ず破綻するであろうから，最小限，上にあげたような三つの施設を設けることによって，快適な共同生活の土壌を養なうのである。そしてこの土壌からのみ住民の共同社会意識がうまれ，さまざまの社会的共同の実践が成長してゆくであろう。

3．児童福祉施設の最低基準

さて児童福祉施設は，その設備と職員については公立と私立とを問わず，厚生省令（昭23.12.29）による最低基準を要求せられる。この最低基準は，児童福祉施設の認可と運営にあたって，これを下まわってはならないという最下限を示す消極的なものである。したがって建築関係者の多くが期待せられるような理想的な施設の設計図ではないけれども，わが国の社会福祉事業の現状では，まだこの最低の基準を守ることに追われているのが事実である。いま職員に関する部分は省略するとして，設備に関する基準を簡単に解説すれば，つぎのとおりである。

この「児童福祉施設最低基準」は全文111条であって，各施設種類ごとに，設備すべき部屋の種類，重要な部屋の面積（入所児童1人当りの面積），便所の数，備品などにわたり，かなり詳細なものであるから，施設の設計にあたっては，ぜひとも参照されねばならないものである。またこの「最低基準」のほかに，厚生省児童局から発行されている各施設種類ごとの「運営要領」（例えば「養護施設運営要領」）にも，「土地，建物，諸設備」についての記述があり，最低限度の設備を上まわった「望ましい条件」を多少とも明らかにしている。

各施設種類ごとに，ここで最低基準を論ずることは到底できないけれども，一例を養護施設にとってみるとつぎのとおりである。すべての養護施設に必要とされる部屋は，児童の居室，調理室，浴室，便所であって，入所定員30人以上の場合には，そのほかに医務室と静養室を設けなければならない。また満8才以上の児童を収容する場合には，男女それぞれの居室を設ける。これだけでもわかるように，「児童の居室」は寝室，食堂，学習室，遊戯室をかねたものになりかねないし，「児童と起居をともにする職員」が必要とされているにもかかわらず，その職員の居室についてなにものも，きめられていない。もっとも「養護施設運営要領」は，これについて児童居室に隣接して設けるべきことを主張している。児童の居室の広さについては，「1人につき0.75坪以上」とされ，「1室の定員は，これを15人以下」と定められている。また「便所の数は，男子15人につき大便所および小便所各1以上，女子15人につき1以上」とされている。つまり「児童の居室」は1人当り1.3畳であるが，その居室」の用途目的は，前述したようにきわめて多種多様にわたる可能性があり，それによって当然面積に差がなければならないはずであるが，これらの点については「最低基準」も「養護施設運営要領」もまったくふれていない。

以上のように，「児童福祉施設最低基準」は，その「総則」の一般原則では児童の保健衛生や危害防止について「十分な考慮を払う」ことを宣言しながら，その具体的な規定になると，きわめて「不十分な考慮」しか払っていない。それは畢竟，社会福祉事業の側における，建築衛生学的研究成果のとりいれの不十分さによるものであると考えられる。したがってわれわれの望むところは，各方面の建築専門家が，福祉施設の設計にあたって，この「最低基準」の規定の不十分なことを具体的事実によって指摘されることであり，さらにすすんでは一層合理的な「最高基準」の設計を示されることである。

(1960.10.30)

（筆者　大阪市立大学家政学部教授・社会福祉学）

問題をもつ児童に対する児童福祉施設の現状と今後

寺　島　久　男

児童福祉事業とは，児童の福祉をはかることを目的として行なわれる社会的活動をいうが，こうした社会的活動は広範囲の内容を指している。ここでは問題をもち，なんらかの保護，あるいは，育成の手段を必要とする，児童に対する現況と今後についてのべることとする。

§1. 問題をもつ児童と児童福祉施設

児童の問題を考えるとき，その問題の内容は多種多様である。こうした問題の類別をあげるなれば，つぎの通りである。

問題をもつ児童の類別

イ）　保護者の労働または疾病のために，幼児期の児童が昼間，家庭において保育できない問題

母子家庭の母親の労働，父だけの家庭，とくに女性の労働進出による共稼ぎ家庭の増大とともに，児童の託児の要求が高くなっている。

ロ）　配偶者と死別，離別，遺棄，婚姻によらない母子問題

母子家庭は母が生計の維持と，児童の養育という二重の責任を負っており，精神的にも経済的にも，苦るしい生活に追いやられる場合が少なくないから適切な援護が必要である。母子問題は女性としての母を対象とするものでなく，母子家庭の児童の福祉を考える場合，母と切り離して考えることができない。したがって母子一体としての援護が必要である。

ハ）　保護者のない児童，虐待されている児童，その他環境上養護を必要とする児童問題

児童が保護者の手元で育てられることは自然のことがらである。しかし社会には親を失った児童，遺棄された児童，親から離れて浮浪する児童，一家離散による養育者を失った児童，あるいは，酷使，虐待，放任された児童がある。これらの児童はいずれも家庭を失ったことに問題をもつ児童であるから，家庭にかわる環境を与える必要がある。

ニ）　精神薄弱児童の問題精神薄弱児とは，先天的な原因により，または生後，脳に障害を受けたために精神的機能の発育が停滞している児童をいう。その知能の欠陥の程度によりつぎのように分けられている。

白痴知能指数25以下

言葉があまりない。自分の意志を相手に伝えたり，相手の気持を知ることができない。つまり周囲にうまく応じることがむつかしい。衣食住の保護が必要，大人になっても自立は望めない。

痴愚知能指数70～50

他人の助けや理解によって，ようやく身辺の処理ができる。成人になっても6，7才の知恵程度。

魯鈍知能指数70～50

日常生活はどうにかできる。目にみえない具体的でないものを考えることがむつかしい。成人になっても12才前後の知恵程度

つぎの段階にある境界線児はひじょうに多数で，劣等児と一般的にいわれるもの。

このような精神薄弱児に対して，社会生活に適応を与え，その能力の範囲に応じた独立自活の知識技能を与えることが必要である。

ホ）　身体に障害のある児童の問題

身体に障害のある児童には

1. 盲，弱視などの視覚障害児童
2. ろう，難聴などの，聴覚，言語機能障害児童
3. 上肢，下肢，または，体幹機能の不自由な障害児童，

これらの障害児童に対して，その障害を早期に発見し，治療し，能力に応じた教育と訓練指導がされて，将来独立自活しうる能力を与えることが必要である。

ヘ）　身体の虚弱な児童の問題

虚弱な児童とは，体力および精神力が一般児童より劣っていて，病気にかかりやすい児童のことで，育児，栄養，環境などの不備欠陥によってもたらされるもの疾病による衰弱，または障害によって生じるもの，先天性異質，または体質によるものがあるが，これらの児童に，適切な環境と生活要件を整え，治療と体力に応じた保護が必要である。

ト）　不良行為をなし，またはなすおそれのある児童問題不良行為というのは，反社会的ないし反道徳的行為を指し，このような児童のうち，満14才以下の児童は，児童福祉法の保護対象とされ，以上の児童は少年法の適用を受ける。

反社会的行為の原因は複雑な内容をもつが，社会生活の都会化，家庭生活の不安定は児童にとって好ましいものではなく，こうした児童が年々増加の傾向にあり，その行為の内容も根深いものをもっている。このような児童に，その不良性の除去と，社会生活の適応をさせる教護事業が必要である。

この他にも，問題をもつ児童としてあげる場合は，児童が世代に生を受けたとき，健全な状態において，また将来健全に育つという体質がそなわっているか，という立場からは，妊産婦の健康の問題，身体発育の未熟な乳児の問題などが考えられるが，児童自身が，なんらかの社会的問題をもつということが本稿の課題であるから，このことについてはふれない。

前記のように多様な児童の問題に対して，その問題の対象に応じて，それぞれその児童の福祉を図るべく，**第1表**に示す児童福祉施設を設置している。

第1表　児童福祉施設と保護対象推計数

	施設種別	対象	問題児童推計数
家庭保護	保育所	保護者の労働，疾病による幼児の昼間保育	2,600,000
	母子寮	死別離別などの母子世帯保護	1,150,000
収容保護	養護施設	家庭の養護に欠ける児童の保護	92,400
	乳児院	上記の事情にある乳児	
	虚弱児施設	身体の虚弱な児童の保護	98,100
	精神薄弱児施設	精神薄弱児童の保護	783,000
	精神薄弱児通園施設	通園による精神薄弱児童の保護	
	肢体不自由児施設	肢体不自由児の療育	129,000
	盲児施設	盲児の保護	16,200
	ろうあ児施設	ろうあ児の保護	27,700
	教護院	不良行為児童の矯正保護	41,000

注　イ，児童福祉法に規定する児童福祉施設には保健上入院助産の必要ある妊婦のための助産施設，児童遊園，児童館などの児童厚生施設がある。

ロ，精神薄弱児通園施設は家庭保護に属するが，精神薄弱児施設と同様対象であるので列記した。

児童福祉施設の保護育成の方途は，児童を保護者のもとにおいてなされる家庭保護の形態と，児童を保護者のもとから離してなされる収容保護形態の二つに大別される。そうして前者は市町村の行なう事業とし，後者を府県の業務としている。

§2．児童福祉施設の歩み

児童福祉法は昭和23年12月12日制定をみたものであるが，当初の児童福祉事業は，戦後のいわゆる児童問題であった，浮浪児，孤児などの処理に追われ，法にいう，「すべての児童は，ひとしくその生活を保障され，愛護されなければならない」。という理想には遠いものであった。終戦後の混乱からこうした福祉理念にもとずいた歩みは昭和25，6年ごろからとみられるから，新しい歩みの発足から約10年を経過したこととなる。施設設置の状況を当時と現在の比較とすると，**第2表**のごとくである。増加した準位では，肢体不自由児施設，精神薄弱児施設，虚弱児施設が当初極めて少ないがひじょうな増加をみている。これらの施設はこの10年における後半において急激に増加したものである。つぎに保育所，母子寮は年次に増加し倍以上の数となっている。養護施設，乳児院はその増加が他の施設に比して低調であるのは，その対象とする児童の問題が，社会的に平衡を保っていることによるとみてよいであろう。

このように施設の拡充も，久しい間にはその伸長があるわけであるが，今後どうした児童の問題を対象とした施設が期待されるかは，児童福祉の上に大きい課題である。第1表に示した，問題をもつ児童数に対して児童福祉施設の設置状況は，その要求を満たすことは極めて不十分な現状である。いまその要求を解決するために，なにを優先するかの論議，その立つ立場においてことなるとしても，より児童の人権を社会的立場より主張されねばならない児童たちでなければならないことは，だれもが異論のないことがらである。

第2表　児童福祉施設設置比較

	昭和26年2月現		昭和35年5月現	
	箇所数	収容定員	箇所数	収容定員
保育所	3,962	275,544	9,781	731,189
母子寮	287	5,528世帯	654	13,895世帯
養護施設	423	21,965	556	36,778
乳児院	108	2,599	132	3,666
虚弱児施設	12	665	28	1,639
精神薄弱児施設	32	1,357	121	7,744
精神薄弱児通園施設	—	—	23	860
肢体不自由児施設	3	130	42	3,285
盲児施設	25	1,240	33	1,834
ろうあ児施設	27	1,326	41	3,140
教護院	58	4,790	55	4,670

§3. 児童福祉施設最低基準

児童の問題は，それぞれことなった内容をもっており，これを保護し，育成し，問題の除去，進んで児童の能力に応じた社会への自立性を培うためには，おのおのの児童福祉施設がその対象に応じた，設備とその運営がなされなければならない。これについて児童福祉法ではおのおのの児童福祉施設に，その最低必要な設備と運営について基準を定めることを規定し，これを児童福祉施設最低基準と呼んでいる。

児童の保護を考える場合，物的供与とともに，生活環境要件としての設備，指導をする指導者の資格，および児童の処遇を考えねばならないが，こうした事項について，これ以上であるべきとした基準が定められたことは，日本における児童福祉事業の上に大きい前進である。

§4. 今後の児童福祉施設

児童保護の歴史をみるとき，家庭において児童を養育することができなくなった児童問題から始まり，社会の発展にともなう社会悪の胎生による，児童の反社会的行為に対する教護事業が行なわれ，あらたに人としての人権を基盤として児童福祉が図られることとなった。しかし終戦直後この事業の重点は，やはり前代的な児童救済的内容におかれたことは，社会的貧困とあいまち，やむを得ない事実である。児童が社会の一員として重んぜられることと，児童憲章はのべているが，問題を持つ児童のうち，忘れられた子供たちであるのは，心身に障害を持つ児童である。

心身に障害のある児童には，盲児，ろう児，肢体不自由児，精神薄弱児がある。盲，ろう児については比較的早く教育的育成がなされてきたが，肢体不自由児，精神薄弱児童に対する育成の社会的対策は，家族制度，あるいは，家族的責任ということがらにおいて放てきされ，この児童たちに社会の一員として，その人権が重んぜられなかった。戦後の人権尊重の思潮は，この児童たちに対して，社会の一員としての人権を尊重し，新しい育成の手段が伸ばされた。しかし，戦後の児童問題は，なお，この児童たちに十分な保護と指導の場を提供するだけの余力を持たなかった。もはや戦後でないこんにちにおいては，特殊な障害を持つ児童の対策が，今後の児童福祉の問題として強調される。

問題をもつ児童の，その個々の問題解決，あるいは包蔵する内容はさまざまである。たとえば，同じように精神薄弱であっても，その知能の程度はことなり，それから将来された行動内容は相違するから，一様に精神薄弱児として処遇することはできない。また保育所に入所してくる児童にも，年令，性別がことなるから，乳児期，ほふく期におけるものと，幼児期とは，保護の要求は同一でない。したがって同じ類別のなかにおいても，分類的な保護の方途がとられるべきで，その設備においても，いかなる問題を持つ児童に対し，どのような要求を満たすかということから，今後の児童福祉施設が整備されねばならないであろう。施設の分類別な特色ある設備をもつ施設ができることと，さらに進んで，対象となる問題に適合した，新しい形態の種別施設が考えられてよいであろう。たとえば，精神薄弱児通園施設は，一昨年児童福祉施設として加えられたもので，じゅうらいの収容保護の方法によらず，家庭から通って，能力に応じた指導を受ける施設であり，近くは，じゅうらい不良行為児童の矯正は，教護院のみであったが，早期のうちの不良行為児童に対して，短期治療施設といった施設の必要を，中央児童福祉審議会によって，厚生大臣に勧告されており，肢体不自由児に対しては，通所による機能訓練施設，肢体不自由と精神薄弱などの二重，三重の合併障害児童，重症精神薄弱児童に対しての監護施設が関係者の間に強調されている。

§5. 家庭にかわる児童福祉施設

児童福祉施設の保護は，そのおのおのの問題はことなるとしても，その保護が「家庭にかわって」，あるいは「家庭的な処遇におけると同様な」，日常が，その保護技術として要求される。なぜなれば，児童を育成する場として「家庭に優るものはない」という原則は児童福祉の基本であり，施設はこの原則にかわって，児童を育成する立場におかれているからである。この原則からするなれば収容保護において，多数を一寮に収容することより，家庭的単位において保護する家庭舎制が，より尊重される形体であろう。このような内容における設備形態，あるいは配慮が寮舎制においてもなされるべきであることは，たんに収容保護の内容にある施設に尊重されるものでなく，形態こそことなるが，家庭保護の内容にある保育所，母子寮の施設においても考慮さるべきことがらである。

× × ×

次代をになうべく生まれた児童たちも，おのずからの意志でなく，いろいろの問題を背負っている。この児童たちに，基本的人権を尊重し，そのすこやかなる育成に努めることは，個人も社会もともに負わなければならない義務である。この意味において，さらに今後の児童福祉事業の進展を期待したい。

（筆者　大阪府児童課養護係長）

児童福祉施設の建築計画

島　田　勝　次

（目　次）

はじめに
§1. 児童福祉施設関係法令
§2. 児童福祉施設共通の問題点
1. 児童の理解
2. 問題児の把握
3. 児童の収容
4. 施設のプラン・タイプ
§3. 精神薄弱児施設
1. 精神薄弱児とは
2. 精神薄弱児の指導育成
3. 精神薄弱児施設の建築
§4. 肢体不自由児施設
1. 肢体不自由児の施設生活
2. 肢体不自由児施設の建築
おわりに

はじめに

「児童福祉法」が制定されてから10数年を経た今日にいたって，ようやく児童福祉の花は開こうとしている。

これまでの長年月，まことに少数の慈善篤志家によって細々と行なわれていた児童福祉事業が，やっと社会的・経済的裏付けをともなって，実質的な施設の面に対する関心も高まり，みるべきものもで始めてきたといえる。しかしこの種児童福祉施設の建築計画は，まだまだ積み重ねの段階であり，テストケース的な色彩が強い。

ここでは児童福祉施設の計画上の問題点を概観し，各種課題の解決は今後の調査研究にまたねばならない。

§1. 児童福祉施設関係法令

以下「法」とあるは児童福祉法，「令」とあるは同施行令，「基」とあるは児童福祉施設最低基準，の略。

憲法にうたわれている「国民の健康で文化的な生活を営む権利」の理念を，児童に対して積極的に推進してゆくためにつくられたのが，昭和22年12月に制定された「**児童福祉法**」である。その第1条で，法の精神がのべられている。

「すべて国民は，児童が心身ともに健やかに生まれ，かつ，育成されるように，つとめなければならない。

すべて児童は，ひとしくその生活を保障され，愛護されなければならない。」

そしてその児童福祉の具体的な方策の一つとして，児童福祉施設の設立が，そのなかにきめられている。（法35条）

「児童福祉施設」と一口にいっても，つぎの12種類がある。①助産施設・②乳児院・③母子寮・④保育所・⑤児童厚生施設・⑥養護施設・⑦精神薄弱児施設・⑧精神薄弱児通園施設・⑨盲ろうあ児施設・⑩虚弱児施設・⑪肢体不自由児施設・⑫教護院，である。（法7条）

これらはそれぞれ助産・養育・保護・治療・教護・指導などの種々の目的をもつものであることが明記されている。（法36～44条）

これらは施設入所児童に対して単に医療を施したり，衣食住を与えるだけでなく，入所児童の資質や，環境に応じて適切な保護をくわえるとともに，さらにすすんでそれらの児童が心身とも健やかに社会に適応できるように育成するという大きな目的が加えられているのである。

これらの施設を利用できる児童とは，満18才未満のものをさすが，三つのクラスにわけられている（法4条）。

乳児……満1才まで
幼児……満1才～小学校就学始期
少年……小学校就学始期～満18才

ただし，児童福祉施設のうち養護施設・精神薄弱児施設・盲ろうあ児施設・虚弱児施設・肢体不自由児施設・教護院においては社会生活に順応できるようになるまで満20才に達するまでは在所期間の延長が認められ（法31条），乳児院に収容されるのは，満1才までの乳児だが，必要があるときは満2才まで継続養育することができるようになっている（法37条）。

これらの年令の枠からはずれたものに対しては，隣接せる他の社会福祉法令，たとえば生活保護法・身体障害者福祉法・精神薄弱者福祉法などの適用をうけ，補助をうけたり，他の施設に移ることになるのである。

また，児童福祉施設は単に児童福祉法のみに規制されるものではなく，それぞれの施設に応じた関係法規の枠の内にある。たとえば第一種助産施設と肢体不自由児施設は，施設全体が病院であり，第二種助産施設は助産所であり，医療法の適用をうける。その他医師が医業を行なう診療室・医務室・病室などは，やはり医療法の規定をうけることになっている（基17条）。教護院では，院内教育が行なわれることになっているので，これは学校教育法によるし，また他の児童福祉施設に併設された学校（分校）は，学校教育法のなかにある。

児童福祉施設については，児童福祉法第45条にあるように，児童福祉施設の設備および運営などについての最低基準の制定が定められている。これに基いて昭和23年12月に「**児童福祉施設最低基準**」が公布されている。児童福祉施設の計画にあたっては，この「最低基準」に準拠するようにしなければならない。しかしこれはあくまで，Minimum Standard であるから，一歩でもそれ以上に高めるようにつとめるべきであろう。そしてこれは施設の最低基準といっても物的な施設設備のみならず，職員の問題をふくめた運営についても規定されている。児童福祉施設においてはとくに両者が満足されなければ，生きた施設にならないからである。この最低基準の第2条で，つぎのような目的がのべられている。

「最低基準は，児童福祉施設に入所している者が，明るくて，衛生的な環境において，素養があり，かつ，適切な訓練をうけた職員の指導により，心身ともに健やかにして，社会に適応するように育成されることを保障するものとする。」

そして児童福祉施設全体に共通して，この第6条で，構造設備の一般についてつぎのように規定している。

「児童福祉施設の構造設備は，採光，換気等入所している者の保健衛生およびこれらの者に対する危害防止に十分な考慮を払って設けられなければならない。」

また，消火用具・非常口その他非常災害に必要な設備の設置が要求され，児童の保健衛生についての細かい規定があり，食糧貯蔵設備には清潔で安全な管理がもとめられている。

その上で各章にわたって，各児童福祉施設の最低基準がきめられている。（ただし精薄児通園施設については現在未公布）。だが，この「最低基準」についてはまだ精粗があり，十分完備されたものとはいえないようである。たとえば「児童の居室」が「一室の定員15人以下，一人当り0.75坪以上」とされていても，「居室」についての定義がないので，居室が食事・遊び・学習・訓練など多目的に転用・利用されて，建築面積縮小のおそれもある。「講堂」などの使われ方も明確でない。また職員の資格や定員・児童と起居をともにするものがきめられていても，それに対する職員の所要室や待遇についての規定がない。児童福祉施設であるから，児童の側からの考慮が主となるのは当然だが，一貫した施設としての要素全体に対する広量で十全な規定が，こういう福祉施設ではとくに必要ではなかろうか。

こういう施設の建築計画にあたっては，この最低基準にはかってやるのではなく，児童福祉の精神にはかって進めることが大切である。

厚生省児童局では，各児童福祉施設について「運営要領」を編集している。ここでは最低基準より少しでも望ましい方向をあきらかにしているので，一応は参考とすべきであろう。ただ，これらの最後に各施設の既設建物の平面図が収録されているが，いずれもまだ，十分消化されたテイピカルなプランタイプにはなっていないようである。

なお，これら児童福祉施設も，建築であるかぎり，建築基準法その他の建築関係法令の範囲内にあるのは当然である。

× × ×

児童福祉法・同施行令・児童福祉施設最低基準などの施設に関係した部分を一覧表の形で示せば，別表の通りである。（41，42，43頁参照）

§2. 児童福祉施設共通の問題点

12種類の児童福祉施設は，それぞれことなった目的をもって児童福祉に貢献しているのであるが，児童を対象としてゆくので，そこには多くの共通の問題を含包している。ここでは大まかにそれらについてふれよう。

1. 児童の理解

児童福祉が対象とする児童は，満18才までの，肉体的にも精神的にも人間形成のまことに重要な時代であり，少しもゆるがせにはできない。児童を十分理解してつとめる責任と義務が，これらにタッチするときにとくに要求される。

児童は，心身とも常に発展過程にあり，心理・肉体・社会の各面の総合された全一的存在であるが，依存性が

児童福祉施設関係法令一覧表

（「法」とあるは児童福祉法
「基」とあるは児童福祉施設最低基準）

	助産施設		乳児院		母子寮	保育所
施設の目的	保健上必要があるにもかかわらず，経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所させて助産を受けさせることを目的とする。（法36）		乳児を入院させて，これを養育することを目的とする。（法37）		配偶者のない女子またはこれに準ずる事情にある女子およびその者の監護すべき児童を入所させて，これらの者を保護することを目的する。（法38）	日々保護者の委託を受けて，保育に欠ける乳児または幼児を保育することを目的とする。（法39）
入所対象児童	経済的困窮妊産婦（法22・36）		無保護，養護欠除，監護不適当乳児（法27・37）		無配偶女子またはこれに準ずる女子およびその児童（法23・38）	保育欠除乳児または幼児（法24・39）
入所児童の在所延期	——		満2才まで（法37）		——	——
入所児童の教育	——		——			——
施設の必要設備	分べん介助 〃 前後処置 〃 看護 施設の事務執行に必要設備設置 第一助産施設ではこのほかに医療必要設備設置（基20）		乳児の養育 施設の事務執行 に必要設備設置（基29）		母子の日常生活， 〃 生活指導， 施設の事務執行， に必要設備設置（基40）	乳幼児の保育， 保育事務執行， に必要設備設置（基49）
所要室 （ ）内は兼室でも可 または条件付	（第一種助産施設） 医療法規定の外に ・妊産婦室 ・母子室（基21）	（第二種助産施設） 医療法規定の外に ・妊産婦診療室（基24）	〔10人以上〕 ・寝室 ・観察室 ・ほふく室 ・（日光浴室） ・調理場 ・洗濯場 ・乾燥場 ・便所（基31）	〔10人未満〕 ・養育専用室（基32）	・母子室 ・集会，学習等の室 ・炊事場 ・便所 ・（浴室） ・（保育所） （乳幼児30人以上）（乳幼児30人未満） 上記の外 ・静養室 ・医務室 上記の外 ・静養室（基41）	（30人以上の基準） 〔満2才まで〕〔満2才以上〕 ・乳児室 ・保育室 ・（ほふく室） ・（遊戯室） ・医務室 ・屋外遊戯場 ・調理室 ・調理室 ・便所 ・便所（基50）
居室の規定 （児童1人当り）			寝室）共に 観察室） 0.5坪以上（基31）	0.5坪以上 一室3坪以上（基32）	母子室 一人につき 0.75坪以上 一世帯 一室以上（基41）	乳児室，0.5坪以上 ほふく室，1坪以上 保育室（遊戯室）は 0.6坪以上 屋外遊戯場，1坪以上（基50）
便所数の規定	妊産婦 20人につき 1以上（基21）				母子20人につき1以上（基41）	満2才以上では，男20人につき，大小各1以上，女20人につき1以上（基50）
各部の注意			窓に蚊やはえを防ぐ金網張り（基32）			
児童指導員，保母，看護婦の数			乳児3人につき，看護婦1人（基34）		寮母1人， 少年20人以上，保育保母 指導員1人（基43）	満2才まで乳幼児10人につき保母1人以上 満2才以上の幼児30人につき保母1人以上， 一保育所で2人以上（基53）
関係法規	医療法					
隣接法規	生活保護法		児童福祉法（養護施設）		生活保護法	
参考文献 厚生省児童局編					「母子寮運営要領」 1957	「保育所運営要領」 1950

児童福祉施設関係法令一覧表

（「法」とあるは児童福祉法
「基」とあるは児童福祉施設最低基準

	児童厚生施設	養護施設	精神薄弱児施設	精神薄弱児通園施設
施設の目的	児童遊園，児童館等児童に健全な遊びを与えて，その健康を増進し，または情操をゆたかにすることを目的とする。（法40）	乳児を除いて，保護者のない児童，虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて，これを養護することを目的とする。（法41）	精神薄弱の児童を入所させて，これを保護するとともに，独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする。	精神薄弱の児童を日々保護者のもとから通わせて，これを保護するとともに，独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする。（法42②）
入所対象児童	全児童（法40）	養護必要幼児および少年（法27・41）	精薄児童（法27・42）	通園可能精薄児童（法27・42②）
入所児童の在所延期	——	満20才まで（法31）	満20才まで（法31）	
入所児童の教育	——	就学（法48）	就学（法48）	
施設の必要設備	児童の遊び，施設の事務執行，に必要設備設置（基59）	児童の日常生活，〃 生活指導，〃 職業指導 施設の事務執行，に必要設備設置（基65）	児童の日常生活，〃 生活指導，〃 職業指導 施設の事務執行，に必要設備設置（基76）	「精神薄弱児通園施設」についての「最低基準」は現在未公布
所要室（ ）内は兼室でも可または条件付	〔児童館〕 ・集会室 ・遊戯室 ・図書室 ・（映写室） ・便所 〔児童遊園〕 ・広場 ・ぶらんこ ・便所 ・（砂場） ・（滑り台）（基60）	・居室 ・調理室 ・便所 〔30人以上〕上記の外に ・医務室 ・静養室（基66）	・居室 ・調理室 ・浴室 ・便所 ・静養室 〔30人以上〕上記の外に ・医務室（基76）	
居室の規定（児童1人当り）		0.75坪以上，一室15人以下，満8才以上男女居室別（基66）	0.75坪以上，一室15人以下，満8才以上男女居室別（基76）	
便所数の規定		男15人につき，大小各1以上 女15人につき，1以上（基66）	男15人につき，大小各1以上 女15人につき，1以上（基76）	
各部の注意				
児童指導員，保母，看護婦の数	児童厚生員1人以上（基61）	児童10人につき，1人以上（基68）	児童7人につき，1人以上（基78）	
関係法規				
隣接法規			生活保護法 精神薄弱者福祉法	生活保護法 精神薄弱者福祉法
参考文献 厚生省児童局編	（「児童厚生施設運営要領」）	「養護施設運営要領」1957	「精神薄弱児運営要領」1953	

児童福祉施設関係法令一覧表

（「法」とあるは児童福祉法
「基」とあるは児童福祉施設最低基準）

	盲ろうあ児施設	虚弱児施設	肢体不自由児施設	教護院
施設の目的	盲児（強度の弱視児を含む）またはろうあ児（強度の難聴児を含む）を入所させて，これを保護するとともに，独立自活に必要な指導または援助をすることを目的とする。（法43）	身体の虚弱な児童に適切な環境を与えて，その健康増進を図ることを目的とする。（法43②）	上肢，下肢または体幹の機能の不自由な児童を治療するとともに，独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする。（法43③）	不良行為をなし，またはなすおそれのある児童を入院おせて，これを教護することを目的とする。（法44）
入所対象児童	盲児，ろうあ児（法27・43，基85②③）	身体虚弱児童（法27・43②，基85②）	肢体不自由児童（法27・43③，基85③）	不良児童（法27・44）
入所児童の在所延期	満20才まで（法31）	満20才まで（法31）	満20才まで（法31）	満20才まで（法31）
入所児童の教育	就学（法48）	就学（法48）	就学（法48）	院内教育（法48）
施設の必要設備	児童の日常生活， 〃 職業指導， 施設の事務執行， に必要設備設置 （基86③④）	児童の日常生活， 〃 診療， 〃 職業指導， 施設の事務執行， に必要設備設置 （基86①）	児童の日常生活， 〃 医療， 〃 職業指導， 〃 学習指導， （就学猶予・免除の者に対して） 施設の事務執行， に必要設備設置（基86②）	児童の日常生活， 〃 生活指導， 施設の事務執行，に必要設備設置 （基94）
所要室 （ ）内は兼室でも可または条件付	・居室 ・講堂 ・遊戯室 ・職業指導設備 ・音楽（映写）設備 ・調理室 ・浴室 ・便所 〔30人以上〕上記の外に ・医務室 ・静養室 （基87）	・居室 ・診療室 ・観察室 ・病室 ・講堂 ・図書室 ・職業指導設備 ・調理室 ・浴室 ・便所 （基87）	医療法規定の外に ・（後療法室） ・講堂 ・図書室 ・職業指導設備 ・（義肢装具製作設備） ・浴室 （基87）	・居室 ・調理室 ・浴室 ・便所 〔30人以上〕上記の外に ・医務室 ・静養室 ・学科指導必要設備 （学校教育法の規定による） （基95）
居室の規定 （児童1人当り）	0.75坪以上 一室15人以下 （基87）	0.75坪以上 一室15人以下 （基87）	0.75坪以上 一室15人以下 （基87）	0.75坪以上 一室15人以下 男女居室別 （基95）
便所数の規定	男15人につき，大小各1以上 女15人につき，1以上 （基87）	男15人につき，大小各1以上 女15人につき，1以上 （基87）	男15人につき，大小各1以上 女15人につき，1以上 （基87）	男15人につき，大小各1以上 女15人につき，1以上 （基95）
肢部の注意	盲児に対する特殊標示，階段傾斜，手すり設置 （基87）		階段傾斜，手すり設置 （基87）	
児童指導員，保母，看護婦の数	〔ろうあ児施設〕 児童10につき，1人以上 〔盲児施設〕 児童7人につき，1人以上 （基89）	児童7人につき，1人以上 （基89）	児童7人につき，1人以上 （基89）	教護・教母 児童8人につき，1人以上 （基97）
関係法規			医療法	学校教育法
隣接法規	生活保護法 身体障害者福祉法	生活保護法	生活保護法 身体障害者福祉法	少年法
参考文献 厚生省児童局編				「教護院運営要領」 基本篇 1954 技術篇 1956

強く，自己中心的であり，未成熟でアンバランスな面が多い。だから児童の心にはいつも安定感をもたせ，独立心を養い，大人の範例に気をつけ，子供を子供として認め，一個の独立した人格として尊重し，信頼し合い，児童の発展性に即応して，促進するようにつとめなければならない。たとえば不良少年を収容する教護院で，少年を犯罪者扱いしたり，高い塀を設けたりするのはよくないし，精神薄弱児施設で，児童を馬鹿者扱いするのでは指導効果はない。

この児童の時代を児童福祉法では，乳児・幼児・少年と簡単にわけている。心理学などではもっと細かく段階わけされてその成長発展が把握されるが，その成長状態にそってスムーズに児童が伸びてゆくように，児童福祉施設は計画され，教育指導され，運営されなければならない。こだこれらの建築は各成長段階すべてに対応するようには小間切れにできないので，ある巾を施設のなかで適切に処理しなければならない。たとえば児童の肉体的成長の差は著しいし，各年令層が利用するので，建物の各部寸法はその段階に応じて設計される必要があり，並列・並存させねばならないが，整理して便所や洗面所など大小・高低の二，三段階にして設けるようにこころがけることが大切である。

2. 問題児の把握

児童福祉のなかでも，いろいろ問題をかかえている子供やハンディキャップをもっている子供の保護養育は大きな分野をしめる。これらの児童はそれぞれ特殊な性癖をもっているので，それらを十分把握して，各施設のなかに盛り込まねばならない。

問題児を分類すると，ざっとつぎのようである。

① 精神的欠陥をもつもの……精神薄弱児
② 身体的欠陥をもつもの……
　盲児，ろうあ児，肢体不自由児，虚弱児
③ 環境的欠陥をもつもの……
　被虐待児，棄児，放置児，就労児，病弱家庭児
④ 道徳的欠陥をもつもの……不良児，浮浪児

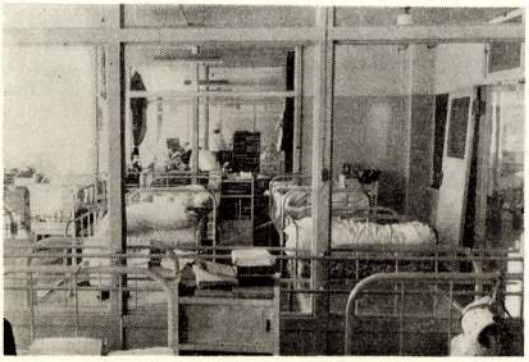
これらの児童もすべて基本的人権の独立した所有者であるが，現実社会ではかなり差別待遇され，放置されてきた。それで児童自身のなかには変に抵抗したり，意固地になったり，ひがんだり，劣等感や嫌悪感孤独感にとらわれ，いじけた依頼心の強い子供になっていることが多い。だから，一般の正常児童施設でも同じことがいえるが，これらの収容各施設ではとくに暖かく迎え入れるとともに，明るく楽しいふんいきをつくって，児童のかたくなな心をやわらげるようにもってゆかなければならない。もちろんそのためにあまりにすべてが幼稚園的な空間になってしまうのも問題で，各室の使用目的に応じて計画されねばならないが，児童が単に利用する空間をつくるだけでなく，豊富な色彩や草花・魚・鳥，童心の夢をはぐくむ絵画・彫刻などを各所に配置し，豊かな空間を構成するようにしたい。また空間を形成する材料も冷たく硬いもので圧迫するようなことは避けたい。

なお，問題児のなかには危険な行動や衝動を起す者が多い。たとえば精薄児では火遊びをしたり感覚が鈍くて凍傷にかかったり寝小便をしたりする。不良児には逃亡・盗癖・放火・破損などのおそれがある。肢体不自由児は歩行が困難である。これらの詳細は後の各施設の説明のなかでのべるが，とにかく各児童福祉施設の対象児童のいろいろな性格をよく把握して，建築の細部の計画には十分な配慮が望まれる。

3. 児童の収容

児童福祉施設は，大体児童が家庭にかよってくる通園施設（保育所・精薄児通園施設など）と，児童を長期間家庭から離してあずかり保護養育する収容施設（養護施設・精薄児施設・肢体不自由児施設など）とにわけられる。ともに一般家庭や里親制におけるような個別的保育とことなり，集団的保育になるが，後者の収容施設の場合は，とくに児童の生活全体が家庭から急に集団的・社会的ななかにおかれるので，心理的不安定を招き，それが蓄積して，そこに大きな問題が生じてくる。施設に育てられた児童が，家庭で育てられた児童にくらべていろいろな点で問題が多いということは，関係者の間でいわれてきたことである。これは児童に限らず，大人の寄舎舎・刑務所・養老院などについてもいわれているが，心身の成長の激しい「児童」時代にはとくに人格形成上にも著しい影響がある。

収容施設にはいったものの，一般家庭に育ったものと比べた弊害傾向としては，つぎのようなものがあげられる。身体的発達は一般より遅れ，知能指数は低年令ほど低く，次第にその差は少なくなってゆくが，語彙貧弱で，表現力・理解力・注意力・忍耐力にとぼしく，意志薄弱で，自立性が欠如していて，積極性や執着性に欠け，ふんいきに対する抵抗力が弱く，他人依存的・無気力・回避的で適応性に薄い。また物を大切にせず，衝動的なところもあり，自己顕示性や内閉性も現われ，パー



旭川療育園の児童病室（ベッド）

ソナリティの未発達もみられる。もちろん例外もないわけではないが，こういう望ましくない劣性が多く現われている。

こういう現象は，一般に「ホスピタリズム」(Hospitalism) と呼ばれているが，はじめ病院的組織における衛生上の欠陥という意味から，集団的収容施設内の生活が被収容者の心身におよぼす影響または結果を指すようになり，一名「インスティテューショナリズム」(Institutionalism) ともいわれている。いわゆる「施設病」である。

収容施設においては，この施設病に対する対策が大きな問題であり，施設の運営面においては，看護婦や保母の人数を増し，十分継続接触させ，児童の自治活動を盛んにし，能動的に施設生活に参加させ，各年令層をふくめ，備品を豊富にし，所有物の画一化や共有を避け，施設外の家庭児とも交歓させ，外出もさせるようにし，各種の行事を頻繁に行なって，豊かな生活と愛情あふれて恒常的な家庭的ふんいきをよくつくるようにしたい。それとあわせて建築計画を考えねばならない。

ところで，この収容施設内での児童生活の中心をなす児童居室が，ここで一番重要になる。

児童居室から施設をタイプ分けすると，つぎの二つがある。

① 寄宿舎制（寮舎制，Boarding System or Dormitory System）多数の児童を同一建物内に居住させるもの。集団収容。

② 家庭舎制（小舎制，Cottage System）同一敷地内に小舎を点在させ，各小舎に親代りの施設職員が配置され，少数の児童とともにそのなかで居住するもの。分散収容。

児童は健全な一般家庭で保育されることがもっとも望ましいということから考えると，それに近似の家庭舎制の方が優れた形態であるといえる。だから古くから家庭舎制への努力がずっとなされてきたのである。しかし施設における役割は，児童の家庭にかわるものであると同時に，また家庭で果し得ない種々の面に集団としての持ち味をもっている。家庭舎制の特色はつぎのように比較される。

寄宿舎制と家庭舎制の比較（河合三郎氏による。文献⑦）

寄宿舎制	家庭舎制
・児童の生活・職員の勤務などが合理的・能率的に管理できる。	・管理の能率は劣る。職員が過労におちいりやすく，また職員の家族の生活が犠牲になる。
・施設病の起る可能性が大きく，また将来の社会復帰上問題がある。	・家庭的ふんいきがつくりやすく，家庭的生活様式への適応が早い。
・団体生活を通して，社会的行動の訓練に適する。また人間関係の調整も容易である。	・小集団であるので，集団訓練上問題がある。また人間関係に注意しないと弊害が大きい。

すなわち，どちらもやはり人工的な家庭であるから，それぞれ一長一短があり，組織や運営管理・諸経費にもつながってくるので，どちらをとるという結論は早急にはでない。岡山の旭川学園などにおけるように，児童の発展段階に応じて寄宿舎生活から家庭舎生活へ移すという両者混合の形を適当にとる方法は，将来の一つの方向であろう。

したがって，建築計画においては児童の収容システムや運営方法を十分検討した上ではじめる必要があるが，たえず「ホスピタリズム」を念頭において画一的な施設にならぬものにしてほしい。

4. 施設のプランタイプ

ところで，このような大きな問題をかかえた複層した機能をもつ施設の建築計画はこのような平面型に集約されるだろうか。

年端のゆかぬ子供をあずかり，またそこを利用する児童の特殊性を考えて，災害の避難や土地との接触から，なるべく児童居室は平屋が望ましい。それで当然横にひろがった形のものとなる。そのなかで施設の平面型は，閉鎖型をとるか開放型をとるかということになる。

閉鎖型のプランでは，管理がしやすく，児童に直ぐ目をゆきとどかせることができるが，戸外との広い交渉ができない。

開放型のプランでは，管理や児童の監督はしにくいが，児童を外気と直接結びつけて，伸びやかな生活をさせることができる。

両者ともそれぞれの特色をもっているし，児童の心理面への影響も大きいので，どちらか一方をとるとすれば，その欠点は運営面でおぎなう必要がある。大規模なものでは両者を総合・併存させた形のプランを考えうるだろう。

児童施設研究所では，これらの施設に中庭型のプランを提示している（「新建築」1955年5月号）。所要室で中庭を囲んで，児童に安定感と外気の接触をはかろうというものである。

建物のなかに庭をとり込むということは，専属的な空間を確保し，居室に奥行きを与えるということからも児童施設ではなかなかいいアイデアであろうが，やはり人工的な環境であり，閉じ込められた閉鎖型に属する。フインガー的な開放型とこの閉鎖型とがうまく結びついたプランタイプがほしい。

× × ×

とにかく，児童福祉施設の建築計画は，いまだ未開拓の分野であるから，心理・教育・医学の各方面専門家の意見を十分聴取し，とくに運営管理担当者と協同の形で，設計を進めて行くことが必要であろう。

§3. 精神薄弱児施設

この施設は精神薄弱児を適切な環境に保護するとともに，積極的な独立自活に必要な知識技能をあたえて，社会復帰（Rehabilitation）させることを主目的としている。

1. 精神薄弱児（Feeble Minded Child）とは

ここの対象はいうまでもなく精神薄弱児であるが，これは先天的な原因により，または生後比較的早い時期に脳に障害を受けて，精神的機能の発育が停滞した児童であり，知能の程度に応じてつぎのような白痴・痴愚・魯鈍の三段階に分けられている。

IQ（知能指数）			
20 or 25以下		白痴	精神薄弱（IQ70以下）
20 or 25	～50	痴愚	精神薄弱（IQ70以下）
50	～70	魯鈍	精神薄弱（IQ70以下）
70	～80	境界線児	
80	～90	下知（劣等児）	
90	～110	普通知	
110	～120	上　知	
120	～140	最上知	
150以上		優秀児または天才	

白痴（Idiot）精神年令　3才以下　社会年令　4才以下

言語がわからず，自他の意志交換や環境への適応困難，衣食や排泄上の保護必要，成人になっても全く自立困難，生涯保護がいる。

痴愚（Imbecile）精神年令　3～7才　社会年令　4～9才

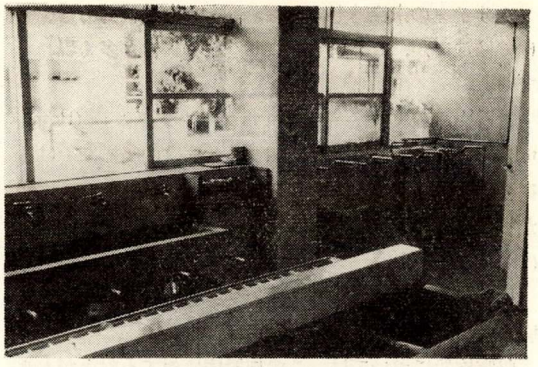
身体的危険から自己防御できるが，新しい事態の変化の適応能力に乏しく，他人の助けでようやく身辺処理できる。監督つきで仕事はできるが，職業的自立困難。

魯鈍（Moron）　精神年令　12才　社会年令　18才

日常生活にはさしつかえなく身辺の自立はできるが，抽象的思考困難，適当な指導で単純作業を独立してできる。

そして全般的に，精神構造は未分化で，幼児的思考を示し，具象的・空想的・被暗示的だが，単純な物事や反復作業に対する固執性もあり，衝動的なところもあり，衛生観念に欠けて不潔であり，一般にやはり鈍感で，感覚機能に乏しく，また運動機能の不円滑な者が多い。

つまり，精薄児と正常児の差は程度の差ではなく質の差なのであり（ビネー），一般に簡単に考えられているような，子供のままで大人にならない単に知能の低い純良な児童にとどまるものではないのである。総体として，知能・身体・能力・人格は個々千差万別で，単純に一括してとらえることはできず，一人一人のケースに応じた対決をしなければならない。



旭川療育園の児童便所・洗面・流し

2. 精神薄弱児の指導育成

施設では，児童の能力や特性に適した生活指導・教科指導・職業指導が行なわれるが，これらの指導に三者ばらばらになされるのではなく，個々の児童の人格全体を通じて，社会生活に適応するように一貫して有機的になされなければならない。そのために

1. 児童を暖かいふんいきに包んで安定感を得させ，不当な劣等感を解消させる。
2. 児童の長所を伸ばし，自信と生活意欲を起させる。
3. 他人依存から，自己独立性を養なう。
4. 健全な社会性・道徳性・共同性・保健衛生を認識させる。
5. 各種の機能訓練や，医学的・心理的診療を行なう。
6. 身近かで，単純で，繰返しの多い，成績が目に見えて現われる生産的作業を与える。

などの方法で，所期の目的に達するように努力するのである。

岡山旭川学園では，比較的高知能・高年令の児童を収容し，農耕・園芸・蓄産・ブロック製造・木工・クリーニング・手芸・洋裁などの作業学習・労作教育を通して，社会復帰への育成につとめているが，児童の発展段階に応じて三つのグループ編成をして，成果を収めている。精神薄弱児施設も，その多様性に即応し，専門分化した形が必要になってゆくだろう。

3. 精神薄弱児施設の建築

では，この複雑で変化に富む精神薄弱児を収容し，運営管理教育も雑多で，機能も多種な建築は，どのような形のものに具体化されるだろうか。当然，単一の建築計画の原則では処理できないであろう。

「最低基準」では，児童居室・調理室・浴室・便所・静養室・医務室が，基準の所要室となっている。もちろんこれだけでは十分ではない。

① 児童居室・便所・洗面・指導員室・保母室・指導室・私物庫

② 医務室・控室・面接室・心理検査室・資料室・記録室・静養室・職員室・宿直室・職員便所・事務諸室

③ 炊事調理室・食堂・浴室・機械室・洗濯室・裁縫室
④ 各種職業指導室・教科指導室・作業場・リクリェーション室
などの諸室が必要であろう。これらを有機的に結合しなければならないが，児童諸室は，災害の避難や外界との直結・児童の行動上から一階にしたい。そこで上に積み重ねた形は当然できず，横にひろがった形の配置となるが，家庭舎を点在させるか，寄宿舎のつながったものとして廊下で各棟を連絡させるかということになる。どちらにしても，また両者混合にしても，児童と外部との動線は極力一致しないようにし，しかし児童を閉じ込めるのではなく，職員の十分な視野のなかで外界と直接自由接触できるようにしたい。

児童の特殊な性癖を考慮した建築計画上の注意点を列挙すれば，つぎのようである。

1. 児童は自己判断の行動は困難なので，刺激の多い環境は避けるべきだが，あまり人里離れた隔離された土地では，子供があまりに社会と交渉になり，また施設職員が，異常なふんいきのなかに沈でんして，育成の意欲を失なうおそれがあるので，そのためにも一般社会と適当な交流の得られるところが望ましい。

2. 児童に美観や情操を養ない，生活に楽しさ・明るさ・うるおいを与えるために，周囲の環境や空間を整備する。

3. 児童は一般に感覚に乏しいので，凍傷にかかったり，火を手づかみする者もいるので，暖房はほしいが，直接暖房は危険である。まだ火遊びをする者もいるから，火を近かづけないとともに，防火・耐火に気をつける。

4. 児童のなかには突発的な事故を起したり，運動機能に満足でない者もいるので，児童がいつでもみられるような建物配置やガラス張りが効果的で，出隅や入隅のない直線的な計画がよい。居室は廊下を歩きながらみられるようにしたい。

5. しかし，児童の個々の独立したスペースへの欲求やプライヴァシー・ニュアンスの意識も大きく，自分のところという愛着を起こさせるためにも，また児童の長期生活やホスピタリズムの上からも，ある程度の奥行と独立性を空間内に与える必要がある。ただ廊下や外部などの共用部分はアルコーブなどをつくらず，真直ぐみ通しがきくようにしたい。

6. 押入や物置などは，児童が入り込まぬように注意しなければならないが，個人個人の物入れは児童居室に設ける。

7. 便所は児童が衛生観念に薄くて無精しやすいので，居室に近くし，職員が容易に監視できることがよく，また，てん落の危険のないようにする。

8. 無制限に水をのむ者もいるので，水のでる箇所は必ず目のとどくところに設置する。

9. 漆喰や壁紙・紙襖などは，はがしたり食べたりする者がいるので，手近かな壁や建具は硬い材料が望ましいが，空間を冷たくしないように気をつける。

10. タタミは，むしったり夜尿したりするので，床は暖かくてむしられず衛生的なものを使用する。名張の育成園では二段ベッドを採用しているが，無精して先禁したり，あまりに個人閉鎖的なので，軽症の者でないと無理であろう。

11. 男女居室は，「最低基準」では満8才以上は別にすることになっているが，居室別のみならず，棟別，そして夜間の動線遮断を完全にしたい。

また，知能・能力・性格などの重症から軽症までの段階に応じて，児童を居室わけするとともに，寄宿舎と家庭舎などの建築形式の違ったものに収容して，児童に転換と励みを一層与えるようにしたい。

12. 開き戸は，乗って遊んだりするので，なるべく引違いがよい。

13. ガラスは，病的か衝動的に割ることもあるので，枠を細かくするか網入りガラスをもちいて，危険と損害を少なくする。

14. 電気コンセントやガスコックなどでいたずらをすることがあるから，取りつけや位置に注意する。

15. 厨房や食堂がみえると常に食物に気をとられていることがあるので，児童から直接みえないように工夫する。

16. 施設では，職員の私生活・家庭生活，その子供の生活が犠牲にされやすいので，このスペースを分離して確保する。

17. その他，衛生管理や設備充実につとめる。

以上の諸点を，施設建築の細部にわたって有機的にもり込んでほしいが，あくまでも児童の人格を無視しないで，規律ある生活と指導が十分営めるような建築計画が要望される。

§4. 肢体不自由児施設

この施設は，脳性麻痺・脊髄性小児麻痺（ポリオ）・骨髄炎，結核性関節炎・脱臼・内外反足などにかかって，上肢・下肢・体幹などに機能障害がおこり，そのまま放置しておくと将来生業を営むうえに支障をきたすおそれのある児童を収容して，医学的治療をほどこし，適切な保護指導や訓練を加えるものである。このうち幼少時から多いのは脳性麻痺と小児麻痺であるが，各症状の型に応じた特殊の治療と訓練が行なわれるのである。

1. 肢体不自由児の施設生活

児童施設生活は，大別すると，つぎの三つになる。

1．医　療

四肢や体幹の変形・固定などを精密な診療と整形外科的手術によって除去するようにつとめ，義肢装具をあたえて，日常動作が行ないうるようにする。

2．各種機能訓練

手術が十分成功しても，不自由な身体の機能訓練をしなければ，その効果は現れないので，継続的に訓練をほどこすのである。

機能訓練には，物理療法（マッサージ・太陽灯・あんま器・その他医療器具使用）と，運動療法（各種矯正器による運動やスポーツ・遊戯などによる訓練・入浴療法），作業療法（ミシン・手芸・各種細工・農耕など）がある。また日常動作のうちにも訓練がなされる。

3．職業や生活指導・教育

施設退院後，社会に入って独立自活できるように，このなかで，身体に適合した日常生活訓練や職業指導が行なわれる。

また肢体不自由児は施設から通学するということはひじょうに困難なので，多くは施設内に適当な学校分校が設けられている。教室にでかけられない子供にはベッドにおける個別教育が行なわれるのである。

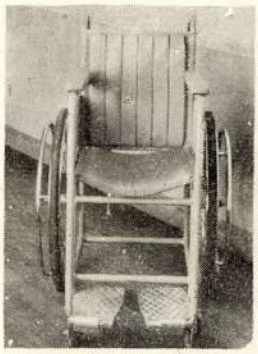
1，2，3，を規則正しい団体生活のなかで健やかに育て，身体の不自由を軽減させ，将来有為の社会人として活動しうる基礎を築くのである。

一般に肢体不自由児は，家庭で保護されすぎるか，反対にのけもの扱いされるかの両極端が多く，社会にあまり受け入れられていない。児童自身も心理的・社会的に欠陥や異常が多い。劣等感が強く，気をまわしやすく，感情不安定で，対人関係に弱く，孤独な反面，依頼心が強く，短気で，不平が多く，神経質・偏屈，ひねくれ者になっている。この児童の苦悩や要求不満を，施設生活でとり除き，本人の生来の潜在能力や性格を取りだして伸ばし，明るい児童にするという心理的問題が，身体的問題とともに大切なのである。

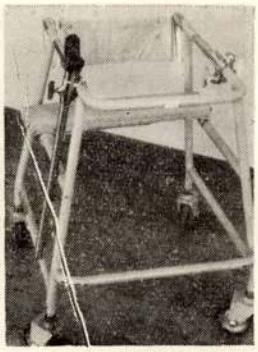
だから施設生活は，明朗な家庭空気に包み，暖かい環境のなかで生活や創造意欲を喚起し，自治会などで能動的に活動に参加させるとともに，リクリエーションの特別行事を多くとり入れることによって，環境的心理療法・集団療法・リクリエーション療法を行ないうるのである。

2. 肢体不自由児施設の建築

肢体不自由児施設は，医療法規定の病院であるとともに，児童の家庭であり，学校であり，厚生施設でもある。この四つの機能が，児童を中心としてうまく結合された計画が望まれるのである。施設の所要室としては，つぎのようなものがあろう。



車　椅　子



新しい歩行補助機

① 整形外科専門の診察室・手術室・処置室・臨床検査施設・X線装置・暗室・消毒施設・汚物処理施設・後療法室（物理療法室）・ギブス室・薬局・資料室・義肢装具製作設備

② 機能訓練室・プール・運動場（屋外訓練場）

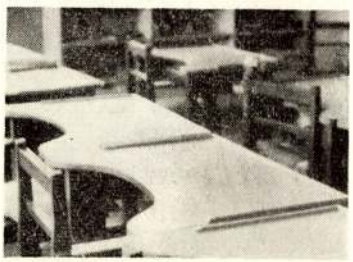
③ 児童病室（児童居室）・サンルーム・静養室・看護婦詰所・洗面・便所・倉庫

④ 炊事調理室・配膳室・食堂・浴室・機械室・洗濯設備

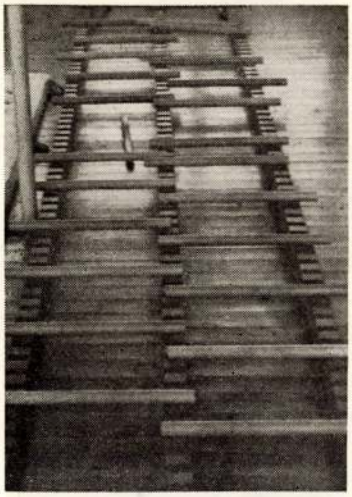
⑤ 教室・講堂・図書室・リクリエーション室・職業指導室（職能訓練室）

⑥ 事務諸室・宿直室・職員便所・看護婦室・保母室・児童指導員室・相談室。

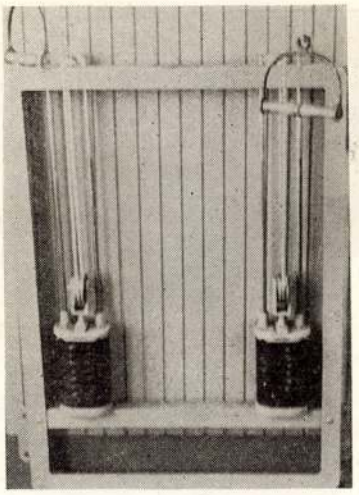
この肢体不自由児施設は，他の児童福祉施設とことなって，病院的要素がひじょうに強く，また児童の行動が不自由・困難なので，児童居室に家庭舎型が望ましいとは一概にいい切れず，一般には寄宿舎型が多く行なわれている。そしてとくに緊急事態の発生時の退避を考えて必らず児童居室は一階にする。そしてやはりここに入院している児童はかなり長期間にわたるので，身体の状態が好転してくれば，病院的ふんいきから家庭的ふんいきに移すようにする。最近よく行なわれているのは，手術前後や重症者はベッド式の病室に入り，みずから行動できるようになればタタミ式の居室に入り，一般家庭的な配慮とともに，ここで自然に日常生活の訓練がなされ，社会生活復帰への基礎がつくられるのである。病室の間仕切は看護の目がとどくようにガラススクリーンが多い



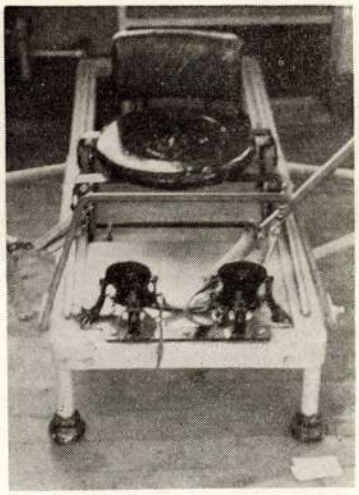
東大寺整肢園教室の机



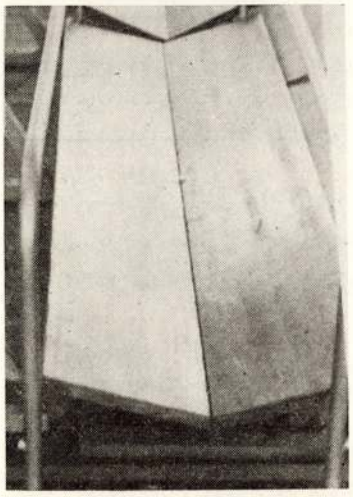
歩巾調節歩行器



上肢屈伸運動器（壁付）



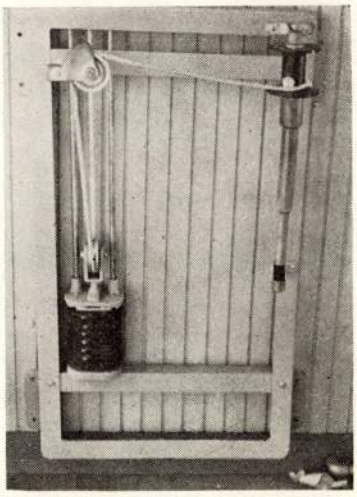
漕艇練習器



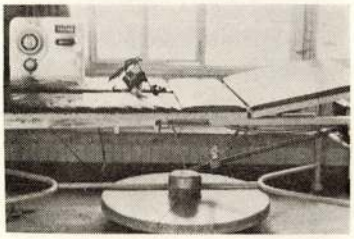
内（外）反足矯正器

各種機能訓練器具

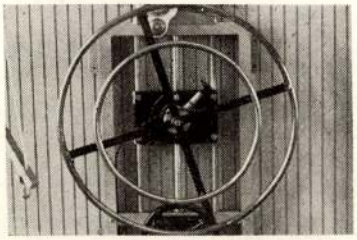
この他，斜面懸引，電話ダイヤル，コーンタワー，ねじり棒，つみ木，平衡感覚練習器，肋木階段，平均台，タイプライター，鉄アレイ，バーベル，エキスパンダー，ボーリング，フラフープ，ホッピング，なわとび，卓球など手足や体を動かして運動訓練できるものはすべて機能訓練用具となる。



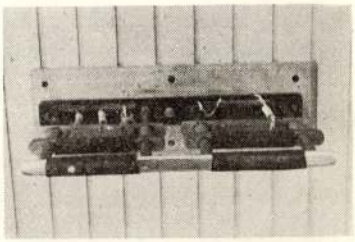
手腕回転練習器（壁付）



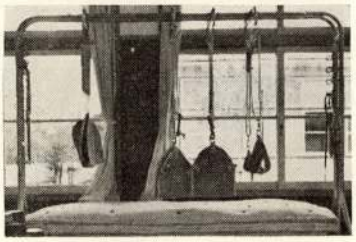
下肢屈伸運動器



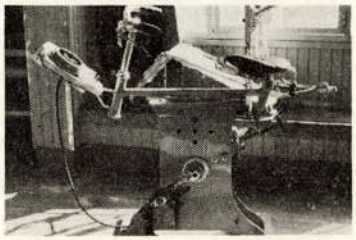
上肢回転練習器（壁付）



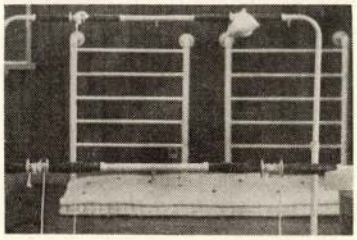
手肢屈伸練習器（壁付）



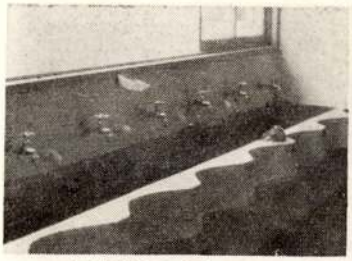
スタンダード・アパラート



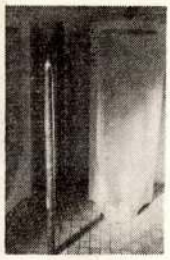
自転車練習器



巻上げ器と立上り器



東大寺整肢園の洗面



東大寺整肢園の小便所の手すり

が，ある程度のプライヴァシーがほしい。

ところで，児童の利用する空間は，居室のみならず，歩行困難を思うと階段やスロープが使えないので，各施設は横にひろがった形の配置となり，当然動線は長くなるので，機能的に矛盾するようになるのだが，これは積極的なそして自然な歩行訓練ともなるのである。動線の途中にあまり無理のない凹凸やスロープがあるのも障害訓練とはなる。しかし同じ建物の内部の床は，児童の危険性を防いで同一平面にしたい。便所や洗面所の床も廊下と同じ面にし，下足のはきかえは避けたい。

廊下・洗面所・便所・浴室・プールなど，児童の気を許すところや危険性のあるところはていねいに手すりをつけたり，細部に気をくばって，こういう場所で積極的訓練をやらない。

便所や洗面所は児童の特殊性を考えて，とくに居室に近くしたい。岡山の旭川療育園や高松のひかり整肢学園では，居室棟の真中に廊下から直接ゆけるようにし，流しや洗面と一緒に集約して設置している。この施設の児童便所における一つのティピカル・タイプになるのではなかろうか。

廊下は，児童が松葉杖をついたり，ころんだり，ギブスをつけ，車椅子や歩行補助器を使うので，できるだけ巾広くとりたい。巾広くとっておけば，そこにラインを引いて歩行訓練もできるのである。

機能訓練室には，上肢・下肢・体幹・歩行などの各種の訓練器具がおかれ（前頁写真参照），児童はそれらを使って何度もくり返して訓練が行なわれるのである。だからできるだけ広い空間をつくり，できればそのなかで室内スポーツもやれるとよい。

機能訓練にはプールも大きな役割をもっている。温水中では児童の体が身軽になり，自由になって，訓練にも興味をもつようになるし，意義は大きい。だから児童の浴室とは別になるべく大きなプールを設けたい。兵庫県の，のじぎく園には屋内と屋外にプールをもち，有効に活用されている。

施設に併設される学校教室には，体の不自由に応じた机や椅子を用意し，車椅子などが入れるように，一般の広さより大きくしたい。

肢体不自由児は，体が不自由で歩行が困難なので，家のなかにこもりがちだから，なるだけ外界とスムーズに接触できるように計画し，危険な興味をもって抵抗なく内外がとけこめるように，外部の環境を充実してほしい。

結局，この施設の建築計画は，身体の不自由な児童を暖かく受け入れ，児童の特異性を考えて細部にわたって十分支障のないようにしなければならないが，あまりに危険や便宜に気を使いすぎると，児童が施設内の温室育ちに終って，社会への適応性に欠けるおそれがあるからあるていどの積極訓練の抵抗や障害を自然に設けることが必要である。ただその両者が同じ場所で混在することは児童に見誤らせるおそれがあるから，絶対に避けるべきであろう。

おわりに

これまで，児童福祉施設の建築計画において横たわっている大きな問題点を概観し，各論として精神薄弱児施設としては，助産施設・乳児院・母子寮・保育所・児童厚生施設・養護施設・精神薄弱児施設・盲児施設・ろうあ児施設・教護院などがあり，それぞれ特殊の児童を対象とし，目的もことなっているので，建築計画の上でもおのおの異質の立場をもっている。それでこれらの一つ一つに対してもここで触れたかったのだが，紙数も大分超過したようなので，割愛せざるを得ない。別の機会に追加したいと思う。

児童福祉施設の「建築計画」といっても，本論では，「〜が必要である」とか「〜してほしい」・「〜が望ましい」・「〜しなければならない」などの言葉を使ってきた。はじめにのべたように，これらの施設に対する建築的な目はではじめたばかりであり，現状の改善の方にすぐ心が奪われる。少しでも漸進的な方向が要望されるからである。だから本来の児童福祉施設の建築計画論の確立は，こんごの調査研究に負っている。「忘れられた子ら」をはじめ，将来の社会を背負って立つ全児童に対する暖かい愛と理解が，児童の建築面においても十分満たされるように，われわれは努力しなければならない。そしてこれは，児童福祉にとどまらず，「ゆりかごから墓場まで」や「老人から孫まで」の，社会福祉全体にわたって一貫して押し進められなければならない。

【参考文献】

① 厚生省社会局・児童局編：「社会福祉六法」
② 高田浩運：「児童福祉法の解説」1957
③ 松崎芳伸：「児童福祉施設最低基準」1949
④ 現代教育心理学大系（14巻）：「特殊教育」1960
⑤ 小宮山主計：「保育理論—児童福祉研究—」1960
⑥ 厚生省児童局編：児童福祉各施設運営要領
⑦ 河合三郎：「精神薄弱児施設の建築計画について」
（建築学会中国支部研究報告　1960年9月）

（筆者　神戸大学講師・建築計画）

計画案二点

1. 兵庫県立精神薄弱児施設の計画
2. 茨城県立整肢療護園の計画

兵庫県立精神薄弱児施設の計画について

千葉文雄
三川栄吉

1. 計画敷地

当兵庫県立精神薄弱児施設の建設地は，兵庫県赤穂市の西北方，バスで20分ぐらい行ったところにある。北・西には山，東には川をひかえ，南下りのゆるい傾斜地で，丘陵地帯の山すそにあたっている。現在は梅林や果樹園に利用され，申し分のない環境である。敷地面積は約7,225坪で比較的広くとられている。この敷地をみて，まず南下りの自然の地勢をそのまま生かして，豊かな環境のなかににとけ込めるような計画を進めて行くことを，ひとつの基本態度とした。

2. 計画の条件

兵庫県婦人児童課から託された計画の条件は，精神薄弱児の定員150名（その男女比を6対4と想定）を収容する施設を，ということであった。これはもとより児童福祉法に基く児童福祉施設であり，児童福祉施設最低基準に準拠せねばならぬことはもちろんであり，厚生省児童局編の「精神薄弱児施設運営要領」も十分参照した。

なお交渉の結果，鉄筋コンクリート構造に決定したのは幸いだったが，暖房方式は予算その他の関係で，まだ解決されていない。

3. 計画へのプロセス

「精神薄弱」というと，何か一般社会とかけはなれた存在であり，とり残され，置き忘れられていたので，その施設計画のデータもあまりみあたらない。そこで実際の最近建った精神薄弱児施設をみてまわることと，それらの施設の運営関係者の意見を聞くことから出発した。

みてまわった建物としては，岡山の旭川荘と名張の育成園などがあるが，そのなかではとくに旭川荘の，すみずみまで気をくばった施設と運営には敬服した。精神薄弱児施設は，ただそれらの児童を収容保護するだけではなく，社会におき去られがちな児童を暖かく迎え入れ，生活指導や職業指導を通じて，社会にひとり立ちできるところまで育成につとめなければならない。そのためには，施設と運営が表裏の関係で密着し，大きく暖かく児童を包み込むものでなければならぬことを痛感した。

これら施設見学とともに，精神薄弱児施設の運営関係者の意見を聞いたことは有意義だった。兵庫県下四ヵ所の精神薄弱児施設の所長と児童相談所長など関係者一同にお集まりを願って，いろいろ施設の現状やその使われ方についてお聞きし，こんごのモデルケースの方向について話しあっていただいた。ここで興味深かったことは，種々の考えがなまの形でてたこととともに，これらの施設の方向については，具体的にはまだ確立されておらず，完全な意見の一致がみられず，対立した形がはっきりと現われてたことであった。そのおもなものはふたつあるが，要点はつぎのようである。

1) プランの閉鎖型と開放型

閉鎖型のプランでは，管理がしやすく，目がゆきとどき，発作や逃亡などの事態をすぐ発見することができる。

開放型のプランでは，児童を家のなかに閉じこめずに，外界と直接結びついた伸び伸びした生活を営ませることができる。

2) 寄宿舎制と家庭舎制

児童の居室を寄宿舎的なものとするか，家庭舎的なものとするかの二通りの方式があるが，寄宿舎制では，運営管理が容易だし，児童の集団的・社会的秩序を把握させやすい。他方，家庭舎制では小人数で家庭的ふんいきの生活が可能である。

1)，2)を通じて，ともに相対立して一長一短のある結論のでていない方向にどうとり組んでゆくかが，この計画の大きな問題となった。

4. 計画の要点

精神薄弱児にいつも接している専門家でも結論のでていないこれらの前記問題点を，ここでひとつのものにかためてしまうことは，あまりに無暴だし，バラエティに富むものをつくることの方が望ましいのじゃないかと考え，一応これらの意見の全部を含めたものをつくってみようというところから，プランニングを開始した。

まず，児童の居室棟を，男・女の寄宿舎棟と家庭舎にわけ，それぞれつぎのような収容構成をとった。

男子棟（北側）計48名，6室

各室は12畳タタミ敷きで，8名

収容女子および重患棟（南側）計46名，6室

各室は，男子棟と同じく，12畳タタミ敷きで，8名収容だが，6室のうち診療室棟に近い，目のゆきとどく2室を重患用として14名収容する。

家庭舎（松林に囲まれた西側の閑静地）計56名，4戸

各戸は10畳2間に広縁，食堂つきとし，1戸14名収容

上記児童居室とともに，この施設で重要な診療棟・管理棟・サービス設備棟・職業補導棟を適当に配置し，これらの各棟を廊下や渡り廊下で適宜結んでいる。

建設敷地の一番南側の正面に位置する管理棟は2階建で，地形の関係から外来者は直接2階に入るようになり，そこに事務室・面接室・応接室・園長室・会議室・保母指導員控室・資料室・心理測定室などをならべ，1階は倉庫・被服補修室・ガレージなどにあてている。

診療棟には，医務室・面接室・医師看護婦控室・静養室などの各室をとり，各種の診察と，児童の静養保護を行なう。

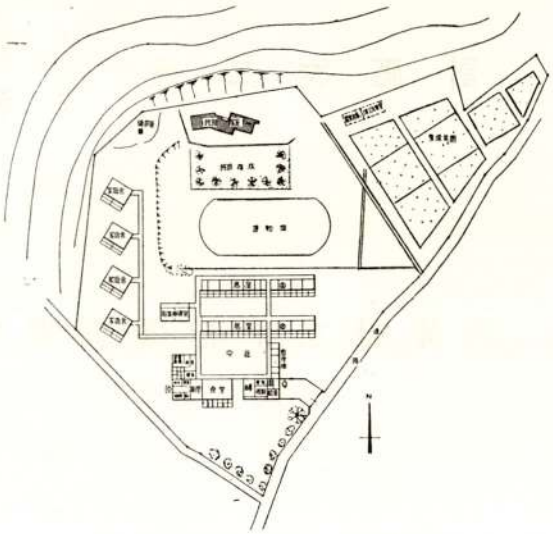
サービス設備棟は，いうまでもなく，食事・調理・洗濯・入浴および機械設備に要する各室を配置している。

職業補導棟には，種々の職業実習に必要な設備施設を備え，明るく社会に踏みだせる生活の基礎となる職業指導を，児童に楽しく与えようとしている。

5. 児童居室の内部

そこで児童居室だが，精神薄弱児童は一般に清潔感に欠け，夜尿をしたり，壁土をはがしたり，火遊びをしたり，突発的に興奮や沈うつ状態になったり，感覚が鈍くて火を手づかみしたり，凍傷にかかったりする。

だから，タタミはビニールタタミとし，押入れに入っていたずらされないように廊下にフトン入れをつくり，室内には個々の小さな物入れを設ける。廊下の床は感触，清潔・耐久を考慮して樹脂製をアートフロアとする。壁はモルタルにビニールペンキ塗りとするが，楽しい児童のふんいきをつくるために，色彩を豊富に使用する。また保母の目がよくゆきわたるように，廊下側間仕切にはガラス張りの部分をつくり，要所に保母指導員室をおく，建具はハードボードを使用し耐久性を高める。児童室に直接暖房はもちろん不可だが，この計画ではまだセントラルヒーティングにまでおよばないのが残念である。



配置図

6. 全体の構成と戸外の利用

ここの場合は，精神薄弱のていどによって入園を制限するわけに行かないので，重症までの巾広い収容を考慮して計画・運営されなければならない。また前にのべたように，開放型と閉鎖型・寄宿舎型と家庭舎型のすべてを組合わせた形に総合しようとしているので，各棟の有機的なバランスや総合的な立場からの各位置づけがとくに必要になってくる。単に各室や各棟をならべただけのプランに終ってはならないことは当然である。

建物をとりまく空間も，各棟や廊下で閉された中庭と，棟の飛びだした翼の開放的なひろがりの両面をうまくとりこもうと図った。

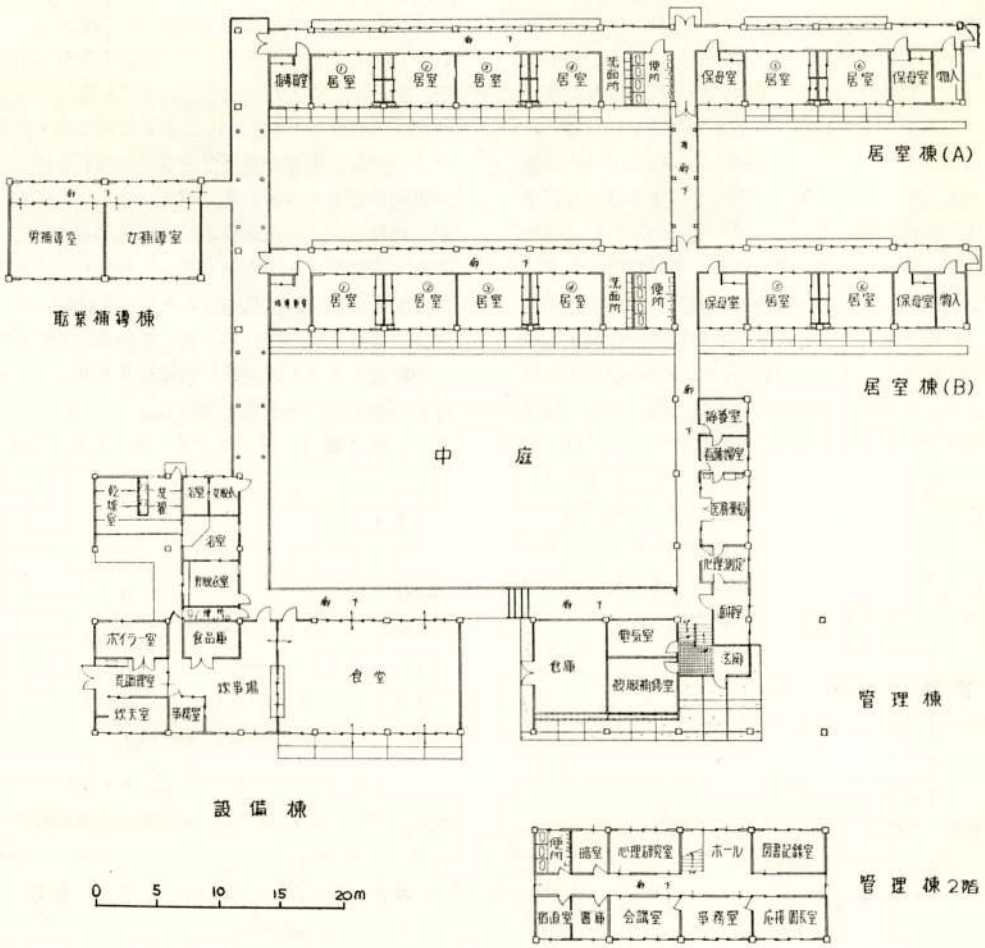
本館と居室棟にはさまれた中庭には，プールや彫刻を設置し，芝生を植え，草花や木を生やし，飛石を置いて，日常生活にうるおいを与え，児童の情操を高めることになんらかの意味をもつ空間になれば，と願っている。

また，これらの施設の北側には広く運動場をとり，北東には果樹菜園をつくり，藁製品や竹の加工品づくりと手芸などとともに，職業訓練の課外に園芸を児童に与えて，大いに勤労意欲を深めさせたいと思っている。

7. おわりに

この計画は近く着工されることになっているが，この施設が，なによりも，不幸で，社会に忘れられた子供たちのための，自然に包まれ，梅林に囲まれた，楽しく明るいパラダイスに一日も早く完成するようにと希っている。

（筆者　千葉：兵庫県建築課長，三川：同課技師）



兵庫県立精神薄弱児施設計画のプラン

茨城県立整肢療護園の計画について

野　村　東　太

わが国の肢体不自由児のための施設はじゅうらい，とかく日のあたらない施設のひとつであった。この傾向は建築計画のうえにもみられ，総合病院や学校などの設計計画に関する研究や資料はかなり進んだ段階にあるにもかかわらず，この種施設としての研究はほとんどみあたらなかった。戦後建てられた施設についてみても，建設費の低さから豊かな施設ができなかったばかりでなく，建築家の側からも，たとえば外観をいかにスマートに構成するかとか，ドアーや便所の取手を肢体不自由な児童にとっていかに便利なものにするかなどの，いわば建物の外観やディテイルに関心をとられ，そのなかに入る児童の生活や管理者・医師・看護婦・教師・職員の作業などを十分に研究把握して，それぞれの機能や性格に応じて，建物の配置計画・平面計画を行なうという根本的な点では，きわめて遅れていた。ここにご紹介する茨城県立整肢療護園はそのような一般的状況のもとに計画されたもので，したがって計画にあたってはごく基本的なもののみを，とらえようと試みたていどで，細部についてはひじょうに不十分な点が多く，作品例として発表するのはたいへん恥しい気持がするが，せめてこんごのこの種施設設計の研究資料にでもなればと思い，あえてご紹介することとした。

§1. 建物の概要

建築場所：茨城県水戸市郊外

建築構造：鉄筋コンクリート造・平屋建

建築面積：2,515 m² (761坪)

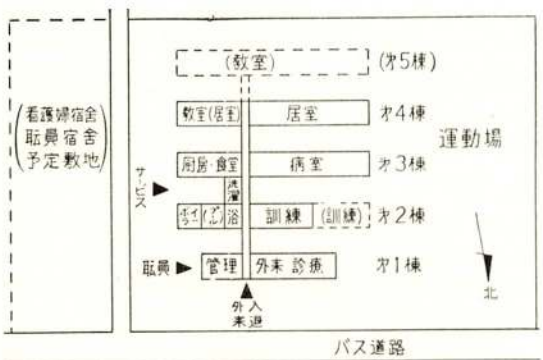
入園児童数　108人

設　　計：茨城県土木部建築課
　　野村東太
　　田中建築設計事務所

§2. ブロックプランについて

1°　建物配置は**図-1**のごとくである。[1] 肢体不自由児にとって階段のある2階以上の建物は日常生活・避難などの点でひじょうに不便であること，[註1] [2] この種施設が短期入院の総合病院や全生活の一部にすぎない学校などとことなり，きわめて生活的な施設である点から，われわれの日常生活とどうように，土に親しむ住宅的ふんいきを，生みだすことが望ましいこと，[3] 敷地に十分なゆとりがえられたことなどから，あえて建設費・設備配管コストの増加や動線の延長など多少の犠牲をはらっても，平家建を根本方針とした。[註2]

図-1.　配置概要



図中……線部分及び(　)内は将来の予定

2°　建物の形は計画過程上のいきさつもあってきわめて平凡・安易なフィンガープランとなった。いかにも機械的な配置計画で，変化に富んだ空間を構成するという点でひじょうに劣っていると考えている。このため各棟間の中庭はできるだけ変化に富んだリクリエーション施設をもつ庭にしたいと考えている。

3°　各種は**表-1**のようなゾーンニングで構成されている。

表-1

	東　翼	西　翼
第1棟	管理	外来・診療
第2棟	ボイラー・プール・浴室	訓練
第3棟	厨房・食堂・洗濯	病室(ベッド)52人
第4棟	教室(将来居室となる)	居室(タタミ)56人
第5棟	(将来建設・東西翼とも教室予定)	

ここでまず考えらたことは全体を静・騒（活動・非活動），医学的汚・清，生活・作業上の性格などから7つのブロックにわけたことで，これらブロックが機能上いかに離合したらよいかの初歩的な考察を**表-2**のごとく行なった。

4°　この建物は将来，南側に第5棟（教室・教師室など）が完成し，第4棟がすべて居室となって完結する。このときの施設児童数は約150名ていどを考えている。なお同時に温水プールと訓練諸室を増築する予定である。

§3. 第1棟について

1°　外来患者数はこの種施設では総合病院にくらべて，ひじょうに少なく完全な形では独立分化しにくいため，外来と附属診療の2部分をもって1ブロックとした。したがって外来児童と施設内児童の利用との間に動線の混合が考えられるが，実際には午前・午後で時間的に両者をわける運営が期待できるので問題はおこるまい。ただし大規模施設ではこのような構成は不適当であろう。

2°　手術部分は大部分が施設児童を対象としている。したがってこのような位置にくる必然性はかならずしもな

表-2

空間	性格	近接さす空間	離す空間
生活空間（活動的な居室）	肢体の訓練・教育を行なう社会・復帰前の児童	教室・訓練・食堂運動場・（診療）	サービス
看護空間（非活動的病室）	合併症を含む医療中心の患者，病床で教育する	（外来・診療）	活動的な空間・サービス
教育空間（教室）	義務教育を行なう活動的空間，夜は不使用	居室	病室・外来・診療・サービス
訓練空間（訓練諸室）	肢体・機能訓練などの活動的空間	居室・食堂・運動場・浴室	外来・診療サービス（病室）
外来・診療空間	外来患者と施設内児童の診療・手術・投薬	管理	教室・サービス・（居室・病室）
管理	事務・管理・宿直	外来・診療	
サービス空間（厨房・ボイラー・洗濯）	給食はとくに衛生的考慮のいる空間	食堂・プール・浴室	外来診療・教室（病室・居室）

い。ただ1) 医学上衛生的に隔離された空間でなければならず通り抜けなどはゆるされないこと，2) 手術件数が少なく1～1.5日/1週ていどの利用率と推定されたこと，3) このていどの規模では手術部の医師・看護婦は外来・診療などかねるのが一般であることなどから外来・診療ブロックに入れた註3。

3° 理療室（マッサージ・光線治療・電気治療など）は午前外来・午後施設児童の利用を考えて，別に施設児童専用のマッサージ室は設けぬこととし，浴室や温水プール（将来予定）にマッサージ・コーナーを設けるていどとした。入浴やプール利用時には相手が肢体不自由児であるからひじょうな人手がかかるため，十分な人手の裏づけがないかぎり，このようなコーナーはアイディアだけに終る可能性が強い。

4° 相談室はいわゆるソシアルサービスのための室で，プライバシィーが必要であり，この位置は必ずしもふさわしくない。しかし，医師が相談に立会う場合が多いので，医師が主に働く場所からあまり遠くない方がよいと考えられる。

5° 診察・処置は間仕切のある1空間とした。この種施設では医師・看護婦数の少ないのが現状であるから各種作業はできるだけ緊密に連絡・兼任できる必要があろう。

6° 待合形式はホール待合・インターホーン呼出形式となっている。1) 一般に外来患者数は少ないが，ほとんどが付添人をともなっていること，2) 施設内患者は車椅子・松葉杖などでくること，3) 中央カルテ方式としたことなどから混雑を招きやすい廊下待合・内待合形式をやめることとした。なお各室への入口は車椅子ごと入れるよう沓ずりを廃した。

7° X線室の利用率は外来より施設用児童の方がはるかに多いのが普通である。この点からみるとこの位置は小規模では容認できるとしても大規模では不都合であろう

§4. 第2棟について

1° 訓練部門は予算上頭初の計画より面積的に小さくなったのは遺憾であり，将来西側に増築する予定である。この部門は主に居室の児童が使うが，1) 外来患者も使うことのあること，2) 病室ブロックを一まとめにし，訓練のような騒音源から離したかったことなどからこのような位置を一応決めたが，適切な位置であるかどうかはこんごの研究にまたねばならない。

2° 克服訓練室のステージは固定せず，訓練にも使用できるよう移動式とした。なお月1～2回開かれる映画会・慰問演芸などは食堂かまたはこの空間を使うよう考慮した。しかしこのことを重視しすぎて日常使いにくい空間とすることは極力避けたつもりである。

3° 訓練指導員室は言語訓練室内に設けた。

4° 浴室と温水プール（将来予定）は訓練ブロックとならべた。これは，1) 訓練後入浴すること，2) ボイラーと近くあることなどからこのような位置となったものである。よくひじょうに大きな温水プールや各種治療室をかかえて，誇りとしている施設があるが，一時に多数の人手を要するこれら施設は，十分な人手の裏づけがないと，無用化することを注意しなければならないと思う。

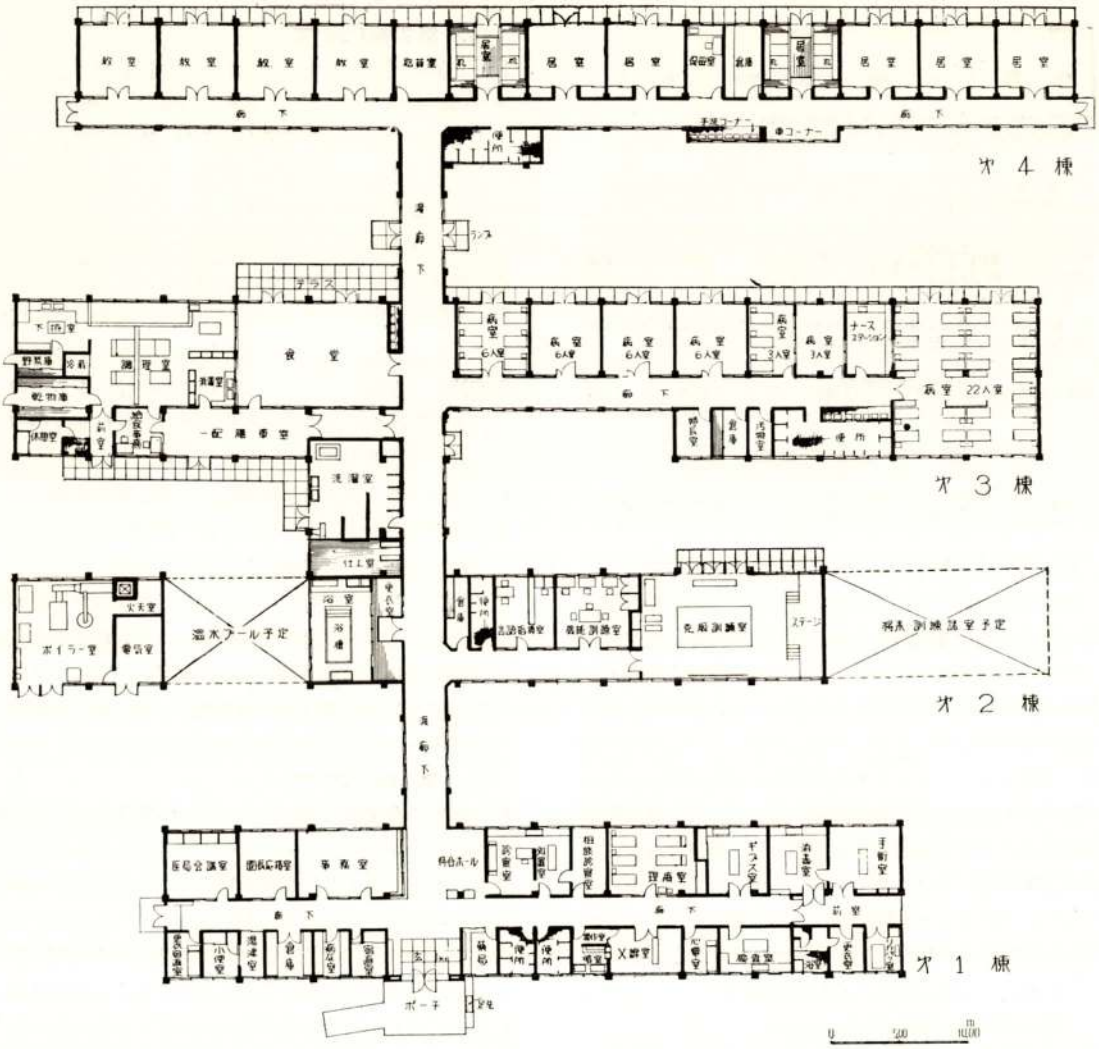
§5. 第3棟について

1° 病室は合併症・術後などを含む医療中心の児童を収容するブロックで，ナースステーションを中心に看護しやすいことを第1とし，病室構成などは総合病院小児病棟的に行ない註4，すべてベッドとした。この計画では年令・性・病種などで児童をわけるにはやや小室が不足である。なお病室には車椅子ごと入れる寸法が必要であるばかりでなく，動けぬ児童のため，病室で教育を行なうから，移動黒板の置きやすいこと，また生活を豊かにするための本棚・おもちゃ棚・リネン棚など考慮が必要であろう。この計画では後者が十分みたされていない。

2° 廊下はこの種施設では十分広くとる必要がある。しかし全建築面積に占める通路面積がひじょうに大きくなり，ここでは洗面コーナー・車椅子置場などを廊下の一部にアルコーブとして設けたり，廊下を歩行訓練の場とし単なる通路としないよう考慮した。しかし，なお積極的にベンチや棚などを設け，多少面積は増しても室内の延長となるような快適な空間にすることも，とくに居室前廊下などにはこんご考えられてよかろう。

3° 洗濯は規準寝具を行ない，一応私物もすべて病院で洗濯することを考えている。乾燥室を中心に作業の流れにそって一周するタイプである。ただ仕上部分がせまくこのままでは十分な仕上は望めない。註5

4° 厨房はとくに作業の流れや各作業の質について十分考慮した。厨房内床のドライ化，汚・清の区別（上下足の分離・履きかえ設備），下拵空間の充実などは，この種施設の厨房がじゅうらい水びたし・長靴調理空間のよど



れ・不十分な換気などでなやまされていたのを避けられると思う。[註6] ただし，設計意図通りに運営するには管理人認識の改善が裏づけとならねばならない。なお，ここでは中央配膳・消毒方式で計画した。

5° 児童の半数以上は食堂までこられるため，広い食堂を設けた。医師・看護婦・保母・教師なども児童と一緒に食事するのが好ましく，ここでも職員食堂はとっていない。なお厨房の盛付部分は食堂用と病室用とにわけてある。

§6. 第4棟について

1° 居室は病室というよりはまったくの生活空間であり，在園期間が一般にきわめて長期であることから，できるだけ住宅的に計画し，広いテラスをとり，床はタタミとしている。壁面に児童各人に専用の本棚・文具入・勉強机を設けてあるが十分とはいえない。居室はじゅうらい10人室以上もみられたが，1) 自治生活のまとまり，2) 寝具の出入，3) 学年・性別の区分などからみて，1室6人以下が望ましいと思われる。この計画では予算上1室8人となったが好ましい人数とは思っていない。適当な人数についてはこんごの研究が必要であろう。

2° 保母は居室児童の生活指導者であり，居室ブロックの中央に保母室においた。

3° 教室は小規模施設では複式学級（2学年以上が1教室で教育をうける）となる。この計画では教部分は将来居室となる条件があるため，室寸法は居室寸法となりせまくなっている。将来南側に教室棟ができたとき，最適な寸法や設備を考える予定である。教室内に車椅子を持込むことがあり，複式学級も3学年にわたることも考えられるから，教室の形・黒板位置なども一般の小・中学校とはおのずと変ってこよう。

註 1. 日常生活における階段の上下は児童にとってかえって，日常訓練になってよいという説もある。しかし，車椅子・歩行補助器具は使えない。

註 2. エレベーターなどの設備が完備しても，在園期間からみて総合病院的な高層化した計画は避けねばならないと考える。

註 3. 大手術は茨城県立中央病院へ患者を送ることを前提としている。ギプス室の利用率は普通手術よりは高い。

註 4. 病室を幼児，低学年高学年に大別でき，かつ高学年では男女をわけられるよう考慮すること。重症・伝染性疾患を隔離できることが必要である。

註 5. 「病院の洗濯サービスについて」野村東太，建築学会論文報告集21号参照

註 6. 「厨房の設計について」野村東太，雑誌「病院」18巻13号参照

（筆者 東京大学工学部建築学科吉武研究室）

実例を通じて

旭川荘の設計について

（作品はアート頁参照）

河合三郎

◇ 緒　言

岡山市の北郊，都心から約6kmのところに，竜の口山のふところを，深くえぐって迂曲する旭川の清流に沿って，62,000坪の旭川荘の敷地と，50棟2,000余坪におよぶ建物が横たわっている。この旭川荘は，財団法人川崎病院理事長川崎祐宣氏が，年来の宿願として抱きつづけてこられた構想のもとに，昭和30年ごろより建設が進められた。当時公にされた設立趣意書によると，現在の施設のほかに，小児結核患者の収容施設，虚弱児施設，保育所，老人ホーム，青少年のためのリクリェーションセンター，アフターケアー施設なども計画されていたのであるが，諸般の事情，社会のneedなどからとりあえず，

肢体不自由児施設　旭川療育園
精神薄弱児施設　旭川学園
乳児施設　旭川乳児院

の3つが設立され，社会福祉法人旭川荘によって運営されることとなり，それぞれ工事に着手し，昭和32年上記3つの施設が完成，事業を開始してこんにちにいたっている。

昭和33年11月，東京で開催された国際児童福祉会議においては，“家庭における児童”が主題としてとりあげられ，施設および里親家庭の目的は，できるだけ児童を児童自身の家庭に帰すことが主張された。児童福祉においても最近の世界的趨勢は，治療的段階から漸次予防的段階に進んでいるといわれる。しかしながらわが国の現状においては，まだ家庭に問題があり，施設収容を必要とする児童数に比し施設定員ははるかに低いといわなければならず，またたとえ完全な社会保障が実現し家庭の問題がなくなったにしても，肢体不自由児の治療や教育，精神薄弱児の指導や訓練は専門の知識を必要とし，家庭の能力の限界をこえているため，施設収容が必要とされる。したがってこれらの児童のための施設は，なお一層の量的，質的発展が期待されるものである。

さて児童福祉法によれば，

○し体不自由児施設は，上し，下しまたは体幹の機能の不自由な児童を治療するとともに，独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする。
○精神薄弱児施設は，精神薄弱の児童を入所させてこれを保護するとともに，独立自活に必要な知識，技能を与えることを目的とする。
○乳児院は，乳児を入所させて，これを養育することを目的とする。

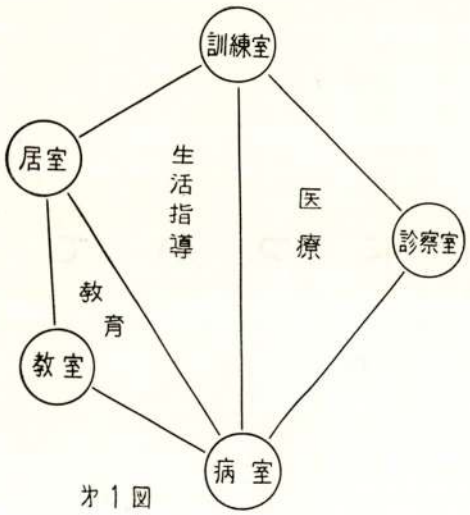
といわれている。旭川荘はこれら3つの施設を一ヵ所に集中して設置し，総合的に運営しようとするものである。前記国際児童福祉会議の第5部会報告のなかで，“私的施設は，弾力性をもち，大いに先駆的事業を進めるものでなければならない”とされているが，旭川荘はまさにこのような意味において，私的社会事業の新しい方向を開拓しようとしたものである。以下，その建築に当っての設計上の問題点ないし要点についてのべてみよう。

◇ 総合施設における問題点とその解決

等しく児童福祉施設といっても，肢体不自由児施設，精神薄弱児施設，乳児院などはそれぞれ独自の目的，対象ならびに機能をもっており，建築の形態も異ならざるを得ない。これらを総合的に運営することは，はたして妥当であるか否かについて，関係各方面，監督諸官庁においても，その意見は賛否両論にわかれ，種々の批判も行なわれた。

総合的に運営することによって，プラスの面とマイナスの面が生じることが予想されるが，それらのバランスを考えた上で，個々の施設をそれぞれ単独に運営した場合に比べて，

1．児童に対するサービスが相対的に上昇するか。
2．施設の機能が，より経済的，より効果的に発揮できるか。



第1図

によって，初めて設立の精神としてかかげた先駆者的役割を果したということができるのである。このような見地から，設計に際してはとくにつぎの諸点に留意した。

（1）各施設はそれぞれ独立した閉鎖的環境を形成すること。

（2）各施設の独自性はあくまで尊重され，部外者が無意味に侵入しないこと。

（3）上記2つの条件を満足させながら，各施設は有機的に連繋し合うブロックプランとすること。

（4）会計，庶務，人事，渉外などの事務，給食，洗濯などのサービスは，可能な限り中央化し，各施設は医療，教育指導，保育等の直接的サービスにに専念すること。

（5）他施設の生活環境を攪乱せず，また最低規準にふれない範囲で，共用部分はできるだけ利用し，建物の利用率を高めること。

（6）自然環境の美しさを十分生かすこと。

このような観点からブロックプランを決定し，個々の施設の配置計画が行なわれた。

◇ 旭川療育園（肢体不自由児施設）

肢体不自由児施設は，脊ずい性小児まひ，脳性小児まひ，結核性疾患，先天性疾患，外傷性疾患などによって，四肢および体幹の運動機能に著しい持続的障害のある児童を吸収して，医療，生活指導，学習指導および職業指導を施して，独立を得させるものである。したがってその建物は，病院（とくに小児病棟），学校および収容施設としての多角的な機能を要求される。設計にさいして，とくに留意した点をあげるとつぎの通りである。

〔1〕 ブロックプラン

医療，生活指導，学習指導といった機能区分と，居室病室などの関連は**第1図**のとおりである。動線が混乱しないよう，各種機能が相互に妨害しないで遂行しうるようにする必要がある。

〔2〕 病室関係

○病室収容人員と居室収容人員との比率は，経営方針によって変化する。旭川療育園では前者6，後者4の割合とした。

○病室の設計は小児病棟に準じて行なったが，通学不能児のための個別学習指導のために，塗板，スクリーン，テレビなどを考慮し，また床頭台，勉強机についてとくに考慮した。

○伝染病の発生に備えて，隔離しうる病室を設けた。実際にはほとんど使用されていないが，予備室として活用されている。

〔3〕 居室関係

○生活訓練のためにタタミを採用した。日常生活のほとんどを通じて装見を着用するので，室の両側をタタミとし，中央1.8m巾を通路として，廊下および屋外にでるようにした。

○便所，浴室，洗面所などの細部設計については，とくに身体的障害を考慮した。

〔4〕 教室関係

○小学校3学級，中学校1学級計4教室を設けた。教授形式，装具などの関係から，1室15人以下の定員ではあるが，5.4m×7.2mとした。

○図画，工作，音楽など多目的の使用も可能なように，流し作業台，陳列戸棚などを設けた。

〔5〕 訓練室

○砂遊び，積木細工などの遊戯療法，各種の理学的療法，体操，歩行訓練などを考慮した。作業療法のためのスペースは残念ながら割愛せざるをえなかった。

○訓練の動機づけのために，視覚，聴覚に訴える設備，装置が必要である。

〔6〕 その他

○廊下に手摺を設けたが，日常生活を訓練と直結するためには，やむを得ない場合のほかは不要ではないかと思う。事実あまり利用されていないようである。なお手摺をつける場合は，全身の重量がかかることを考慮に入れて，十分堅固に取りつけなければならない。

○全体を通じて，階段，段違いは極力さけるべきである。

◇ 旭川学園（精神薄弱児施設）

精神薄弱児施設の建築計画に際しては，計画の基本的条件にかかわるいくつかの問題点がある。※いまその主なものを要約すると，

（1）対象とする精神薄弱児の個人差が大きいこと。

一口に精神薄弱児といっても，魯鈍（知能指数50～75），痴愚（25～50），白痴（25以下）とわけられ，

※日本建築学会中国支部研究報告　昭和35年9月
河合 “精神薄弱児施設の建築計画について”

また発生原因の外因的なものか内因的なものかによって，その行動の特性には大きな差異があり，まったくことなった人間像をもっている。

（2）精神薄弱児施設のみならず，一般に児童収容施設の運営方式に，家庭舎制（小寮舎制）と寄宿舎制（大寮舎制）の2つがあり，その長短得失について明白な結論がでていない。

米国では数千人を収容する大きな施設の弊害が論じられ，コテージシステムが提唱されているが，コテージといってもわが国で大寮舎といわれているていどのもののようである。したがって問題は別であって，わが国の現状では寄宿舎的ないし病院的形態のものと，家庭的（住宅的）形態のものとが併行して採用されている。

（3）経営管理の能率と児童の生活上のprivacy や nuance の要求とは相互に矛盾しあっている。

これも一般施設に共通した問題であるが，とくに精神薄弱児施設は，知能（のみならず全人格）に致命的なハンディキャップをもった児童を指導し，社会復帰させる目的から，個々の児童の人格形成が大きく問題とされる。管理能率を高めようとすると見通しをよくし，隅角部はできるだけさけなければならないが，そのことは他方において児童の生活上の privacy を侵害し，また，括一的，幾何学的な平面構成は ともすれば nuance を失ない，Hospitalism の一因となるわけである。

以上のような問題点を考慮して設計したのであるが，3ヵ年の経験を通じての所見を2〜3のべてみたい。

旭川学園は，比較的高知能，高年令の児童を対象として職業指導に重点をおいたため，設計上とくに低知能児あるいは異常行動児については考慮しなかった。しかしながら実際には大体**第1表**ていどの構成となっており，低知能児や，異常行動をもった児童が相当数入園している。したがって精神薄弱児施設の設計にあたっては，かなり長期にわたっての対象児の構成の見通しを考え，さらに，また対象の変化に対応する弾力性のある計画が必要であろう。

第1表　旭川学園在園児年令　IQ分布（昭35.2.29現在）

年令＼IQ	30以下	31〜40	41〜50	51〜60	51〜70	71〜80	81以上	計
12	—	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	3	—	—	—	—	3
14	—	1	1	2	1	—	1	6
15	1	2	5	3	1	3	1	16
16	3	7	9	8	8	3	—	38
17	3	4	4	7	3	3	—	24
18	3	—	4	1	2	2	1	13
19	—	1	1	—	—	—	—	2
計	10	15	27	21	15	11	3	102

寮舎形態としては，大寮舎と小寮舎を併行して採用した。私見であるが，入園初期，中期の基礎的訓練は大寮舎で行ない，就職，社会復帰の準備の時期になって家庭舎に移り，家庭的生活様式への適応を図るのがよいのではないかと思われる。

つぎに旭川学園は，比較的高年令児を取り扱うため，とくに管理能率と児童の生活の privacy との調整に苦心した。現実の解決法は決してよいとは思わないが，大勢の通行する廊下に直接して，一重の壁を境に居室を併列した大寮舎においても，中庭に面して各室に属する前庭を作ったことは居室の生活空間の心理的拡大と同時に，生活上の nuance を生みだすうえに有効であった。

◇ 旭川乳児院

乳児院の本質は保育である。この場合，身体的のみでなく，精神的，社会的に健康な発達がともなわなければならない。旭川乳児院の設計にあたってとくに留意した点はつぎのとおりである。

（1）観　　察

限られた職員で保育能率をあげるため，看護婦詰所を中心として，寝室，ほふく室，観察室はできうるかぎり見通しをよくした。とくに0才児の寝室は，調乳室からも，みわたせるようにした。

（2）環　　境

温度保持のため二重窓とし，夏季の換気のため床に換気孔を設けた。しかし全体としてコムパクトな設計のため，通風が不十分となり，扇風機をとりつけた。照明は天井灯以外に夜間の間接照明を用意し，色彩はクリーム色の淡暖色とし，小病室は緑系統とした。なお壁画のためのスペースを用意した。

（3）訓　　練

排泄訓練のために，小型便器を特別に考案した。また小型のストールを設備した。

（4）清　　潔

調乳室，洗濯室，沐浴室，便所などはとくに高度な清潔さを要求されるため，水洗，換気に注意した。

（5）事故防止

ベッドや柵の構造は専門医によって特別に考案されたが，大気に対する配慮，スイッチ，コンセントの位置，災害時の避難などについてとくに留意した。

（筆者　旭川荘　学園職業指導課長）

肢体不自由児施設について

柏木大治
横山三郎



のじぎく園病棟内風景：廊下は広く明るい。中央にある看護婦詰所からガラス越しに病室が見通せる。

（1）肢体不自由児施設とは

わが国において肢体不自由児や身体障害者にたいする社会一般の関心がもたれてきたのは，ここ十数年来のことである。戦後児童福祉法や身体障害者福祉法の制定によって，肢体不自由児施設，身体障害者更生指導所が漸次設立せられつつあることはまことに喜ばしいことであるが，まずしい現在日本の経済事情から，かならずしも理想的なものとはいいがたい。

肢体不自由児施設は満18才までの手足の不自由な子供のために設立せられるもので，教育を主としたものに養護学校（級），治療を主としたものに療育施設がある。前者は純然たる特殊な学校で，古くからある東京都立光明学校は別として，神戸市立友生小学校，ほか数校がわずか数年前に設立せられたていどで，ようやく各都市府県などに設立せられる運びにいたった現況である。後者は特殊小児病院ともいうべきもので，これに学校が付随した施設である。

すなわち長期にわたり治療（主として整形外科的治療）を要する満18才以下の子供を収容し，専門の治療を授けるかたわら，失われた機能を回復するための訓練や生活指導をあたえ，学童に対しては併設した学校で教育できれば職業補導（基礎的教育）をほどこす目的で作られたものである。

肢体不自由児はその病気の性質上，ともすれば家庭の片隅におきわすれられ，将来社会人として活動しうるよい素質をもった子供でさえ，性格はゆがめられ，反社会的に成人する危険が多分にある。このような人たちにこそ，早くより，愛情のある教育と団体訓練を通じて将来社会人として，立派に生活しうる希望を与えてやる必要がある。この意味からも肢体不自由児施設は需要で福祉国家には不可欠のものである。

この目的にそうためには施設を建設する場合，環境，建築などに特別の配慮がなされる必要がある。

現在わが国では44施設で完成せられ，3,350のベッドが保有されるにいたったが，全国の不自由児の数からみればまだまだ不足である。

肢体不自由児の実数は全国で40万を越すといわれ，当分は年々増加する傾向があり，兵庫県だけでも380万の人口中約2万人，そのうち治療を必要とするものは5,000人以上に達するとみられるが，残念ながらいまだに確実な数字をつかみえぬのが実状である。

（2） 療育施設について

わが国で前述の目的で作られたものを療育施設といい，ドイツではすでに50年以上も昔よりクリュッペルハイム（Krueppelheim）として立派なものが建設せられている。英，米その他の国では，多くは小児病院がこの役割をなし（Hospital for Crippeled Children, Hospital school for Crippled Children などと呼ばれる），なかには特殊な疾患の子供だけを集めた病院もある。たとえば脳性小児麻痺（これは出産時の脳出血などが原因で知能の発育が障害せられるとともに，手足も不自由になる）だけの病院あるいは先天性奇型だけを集めた病院などである。

アメリカではシュライナー系病院(Schreiner's Hospital)が14ヵ所あってこれが肢体不自由児の治療および教育に大きな貢献をしている。この病院はシュライナー・クラブ（わが国にもたくさんあるロータリー・クラブ，ライオンズ・クラブなどと同じような，社会に奉仕する目的で作られ，多方面に活動している団体）が経営しているもので，ほかにカナダ，メキシコにもあるが，来年度は沖縄にも建設せられる予定になっている。

療育施設の環境は重要で，できうれば都塵を離れ，閑静で，広々とした土地が望ましく，建物も明るく設計せられなければならない。

施設の構成は病院（病室，手術室，その他一般病院と同様），訓練室（器械体操，物理療法室，プールなど），学校，職能訓練室（工作室など）および管理室（事務その他）などにわかれ，訓練に必要な運動場が付属することが望ましい。

各建物の内部は手足の不自由な子供の日常生活のため

に細心の注意を払って作らねばならない。とくに松葉杖や歩行椅子を使用する子供のために廊下や階段には工夫をしなければならない。できうれば平屋建がよい。

筆者は約10ヵ月にわたり欧米の多くの施設を視察する機会を得たが，英国の多くの施設は遠く都心を離れて広大な土地を有し，建物は平屋建で質素ではあるが，堅牢なものが多く，病室よりベッドのまま屋外にでて日光浴ができるように設計せられている。

職能訓練室の設備もよく，工作器械などの設備はあたかも小さな工場の感じのものが多く，なかには女子のために将来美容師になるための訓練室まで設けられているところすらある。

また北欧（スエーデン，デンマーク，フインランド）の施設では病院の建物内に立派な職業学校が併設せられ，例えばヘルシンキ（フインランド）の施設（Invalid Foundation）では成人をも含めて300人も教育している。しかもここに働いてる人々は大部分が身体障害者である。ヘルシンキには世界的に有名な子供の城（Children's Castle）という施設があり，なかには看護学校もあるが，これはあまりにも建築にこりすぎた感がせぬでもない。

いずれにしても著者のみた欧米12ヵ国におけるこの方面の施設は，すでに相当の歴史を有し国家，諸種の団体や個人の力強い経済的ならびに精神的援助により，理想に近い設備を有し，着々と実績をあげているのをみて，羨望を禁じえなかったのは筆者のみではなかろうと考えている。

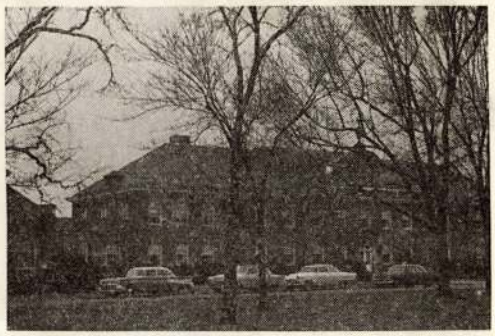
（3）兵庫県立 "のじぎく園" —(別掲紹介記事参照)—

兵庫県立"のじぎく園"（のじぎく園なる名称は兵庫県花である野路菊からとったものである）は半額の国庫補助をうけて建設せられた県立，県営の施設で昭和33年11月7日に開園した。ひきつづき神戸市の援助を受け50床分の増設をして現在では120名を収容している療育施設である。この種の社会福祉施設の建設にあたっては厚生省が担当し，国庫補助の半額で残りの半額はその府県が支出して建築することになっている。のじぎく園の設立に要した建築費および設備費は約7,000万円である。

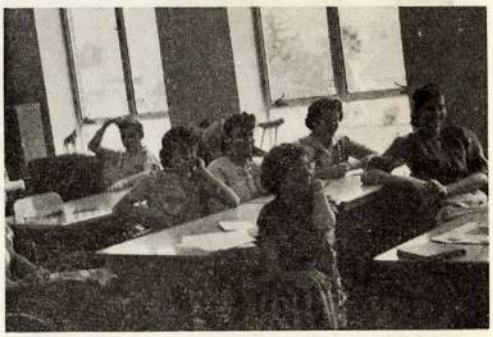
筆者らは，この施設の建設準備のため長期間にわたり，多くの条件を満すにたる理想地をさがし求め，結局神戸市の北西部で三木市との境界部にあたる広野高原に決定した。はるかに南方に淡路島を望め，うぐいす鳴，青葉，紅葉の美しい閑静なこの土地は日本の施設中，もっとも理想に近い環境であると考えている。

約100,000m²の広大な敷地に前述の如き施設に必要な病院，訓練棟，学校，サービス棟など約2,700m²の建物があり，屋外訓練の目的にプール，および約9,000m²の運動場がある。

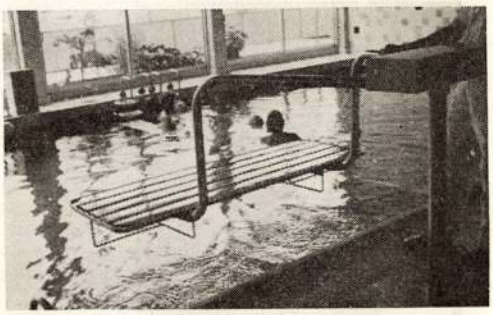
また現在この建物の敷地に隣接して，将来養護学校を



シカゴにある Schreiner's Hospital（U.S.A）。公園のなかにあつて庭の木ではリスが遊んでいる。



Schreiner's Hospital 内の学校。サンフランシスコにて（U.S.A）



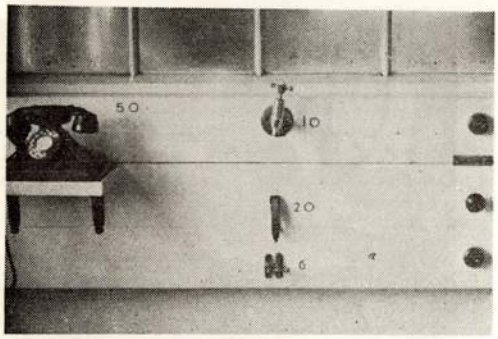
小児整形外科病院の訓練室プール。
ロスアンゼルスにて（U.S.A）



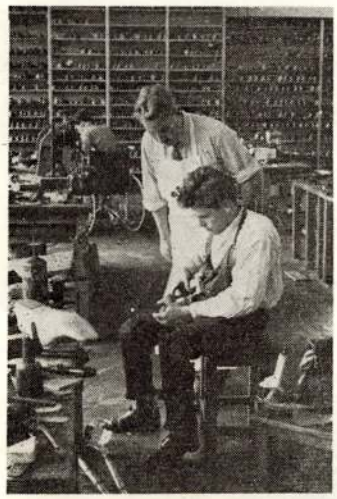
脳性小児麻痺病院の訓練室にて
この子供は1人で立つことができない。
ガルベストン（テキサス，U.S.A）



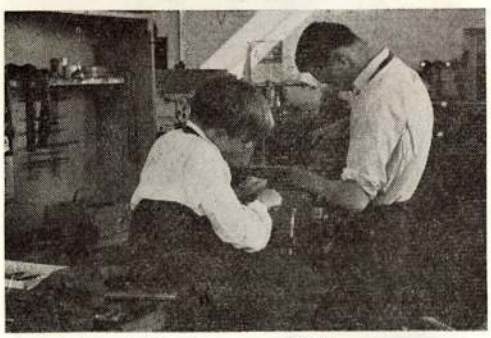
訓練室風景：欧米の大病院ではこの種の設備のある訓練室が必ず設置されている。



手の不自由な子供に用いる手の訓練用具。水道の栓，電気のスイッチ，電話など。ロンドン近郊にて（英国）



肢体不自由児学校 Lord Mayor Treloars College (Alton) にて。靴工としての訓練場（英国）
この施設は1908年設立せられ，全部寄宿舎に入り，11～16才までは教育のみ，16～18才まで職業補導教育をする。1人年額375ポンドは地方政府より支出され，施設の維持は同名の Trust Fund による。



同上，工作，ラジオ，TV科

設立するための整地を急いでいる。養護学校は寄宿舎，職業補導教育に重点をおく設備を完備したいと考えている。この施設の建築物は，病棟のみは鉄筋とし，ほかはすべて木造モルタル式である。建物の坪あたり単価は，きわめて安くお粗末であることは，予算の関係上やむを得ないところである，このような施設こそ堅牢で，半永久的な鉄筋コンクリート建てとし，全館暖房はもちろんのこと，できうれば将来なににでも転用しうる数個の空室を作るぐらいの余裕はほしいところである。従来の考え方からみれば，福祉施設と名のつくものは，いずれも陰気くさいという印象をうけるが，このような施設こそ明朗かつ清潔であるべきで，福祉国家とはかくのごときものに多額の費用がかかるのは当然であることを為政者は考えてほしいものである。

感じやすい子供のために屋内の色彩，装飾や看護婦の被服なども，従来ありきたりの病院の慣習を破り改め，子供たちに病院のふんいきを忘れさせ，その上，常時静かなたのしい音楽をマイクを通じて聞かせるだけの環境を作りたい考えであったが，乏しい予算のためにこのような理想が実現できなかったことをまことに残念に思っている。それにもかかわらず，手足の不自由な不幸な子供たちもここでは忘れていた笑いをとりもどし，明るく療養と勉強にいそしんでいることは，われわれにとってせめてもの慰めである。

（4）おわりに

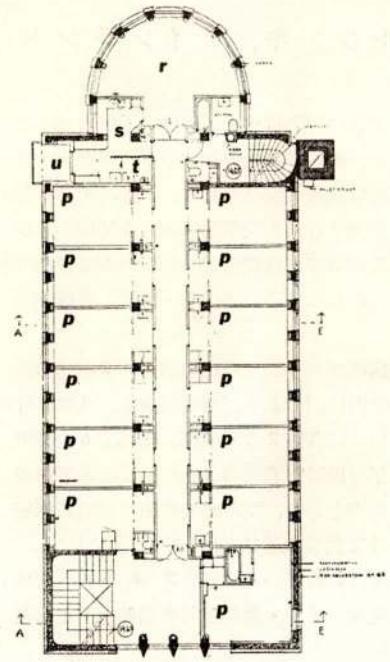
筆者らは，肢体不自由児施設の概略を記し，あわせて兵庫県立“のじぎく園”の模様を紹介した。結核が化学療法によって克服せられ，かって満床をつづけた結核療養所も徐々に用途の変更を余儀なくされ，ポリオ（脊髄性小児麻痺）もワクチンの発見によって減少しつつある時代となったが，わが国ではいま急激に肢体不自由児が減少するとは考えられず，こんご，なお施設の増設が必要である。現存する施設に入院できる子供は幸運であるが，これにすら入院できない多くの子供たちを思うときわれわれはつぎつぎへと立派な理想的な施設のできることをねがうものである。

しかし，筆者らがなお頭をなやます問題は，18才以後この子供たちはどのように社会にとけこんでゆくか？18才以上で重症なものはこの施設をでて，どこにゆくべきか？などである。現在わが国ではこのように18才以下に対する施設は一応不完全といいながら作られたが，18才以上の身体不自由者に対してほとんど考慮がはらわれていない実情である。筆者らのこの拙文がわれわれと職業を異にする本誌読者の諸兄にいくぶんなりとも参考になり，この方面の仕事を理解ご援助いただけるなら望外の喜びである。

（筆者　柏木：神戸医科大学整形外科教授　兵庫県立“のじぎく”園長　横山：同医員）

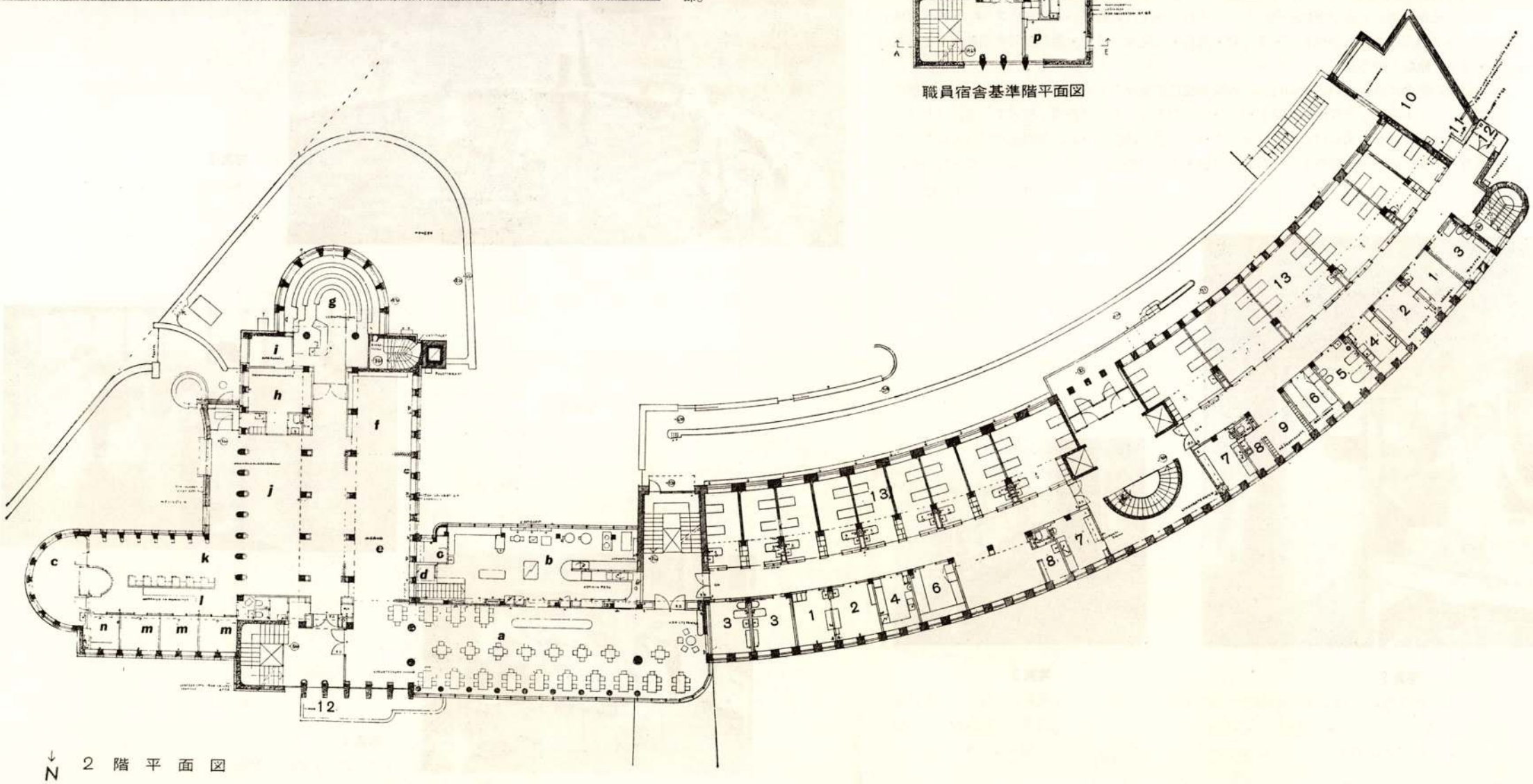


＜写真１＞
右方のカーブした４階建は小児の病棟。左方の12階建は看護学生と職員のための宿舎。その中央の２階建は管理部門，左端の翼は児童健康相談部。

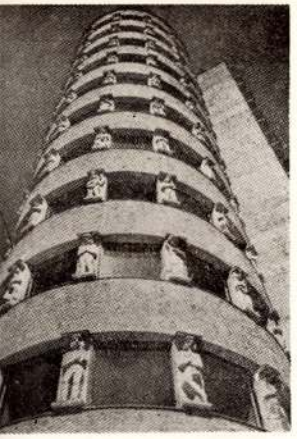


職員宿舎基準階平面図

1. 医師室
2. 婦長室
3. 隔離室
4. 配膳室
5. 浴室
6. 器材庫
7. 洗濯室
8. 看護婦更衣室
9. 小児用ロッカー
10. プレイルーム
11. 玩具置場
12. バルコニー
13. 病室
a. 職員食堂
b. 調理場
c. Hostess
d. 冷蔵庫
e. ロビー
f. 図書室
g. 教室
h. 隔離患者待合室
i. 教材庫
j. 児童健康相談部の玄関
k. 待合室
l. 身長体重測定室
m. 健康相談婦
n. 検査室
o. 医師相談室
p. 居室
r. 娯楽室
s. 調理室
t. アイロン室
u. バルコニー



↓N 2階平面図



子供の病院 — ヘルシンキ，フインランド

この建物は正確には病院ではない。英文の紹介によれば Children's Castle（子供の城）となっている。第1の目的は，とくに弱い児童，虚弱児，絶えず観察の必要な子，慢性病または生来の欠陥を持つ小児，社会的な理由その他で必要な処置の受けられない児童，未熟児などを収容することである。フインランド中から患者が集まり，入院期間は2，3週間から数カ月という。このほか第2の目的として小児専門の看護婦の養成機関とすることおよび小児看護についての広範な啓蒙センターとすることがうたわれている。学生数135人，養成期間20カ月。

建物は図および写真1でみられるように，4階建の病棟ブロック，塔状の宿舎，2階建の管理・健康相談ブロックから成る。病棟ブロックの基準階は図のように南側に病室，北側に付属諸室，西端にプレイルームを配した平面をとっている。各階2看護単位，全部で6看護単位で，総計150人を収容する。乳児から学童に至る年令段階と看護のタイプとによって患者を各看護単位に分けている。設計上特に注意を払った点として，院内感染を防ぐために病室への出入口を閉鎖的にとり扱い特殊な棚をつくりつけて食事の運び入れを行なうようにしたこと，児童に楽しい遊び空間を用意したことなどが挙げられている（写真2，4，5）。病棟ブロック内にはこのほか検査室・X線室・歯科・母乳センター・教育実習用調理室・洗濯室・リネン庫などがある。

塔状の宿舎には各人のへやのほかに各階端部に娯楽室がある。病棟と宿舎をつなぐ低層のブロックの1階には管理関係の諸室・薬局・会計があり，2階は食堂になっている。また塔状ブロックとそこから東にはりだした翼の1階は子供と職員のための体育館やプールになっており，2階は隔離室や検査室をそなえた児童・妊婦の健康相談センターなどになっている。

（栗原嘉一郎）—資料は柏木大治氏提供—

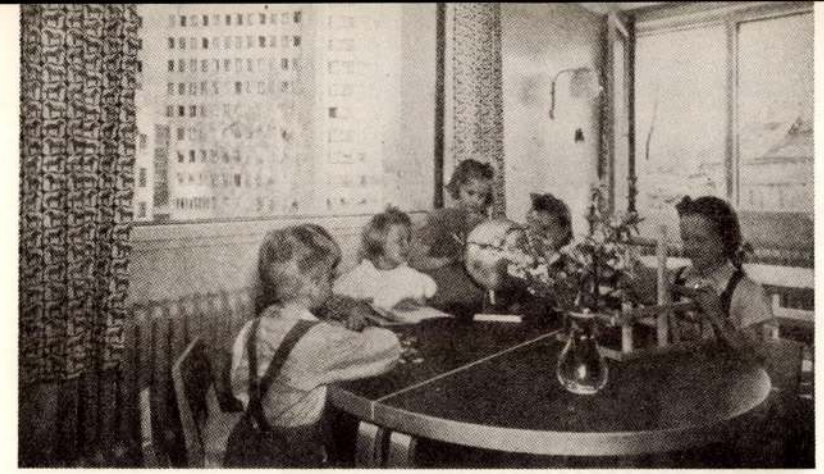


＜写真2＞
病棟の廊下。感染予防の見地から食事はつくりつけの戸棚を通して病室内に入れられる。

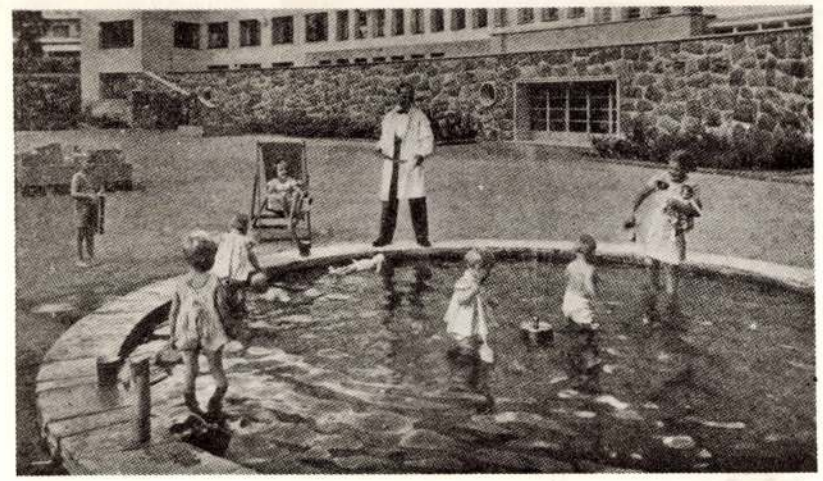


＜写真3＞
小児用の階段として普通の階段の一部を段板で更に細かく割っている。

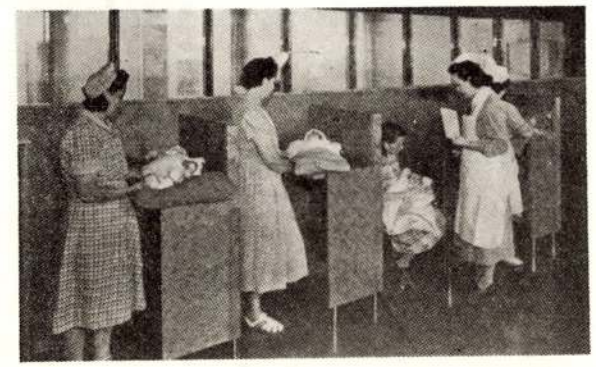
子供の城



＜写真4＞
病棟端部に位置するプレイルーム。



＜写真5＞
病棟の南庭に設けられたプール。



＜写真6＞
児童健康相談部の待合室。1組の母子に1つのボックスを与えた親切な設計。



＜写真7＞
学生に対する調乳実習室。

欧州の保育所視察記

西田誠行

欧米視察旅行中，イスラエル，ドイツ，スイス，スエーデン，フランス，イギリス，アメリカの7ヵ国の児童福祉施設をみてまわったが，その種類は，児童相談所，養護施設，保育所，乳児院，児童遊園，教護院などである。ここでは，そのうち，日本でもっとも数の多い保育所について，スエーデン，フランス，イギリスについてのべてみよう。なお私が視察した保育所は，上記の3ヵ国のストックホルム，パリー，ロンドンの公立保育所である。

どの国も戦後，子供が増え，共稼ぎの家庭が増加するにつれて，保育所の要望は高まっている。同時に入所年令も次第に低下し，いまでは6ヵ月ぐらいの赤ん坊もどんどん入所するようになっている。最近まで，北欧3国では，乳児は集団保育に適しないから，入所させるべきでないという議論が強かったが，10年ぐらい前から，母性の労働戦線参加という一般的風潮に抗しきれず乳児保育へと踏みきるにいたっている。フランスでも保育所の不足がさけばれ，また乳児保育が普遍化してきている。と同時に保育所のもついろいろな問題点がクローズアップされてきた。保育所の機能がかならずしも母親の需要と一致していないこと，乳児保育がいろいろな難点をもつことなどである。母親の労働時間と保育時間が一致しないこと，長時間保育の弊害をどのように除去するかなどが重大な問題となってきた。この問題を解決するひとつの方法として，スエーデンでは，家庭保育という形をとって，保育所と2本立にしている。家庭保育とは，民間のボランティーヤの私宅に数名の乳幼児を預かってもらう制度で，公共団体がそのあっせん，監督を行なうのである。この制度をはじめたのは，アメリカであるが，いまでは欧州にも普及し，スエーデンなどもおおいに力を入れている。この制度は，集団保育に適しない子供（乳児とか，過度の神経症の子供，病弱の子供など）の保育には適当である。さらに家庭と家庭の話しあいで，母の労働時間と保育時間を一致させることができる，建築費が不要である，必要な地域に自由に開設できるなどの多くの長所がある。ストックホルムでは，保育児童5,400人のうち，900人が家庭保育で預けられている。もちろん家庭保育が，保育所にとってかわるというのでなく，両者は車の車輪のごとく，たがいに長所短所を補足しあって，こんご進展して行くものと考えられている。大阪市でも昨年から，全国にさきがけて，この制度をはじめ，100人ていどが家庭に預けられているが，全保育児童8,000人からみると，まだ微々たるものであるが，こんご増加していくものと思われる。以下保育所について項目別にその概要をのべていこう。

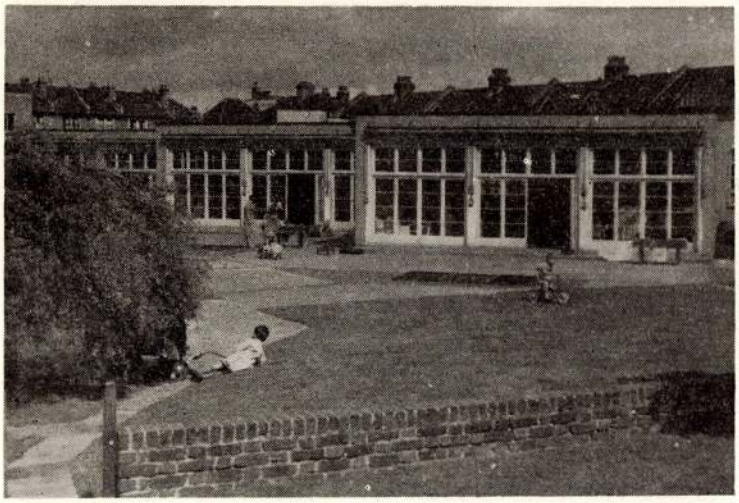
1. 保育所の入所年令

スエーデンでは，満6ヵ月から7才，フランスでは満2ヵ月から3才まで，イギリスでは赤ん坊から5才までである。幼稚園の入所年令は，スエーデン4〜7才，イギリス3〜5才，フランス3才以上であるから，保育所の入所年令は，幼稚園よりはるかに低い。このように保育所といえば，かならず赤ん坊が入っており，ベッドが付設してあるので，一見すると，日本の乳児院（満2才までの児童を収容する施設）に近い。とくに欧州の保育所は，昼間だけでなく，長期保育（例えば1週間）も行なっているので，なおさらそんな印象をうける。日本の保育所では，赤ん坊を預っているのは少なく，保育時間も短かいので，むしろ欧州の幼稚園に近い。

2. 建物と遊び場

保育所は平家が多いが，ストックホルム市立のものでは，二階建もある。年長児の保育室は2階，乳児室は1階である。地下室をつくっている保育所もあるが，その場合地下室は，洗濯室，物置，乳母車置場などになっている。建坪は，日本よりはるかに大きい。日本では，60人収容で60〜100坪ぐらいのが多いが，欧州ではこの2〜3倍が通常である。日本では，保育室が建物の大部分で，その他の室の建坪はごくわずかであるが，欧州では，食堂調理室，洗濯室および乾そう室，更衣室，倉庫などが充実しているからである。

建築費は，ストックホルム市立では，42人収容の保育所で，2,800万円（1人あたり70万円）が基準であるが，日本では60人収容で，60〜100坪で300〜500万円ていどであるから，建坪の差，鉄筋と木造の差，物価の差などを考えに入れても建築内容は段違いである。ただし同市でも，この種の鉄筋の本格的保育所は経費が高すぎること，保育所の要求は，近隣の家族構成の変化などによって左右され，永久的な鉄筋建物はかならずしも必要でないというので，木造の組立式簡易保育所もつくっている。この建築費は，1,200万円ていどである。また一方集団住宅の一部を利用した簡易保育所も増加している。



カルゾン・クレセント保育所

塀は，高塀式のものはなく，たいていは，コンクリートの基礎の鉄鋼式である。

遊び場は，日本では，1人あたり1坪以上と定められているので，100～300坪ぐらいのものが多いが，欧州では，500～1,000坪ぐらいのものが多い。遊び場はたいてい芝生か，草でカバーしてあり，土がむき出しになっているところは少ない，欧州では，住宅でもオフィスでも芝生が敷きつめてあるから，珍らしいことではないが，日本でも保育所や幼稚園だけはぜひそうしたいものである。

3．部　　屋

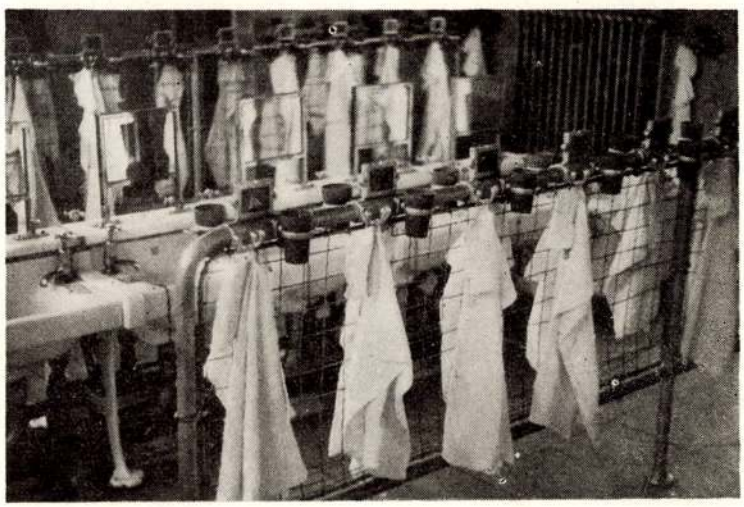
保育所は通常，保育室（年令別にクラスが3～5あるが，その数だけ保育室がある），食堂調理室，便所洗面場，衣類更衣室，洗濯乾そう室，倉庫，乳母車置場（母親の送迎用），事務室などである。パリー市では，観察室をもっているが，保育室の様子を隣室から観察しうるようにし，保育室からはみえないように特殊のガラスをはめこんでいる室である。日本では，児童相談所などで活用されているが保育所ではほとんどない。

保育室は，年令別のクラス数に応じて3～5室あるが，そのクラスのわけ方は，スエーデンでは，54人収容の標準保育所で，6ヵ月～1才ていど，1～2才，2～3才，3～5才，5～7才の5クラス（ただし定員の少ないところは2～4クラス），イギリス，フランスでは2～4クラスである。たとえば，乳児クラス，1～2才，2～3才，3才以上というところが多い。

乳児（1才未満）の保育室は，ベッドを定員数だけおいているので，日本の乳児院と同じような型態をとっている。乳児室のベッドは，たいてい固定式であるが，1才以上のクラスのものは，壁にとりつけ，必要なときだけベッドか，折畳式にして不用なときは，片づけられるようにしている。保育室はもちろん南向きで日光が十分入るように設計されている。（写真参照，ロンドン市立）

床は，木のままのところもあるが普通合成樹脂の床敷がはってある。パリー市立では，保育室をゴム敷にしているが，ころんでもけがをしないし，理想的でうらやましい。衣類更衣室は，子供たちが朝登所するとそこで備えつけの外衣，エプロンなどと着替えるが，各人別のロッカーがある。洗濯室には大型の洗濯機がおいてあり，雪遊び，泥遊びなどで着衣がよごれると，洗濯機で洗濯し乾そう機ですぐ帰りまでにかわかすようにしている。乾そう機の値段は10万円ていどとのこと。日本でもぜひほしいものである。食堂は，保育室を兼用にしているところが多いが，廊下などの広間を利用している場合もある。調理室は，完全給食であるから，一切の調理設備が完備しており，日本のものとは段違いに美しい。

保育室の壁の色は，空色，オレンジ系統のものが多い。ロンドンの保育所では，4クラスを色別し，ピンク，ブルー，グリーン，オレンジ色で，調度品，エプロン，毛布，手拭い，コップなどすべてクラス別に統一しているところもある。自由遊びのときなどは，4色の子供がいり混ってみた目にはまことに美しい。



各人別のコップ，タオルをとりつけた洗面所

洗面場と便所は，保育室の一隅か，または近くに設けられてある。便器は，例の陶器製の馬てい型のものであるが，前の戸は設けられていない。洗面場には，各人別のコップ，タオルなど備えつけられているが，カガミもつけているところが多い。（写真参照，ロンドン市立）

乳児室には，浴用バスが備えつけられ，赤ん坊はたいてい毎日入浴させる。大きい子供は週に数度入浴する。ちょうどパリーの保育所を視察したとき，午後3時の入浴時間で，赤ん坊がつぎつぎと手ぎわよく入浴させられており，一方大きい子供も一列に行儀よく入浴の順番を神妙な顔で待っていた。

テーブルは組合せ式のものが多い。パリーの保育所の椅子は，特別の工夫がしてあり，不用のときかさばらず整理できるようにしている。日本では木製が多いが，欧州では，軽金属製のものが多い。

4. 遊具と玩具

日本のように，スベリ台，ブランコなどの既製の遊具は少ない。なかにはまったくこのような遊具のない保育所もある。比較的に多いのは，ジャングルジム系統のものである。日本で遊具というと，スベリ台，ブランコが代表的なものと考えられ，最低基準でもこれらはぜひ備えるべきものと定められている。彼らの考え方によると別に既製品のこの種の遊具はかならずしも必要でない。ドラムカンでも，木箱でもなんでもよい。子供たちに遊びの素材を与え，彼ら自身がその素材からいろいろな遊びを創造するように指導するほうがよいと考えているからである。日本の場合，素人の経営者が多いから，既製品を備えるのが便利でもあるし，保育所らしい体裁をととのえるのに早道であるからやたらに備えつけるが，専門家とそうでない者との考え方の差異である。砂場は，小さい子供たちに用意されているが，水はけのよいように工夫され，雨の日は覆いをかけるようにしているが，日本でもそうしたいものである。

部屋の四隅をうまく活用している。いろいろな標本，例えば草木や魚の成長の経過を示す標本などがならべられ，保育所全体に四季の草花や，熱帯魚の鉢などで飾りつけをして全体になごやかな美しいふんいきをだしている。

大きい遊具のほかには，三輪車，引き車なども用意されているが，自動車の古タイヤ，土管，ビール樽なども用意されている。天気のよい日は，工作台を屋外にだし，木片で自由に好きなものをつくらせている。室内遊具では，乳児室や2才ぐらいまでの子供の室には回転シーソー，木馬などが備えつけられている。玩具類は，はめ板，ならべ板，球通し，組合せ木，積木などの思考玩具が主で，日本のように自動車，電車などの玩具はあまりみられない。大体この種の玩具類は，日本ほど豊富でない。日本では子供のためになけなしの金をはずんで子供に買い与えるが，欧州では親があまり子供に買ってやらない。日本では，ブリキの電車なら200円ぐらいだが，欧州では1,000円近くもする。欧州ではよく子供が古ぼけたブリキ玩具を大事そうにもっているのをみかけるので不思議に思うが，欧州では，玩具が高く，日本ほど親が甘やかせて買ってやらないからであろう。子供の育て方の差異でもある。

5. 職　　員

日本の保育所と違うところは，保母などの職員が多いことと，看護婦など医療保健関係の専門家を配置していることである。1才未満の赤ん坊を保育する必要上当然のことである。日本でも赤ん坊を保育するためには，ぜひ保母の人員の増加と，看護婦の配置が必要だが，残念ながら保護費が認められないので現状ではやむを得ない。保母など職員の人員は，児童5人に1人がだいたいの標準である。スエーデンでは，定員54人につき，所長1人，保育教師2人，保母4人，調理婦2人，雑役1人，嘱託医1人，その他保母実習見習若干人というのが大体の配置である。看護婦がいない保育所では，所長が看護婦であることが多い。日本では，このくらいの定員であれば，所長一人保母2〜3人，調理婦兼雑役1人，嘱託医1人ぐらいあるから，半数ていどの職員である。

6. 1人あたり経費と保育料

スエーデンでは，1人あたり保育に要する経費は月18,000円ていど，このなかには，中食，間食費などもふくまれている。父兄から徴収する保育料は，収入によってスライドしているが，だいたいの基準は以下のとおりである。

月収	1日の保育料	1ヵ月（25日として）
7万円	140円	3,500円
10万円	350円	8,750円
12万円	460円	11,500円

ただし，家庭の事情によって資産調査のうえで，保育料を1日70円（1ヵ月1,750円）まで減額することができる。パリー市の保育料は，1日40円，70円，110円，140円の4種類で，やはりケースワーカーが収入に応じて保育料を決定する。日本の場合では，1人あたり経費は公立で2,500円ていど，私立で1,000〜1,500円ていどである。保育料は保護費に応じて決められるが1,000円〜1,500円である。1人あたり経費は，欧州の場合，中食が完全給食（日本は副食給食）であること，物価の差異もあるが，日本と比べて格段のサービスの差がある。日本の保育所は，まだまだ世界の一流国にはほど遠い現状にある。

（筆者　大阪市民生局児童課長）

児　童　福　祉　施　設　訪　問　記

島　田　勝　次

岡山旭川荘
高松ひかり整肢学園
神戸のじぎく園
奈良東大寺整肢園

— はじめに —

児童福祉施設のなかでも，児童を長く収容保護する施設は，一般に都心からずっと離れた，閑静な，交通に不便な土地にあり，数も少なく，われわれの目にはあまりふれない。

ちょうど「児童福祉施設特集」を機会に，近畿以西の，比較的最近につくられたこれら二，三の施設を見学し，ハンディキャップをもつ児童の施設生活にじかにふれ，建物の使われ方をみて歩いた。

私が見学した以下の施設は，いずれも，同種の，兵舎を改造したり古い家屋を使ったものなどとはくらべものにならない立派なトップクラスのものであろうが，これらとてもまだまだ予算面・運営面その他で十分完備されたものになっているとはいえないようである。

社会福祉法人　旭　川　荘（岡山市）

急に思い立ってでかけたので，事前通知もできなかった。岡山に着いてからすぐ，岡山県婦人児童課に寄って場所を聞き，電話連絡によって，毎週土曜しか見学できないところをこころよく了承していただいた。そして突然でむいたのにもかかわらず，バスの停留所までわざわざ職員の方が迎えて下さったのには恐縮した。

うわさに聞いていたこの旭川荘は，岡山市の郊外，バスで北へ20分ぐらい行ったところ，旭川の東河畔の，明るくすみきった環境のなかにおとなしく立っている。

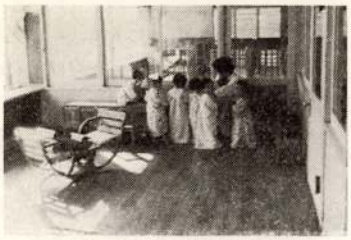
社会福祉法人「旭川荘」の設立は，「世の中には精神薄弱児・肢体不自由児・適当な保護者のない乳児・虚弱児など恵まれない子供たちが多いにもかかわらず，これら子供たちは発言力もなく，組織力も持たず，陽のあたらない谷間に淋しく暮している。長い人生行路に疲れ果てた，たくさんの不幸な老人たちも同様な運命に置かれている。誰かが温い手をさしのべて援助し，指導してやらなければならないことを心にしみて感ずる」という岡山の川崎病院長川崎祐宣氏の暖かい理解と愛情から出発して，総合的な社会福祉センターが計画されたのである。

そして昭和32年4月には肢体不自由児施設，5月には精神薄弱児施設，8月には乳児院が，それぞれ開設され，現在この三つの児童福祉施設と，本館，それに精神薄弱児の職業教育のための木工・ブロック製造・農場施設などが，この旭川沿いの敷地に建設されている。そしてこの敷地内には，第二次計画として老人ホームなどの建設が予定されている。

ここの児童福祉施設の大きな特色は，なによりも総合的な施設であり，総合的な運営形態をとっているということであろう。農業・家畜から得られる産物が各乳児童の食卓にのぼり，木工やブロックがそのまま建築や家具に利用されるという，合理的な自給自足の体制をとっているし，また病院と直結していて，医療その他の処理や設備が完備しているのである。

ここの施設の設計・施工・運営などの紹介は，本号の別稿で紹介されるはずであるから重複を避けるが，建物自体は，本館と乳児院と渡り廊下は木造だし，肢体不自由児施設や精神薄弱児施設は鉄筋コンクリート造だが，コンクリートブロックがふんだんに使われ，コンクリートの外部は打放しで，屋根はコンクリートのコテ押えにアマコート塗りという簡易な方法がもちいられ，各種部材やガラス寸法などの規格を統一し，内部はできるだけ乾式構造を採用し，坪当り4万円以下の建築費の仕上げにはまことに苦労されたようである。

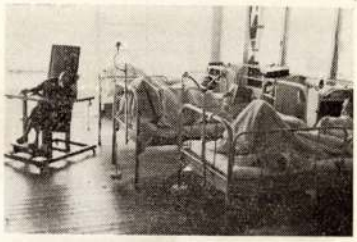
この建築設計は梓建築事務所中国分室で行なわれ，高原一秀氏以下の田部井泰輔氏や河合三郎氏などが担当された。この河合三郎氏は昭和20年東京工大を卒業され，岡山市役所



旭川乳児院：ほ　ふ　く　室



旭川療育園：機能訓練棟内部



旭川療育園：病室内部（ベッド）

を経て，23年から梓建築事務所の中国分室に入所されたが，この旭川荘の建設を機会に昭和31年よりずっとここに住みつかれ，ここの職業指導課長として，精神薄弱児の職業指導などに進んで入って行かれた。児童の手をとり足をとり，励ましたり，しかったり，まことに労の多い仕事に対して，児童愛にあふれて頑張っておられる姿に接することができたが，お会いして頭の下がる思いであった。

旭川乳児院（定員30名）

氏の案内で，乳児院から見学する。本館の東側に，他の施設とは離れた，木造平屋のしょしゃな寄棟である。南側に壁いっぱい開口部がとられ，東の方に1才未満の乳児室，西の方に1才以上の乳児室があり，その真中にほふく室と保母看護婦詰所がとられている。各間仕切はガラスで仕切られ，見通しがよい。太陽の光がさんさんと部屋いっぱい降り注ぎ，まことに明るい健康的な部屋である。1才未満の乳児は各ベッドで眠っていたが，ベッドの上にむっくり立上った一人は人なつこそうな目で愛らしくカメラをみつめていた。1才以上の乳児はほふく室で遊んでいたが近かづくと反対側にいた保母さんの方にかたまって行き，ときどきふり向いて気にしていた。

乳児院に保護される乳児は，両親や保護者がなかったり，精神病や結核などの家庭で，育てることが不適当なものである。ここでは結核家庭の乳児に重点がおかれ，現在24名が収容されている。母親からの感染を防ぐために，生まれてすぐここへ連れてこられたものもいる。入院すると数日間はガラス張りの個室に隔離され，十分検査をうけてから，乳児室に入れられる。

室内は清潔で，赤ん坊の着物や寝具は真白に洗躍されている。これらやオムツなどは，精神薄弱女児によって縫われ，洗われ，アイロンをかけられたものだという。精薄女児も乳児の世話をしているということに喜びを感じているようである。また赤ん坊の飲む牛乳や果汁・野菜汁は精薄男児の農耕収穫のたまものである。自分たちの汗の結晶が役に立っているという自覚と誇りが，それぞれの自信を養っていることであろう。総合施設なればこそなしうる得策である。

ここの乳児はどの子も朗らかにすこやかに育っている。薄幸な星の下に生まれ，母親と遠く離れているという感じがしない。この明るく安定した雰囲気は，職員のかたがたの献身的な努力の成果であろう。

旭川療育園（定員65名）

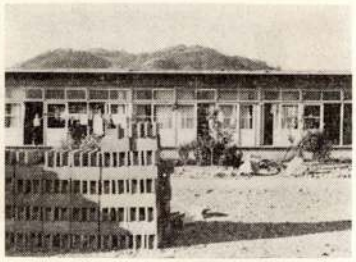
本館の北側には，肢体不自由児を収容する一群の棟を並べた療育園がある。本館の北側から真直ぐに伸びた渡り廊下の両側に，診療棟・サービス棟・病室棟・訓練病室棟・機能訓練棟・食堂棟・学習指導棟が分れている。

子供たちは午後の陽ざしをいっぱいうけて，三三五五自由時間を楽しんでいる。車を押したり足を引きずったりして戸外で遊んでおり，病室のベッドやタタミに寝そべって絵本を読んでおり，教室に入り込んで，はりだされた各自の絵を眺めている。現在63名の児童がここに収容されている。

診療棟は一般の病院と変らない設備を備えている。児童の居室はベッド式の病室棟とタタミ式の訓練病室棟にわかれ，手術前や直後，そして重症者は前者に入れられ，よくなって来ると後者に移る。前者はガラス間仕切で仕切られ，並んだ病室のまんなかに看護婦詰所が設けられている。そしてそこから病室全体に目が行きとどくようになっている。この間仕切にはカーテンがついているが，高年令になるともう少しプライヴァシーがほしいのではないだろうか。棟の真中北側には隅々まで細かく気を配られた便所・洗面・流しが集約されている。開放的であり，その上不潔感をともなっていない。

サービス棟のなかには浴室と小さなプールがある。パイプ手すりが肢の不自由な子供の安全を保つようにつけられている。プールはこの不自由児童の機能訓練のひとつなのだが，子供たちはプールに入ることがひじょうにうれしいらしい。温水のなかでは支えなければならない自分の体が軽くなって，よけいに伸び伸びした開放感をもつものらしい。ちょうど小さな男の子が看護婦さんに助けられて，プールのなかで暴れまわっていた。

機能訓練棟は一つの大きな空間になっている。ロクボク・自転車・階段・マット・ハンドル・歩行調整装置・その他各種の体操器具や遊び道具のようなものが置かれている。これらの器具を使って何度も繰り返し作業をさせるのだそうだ。児童も職



旭川学園：男子居室棟南側



旭川学園の一隅：母　子　像

員も根気のいる涙ぐましい積み重ねなのだ。幼稚園ぐらいの女の子が器具で両足を完全に支えられて，看護婦さんの偶で立っていたが，今のところまったくフニャフニャで，坐っているのがやっとらしい。はにかみ笑いをしていたのが痛々しかった。

この療育園には分校組織の学校が併設され（新しい肢体不自由児施設は大体そうだが），小さな教室が四つ並んでいる。教室の前庭には滑り台やパーゴラや鉄棒が設けられ，芝生が植えられている。このスペースとともに診療棟と訓練棟の間には，ひょうたん型の池に小便小僧が置かれているが，この二つの空間が，石ころでゴロゴロした殺風景な敷地内の，オアシスになっている。

各棟の室内では床は平坦になっているが，戸外は石ころがいっぱい，渡り廊下にはスロープさえある。動線は単純だが曲折している。これらは肢体不自由児の歩行に不親切といえるかもしれぬが，それよりも甘えさせたり，温情主義に流れたりしないで，いつの間にか気のつかぬ間にも歩行訓練がなされ，一日も早く社会に一人立ちできる体にしようとする親心なのである。

旭川学園（定員120名）

療育園の北側の奥まった位置に，「く」の字に折れ曲った長い渡り廊下でつながれた旭川学園がある。精神薄弱児を収容し，職業学習・生活学習・教科学習の三者を通じて一般社会に入って行ける「人間づくり」を目指した施設である。現在 104名の男女精薄児が収容されている。

ここの精薄児は，主として15才から18才の高年令・知能指数50以上の高知能の児童が入園している。

開演以来３年以上の貴重な体験と研究によって指導や運営方法は一応確立し，着々とその教育効果をあげ，もう40名以上の退園児をだし，うち30名近くは社会にでて就職に従事している。

精神薄弱児と一口にいっても，多種多様な性格をもっているので，単純に一括された指導運営形態をとることはできない。ここでは低知能児や性格異常児を別格にして，他を，オリエンテーション•行動上の治療•身辺処理の訓練・身己認識の訓練を行なう，前訓練の第一段階と，適応行動の訓練・人間関係のあり方の訓練・生活習慣確立の，基礎訓練の第二段階，生活環境の自発的整備・自主独立性・一般社会生活様式の適応・獲得行動検証の非指導的訓練などの，社会性訓練と仕上げの第三段階という三つのプロセスを通過することになっており，成績の良否によって各段階への進級や落第が行なわれる。この方式は児童にとっては大きな励みとなっているようである。

第一第二の段階では寮舎へ入り，第三の段階では家庭舎へ移されるが，そこで児童は早く家庭舎に行けるように頑張るのである。

この学園施設としては，南に男子居室寮棟・北に女子居室寮棟・その間に管理棟と食堂棟がある。そして周りには独立した医務静養棟や女子家庭舎がある。またコンクリートブロック製造や木工指導棟がそれら学園施設の南側にあって，でき上ったブロックが積み上げられている。ここから離れた地には園芸・牧畜の作業施設と男子家庭舎がある。居室寮棟の片隅には，岡山大学生の創った母子像が，この旭川荘を象徴するようにポツンとだが，暖かく立っていた。

精薄男児は居室の内外で遊びたわむれ，バケツやホウキをもって掃除に走りまわり，精薄女児は居室のなかで自分の持ち物である小物やぼろぎれをタタミの上にひろげてみせ合っていた。こんな子供たちもあうたびごとに「いらっしゃいませ」とていねいに挨拶され，こちらへくるまで想像していた暗いかげはみあたらず，また思ったより清潔であった。

この精薄児施設は他の肢体不自由児施設などと離れて建っているといっても，渡り廊下でつながっているし，まったく仕切られていないので，他に悪影響がないかと危惧していたのだが，いわれなくてもちゃんと独立して生活して交流もないようである。子供同志，たがいに相手を「チンバ」「バカ」と牽制し合って，自然とうまくいっているようである。

本館の玄関ホールには，精薄女児が手芸でつくった袋や人形が陳列されている。縫い方は粗野だが，なんとなく素朴な愛らしさがある。人形をひとつ求めて土産とした。

× × ×

以上の施設を一順して旭川荘を辞した。外観だけでは昔は河原だったであろう砂礫の上にポツンポツンと建物が軽く建っているだけのものである。環境の整備も十分ではない。しかし一歩中に入って施設の生活にふれると，明るく楽しい，生き生き

とした児童の社会が展開して，その雰囲気に溶け込んでしまう。これはまことに職員の方々のにじみでる努力と，隅々まであふれる暖かい児童愛の結晶であろう。

今後ますます充実して，児童の一大コロニーが完成されることを期待したい。

本号「旭川荘」紹介記事参照のこと。最初の全体計画は現状と大分変っているが，「建築文化」1956年5月号に発表されている。

香川県立　ひかり整肢学園（高松市）

四国の高松，栗林公園の東からずっと南へバスで10分ぐらい入った，広々とひろがる畑の中に，このひかり整肢学園は立っている。その名の示す通り肢体不自由児の児童福祉施設である。昭和34年2月に開設され，6月に完成した。

この施設は鉄筋コンクリートの堂々たる建物で，川添登氏も指摘しているように（「建築文化」1960年2月号，ひかり整肢学園紹介記事），この種の児童福祉施設としては最高のものであろう。横に長くのびた庇・柱ごとにとびだした縦長の二重梁・打放しコンクリート素材の柱や梁などがどっしりとした美しさをだしている。ここへくる前に香川県庁舎にちょっと寄ってきたのだが，そのデザインとの類似性がはっきり現われている。この整肢学園の設計は香川県土木部建築課であるが，日常勤務している丹下健三氏の作品に知らず知らず影響をうけていたのであろうか。ともかく，私がずっとみてきた児童福祉施設のなかで，はっきりと建築デザインを意識させてくれた本格的なものは，この建物ぐらいであった。

東側正面に二階建の本館が建ち，一階に事務・医療・資料・宿直小使の各室がならび，二階に看護婦室・保母室・修養室などがとられている。玄関ホール横には郷土彫刻家による彫像と，郷土力士である琴ケ浜・若三杉の手型が飾られている。

本館の後方には，南北二棟の児童居室がならび，一方はベッド式，他方はタタミ敷きになっている。ともに真中には保母室や看護婦詰所があり，看護の目を行きとどかせている。



ひかり整肢学園：児童居室（タタミ）

棟の真中後方には便所・洗面がやはり集約されていて，居室棟のプランは大体前にのべた岡山旭川荘の療育園に準じている。

児童居室棟の西側には，食堂・炊事・風呂・ボイラー・作業員などの各室をもつサービス棟がある。ただ児童の楽しい食事室への動線が苦しく，また手足の機能訓練に必要な浴槽が狭いのが気になる。

児童居室の東南には，鉄骨のがっちりした渡り廊下で結ばれた機能訓練棟と，併設学校の棟がある。

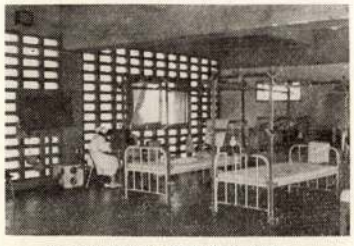
機能訓練棟は，どっしりとおちついた鉄筋コンクリートで形造られ，そのなかには上肢・下肢・体軀のトレーニングをする各種の機器が完備している。この一隅で女の子が看護婦さんをつかまえて，放課後の勉強をしていた。

学校教室棟の裏庭には，児童の手でこねられたモルタル造りの馬がでんと立っていた。たくましく太い四本の脚で大地を踏みしめていたのが，足の悪い子供たちの願いをこめているようで印象的であった。

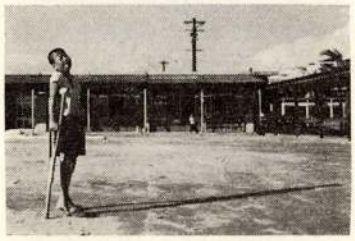
本館裏の中庭は大きな熱帯植物がすわり，気持のよい空間となっている。二つの居室棟の間の細長い中庭は，現在堀り返され，プール造りに



ひかり整肢学園：教室棟裏庭に立つ子供のつくつた馬



ひかり整肢学園：機能訓練室内部



ひかり整肢学園：児童居室棟南側運動場

懸命であった。子供のよきリクリエーションの場所となることであろう。居室棟の前面には後から木製の陽よけがつけられているが，建物と不釣合にきたなく，みくるしかった。これなど，最初から計画に入れられるべきものであろう。敷地の西南は，広々とした運動場がとられている。運動場の片隅で写真をとっていると，「おじさん，なにしてるの？」と松葉杖の男の子が近づいてきた。カメラを向けると，すっかり照れて，上を向いていたずらっぽそうな目で笑った。

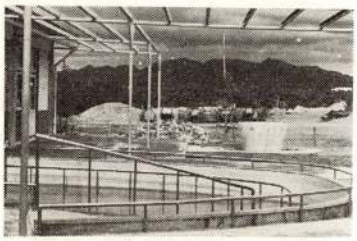
収容人員の定員は 100名で，現在はもう超満員の盛況である。この種の施設の少なさを身にしみて感ずる。

× × ×

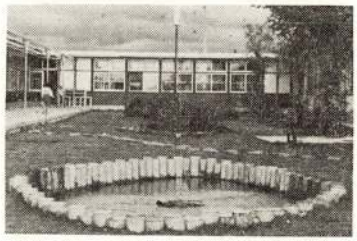
ここの児童の生活は，他と変らない活発さだが，なにかこの立派な格調ある建物に圧倒されて感ずる。コンクリートの地肌の冷やかな固さからであろうか。しかしこのでき上って間のない施設に対するお役所の運営の熱意が，それを動かして，堂々と生きた児童のコミュニティを形成して行くことであろう。

本号「ひかり整肢学園」紹介記事参照のこと。また，この建物については「建築文化」1960年2月号，および平凡社刊「世界建築全集」12巻に紹介されている。

兵庫県立 のじぎく園（神戸市垂水区押部谷）



のじぎく園：自慢のプール（屋外部分）



のじぎく園：病棟間の中庭

当のじぎく園は，高松のひかり整肢学園と同じく，肢体不自由児の整肢施設である。神戸電鉄三木線みどりが丘駅から東へ徒歩約10分，附近には広野ゴルフ場を有する緑したたる高原のすみ渡った空気の中に，くっきりと浮んでいる。天気のよい日にはここから遠く瀬戸内海が望めるという環境に恵まれたところである。

建物は桁行方向にプレコンの柱・梁をもちい，梁間に鉄骨をかけ，屋根はプレコンの版に瓦棒を葺いている。辺地なので，できるだけ乾式にし，施工と経済性が考えられたのである。そしてその構成は本館・二病棟・訓練棟・教育棟・サービス棟にわかれ，その各棟が真中の廊下で串刺のように結ばれた明快な配置をしている。

本館は，入って左側は医療部，右側は事務部に分れ，医療診察側の廊下巾は広くとり，歩行訓練およびベッドや車の交通に十分便利にしている。

病棟は南北二つに分れているが，どちらも同じタイプで，ともにベッド式である。ただ一期工事で建てられた南病棟の経験を生かして，二期工事の北病棟は，部分的な変更をしている。たとえば病室の間仕切をガラスいっぱいにしないで，上下に物入れをつくって部屋をおちつかせたり，また，大病室はどうもプライヴァシーに欠け，長期間の児童生活には望ましくないので，適当にガラススクリーンで区切ったりしている。

ここの病棟のプランの大きな特色は，食堂を他にとらずに，病室を北側にして，南側に大きなサンルームをとり，そこで児童の食事がなされるようにしたことである。そこは食事の他に遊び・面会・通路などオールパーパスのスペースとして有効に利用される。他の施設にはない，変った面白いアイデアである。現在そのなかに一列に長く机と椅子が置かれている。そこで一斉に食事をするさまは，なかなか壮観であった。各病棟の真中あたりには，看護婦詰所と便所がとられている。その便所の細部はよく考えられているが，床面が一段下り，下足のはきかえが必要なのは，足の悪い児童にはいただけない。

手術前や直後の児童は，南病棟に収容され，処置後は居室棟といえる北病棟に移る。年令別によって病室を分けず，姉妹・兄弟的なふんいきをつくるようにこころがけている。

教育棟は五つの教室と職員室・職能訓練室と称するクラブ室が設けられている。教室は他の施設と同じように15人ぐらいづつの小部屋になっており，後ろの掲示板には墨くろぐろと元気に書かれた「赤とんぼ」の習字がはられ，二，三の女の子が教室備付け図書を選んでいた。職能訓練室では10人ぐらいで活発な自治会を開いていた。

サービス棟には，ボイラー・電気・工作・洗濯・炊事の各室が配置され，スムーズな動線と衛生的処理がうまく行っている。真中のサービスヤードも十分活用されている。この棟に昨冬ボイラーが設置され，全館暖房が一応完備した。

訓練棟には機能訓練室・プール・浴室がある。機能訓練室には，他施設に準じた手足の機能訓練設備が備えられているが，まだまだ不足だという。この部屋の狭いことも苦しいようだ。浴室には，子供の夢を盛り込んだモザイクタイル貼りの絵が壁面をなしている。棟の真中にあるプールは，どこにもないような広さ

の立派なものであり，のじぎく園の第一の自慢の種である。この大きな壁面は未完成で，楽しい空間を創るものが求められている。プールは屋内から屋外にのびているが，内外は分離している。最初の計画では実際につながった形のものを目指していたが，運営管理と技術の面から不可能となった。パイプ手すりとスロープに誘導されて，子供たちはいつもこの中で大はしゃぎして暴れまわっていることだろう。奈良の東大寺整肢園を訪ねたとき，そこの指導員はこののじぎく園のプールを全くうらやましがっていた。ここのプールは，この種の他の施設の人々の羨望の的であるようだ。

こののじぎく園は，昭和33年10月に開園され，定床50名でスタートしたが二期工事が完成して，110名が定員になっている。現在もう満員でこれ以上児童を収容できないが，入園希望が後を絶たず，申込者が何十名も一応リストに上っているという。関係者はぜひもっと規模を大きくさせたいようだ。規模の拡張といえば，機能訓練室・学校教室・洗濯場などの狭さは絶対的のようだ。

のじぎく園の設計は，全体計画と一期工事は兵庫県建築課で行ない，二期は神戸市営繕課がひきついでいる。しかし全体としてみると，全く同一設計者でなされたようで，巧みな継続協同であった。児童施設らしく豊かな色彩を使って，明朗な建物にしている。その色もどぎつくなくおちついている。正面の玄関は斜めにとびだしている。その庇が錯覚を起して水平にみえないのが，正面であるだけに，よけいにデザインとしては気になる。

敷地の南側では，道路をへだてて今盛んに谷を埋めて整地が行なわれている。近く約3000坪の屋外訓練場が完成することになり，拡張される道路とともに実地の社会訓練として大きな意味をもってくるだろう。

× × ×

この建物の周囲，各棟にはさまれた中庭には，草花が赤や白の花をつけ，噴水があり青々とした芝生が敷きつめられている。建物の管理運営にも大きなエネルギーを注ぎ，2年経た今日でも全く設計意図に反した使われかたがされていない。というより，むしろ施設を，そして大きくは環境を盛り立てることに懸命の努力が払われている。ここの事務長さんがもと兵庫県住宅課に勤務されておられたので，よけいに建築に対する理解も高いのだろう。一般に建物はでき上ってしまうと，そのアフターケヤーに意を注ぐことを忘れがちだが，ここでは運営予算の獲得にほうぼうまめに足を運ばれ，児童愛の裏付けを着々と実行されている。

また，この敷地に施設を建設するときから，神戸電鉄の援助もあずかって力があったようである。この敷地も神戸電鉄の軟式野球場であったものを提供され，水道や電車駅などにも各種の便宜をはかられた。

これら関係者のかたがたの努力や協力が幸運な実を結び，児童の絶好の楽園が築かれたのである。

この設計者の一人は，「肢体不自由だからといって全く甘やかし，温室育ちのものにすることはよくない。ある程度は凹凸のある積極性が必要だ」と語っていたが，この施設を他の施設とくらべると，どうも児童に対する甘さが大分勝っているように思える。このあたり，設計者の児童に対する暖かい思いやりが無意識のうちにでているのではなかろうか。

本号「のじぎく園」紹介記事参照のこと。

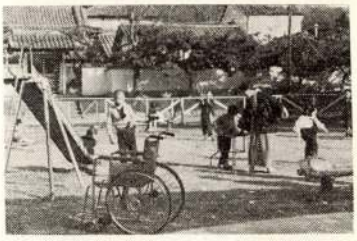
社会福祉法人　東大寺整肢園（奈良市）

有名な奈良の東大寺が経営する東大寺整肢園は，南大門をくぐってすぐ左の小路を入って200mぐらい行ったところにある。大仏さんへ行く道は観光客でごったがえしているが，ここまでちょっと入ると北に西塔跡・南に依水園をひかえた閑静な環境になる。

光明皇后が施薬院・悲田院を設けて，孤児・貧民・病者に救済慈善をほどこされたという故事にならって，東大寺にこの整肢園は設立されたのである。前述のひかり整肢学園やのじぎく園と同様に，肢体不自由児の収容施設である。

昭和30年7月に開園され，現在収容定員103名で，102名で入園している。この種の新しい施設としては先駆的な役割を果し，いろいろその後のこの種施設の参考対象になったようである。

北から入って西側に本館，南側に二病棟・教室や機能訓練・風呂や食堂炊事のサービス棟が並んでいる。北側の門の前庭は芝生が植えられ，ブランコや滑り台・パーゴラガ点在し，子供たちのうれしい戸外の遊び場になっている。

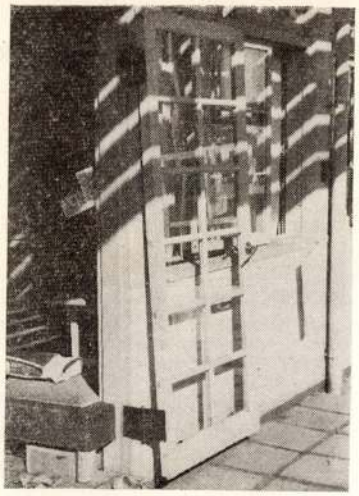


東大寺整肢園：広場ではしやいでいる子供たち

本館は二階建，他は平屋で，すべて木造モルタル塗りである。

本館は，事務・診察・医務・会議・資料・園長・指導員・看護婦など各室をもっている。

南側の病棟は，ベッド式となり，大部屋である。真中に看護婦詰所があり，間仕切はガラスで仕切られ，十分全体に目を注ぐことができる。



東大寺整肢園：児童居室の開き扉―上下の蝶番の長さを変えて自然に閉じるように考案している―

このガラスには菖蒲や船などが大きく描かれ，子供の夢をはぐくんでいる。しかしどうもプライヴァシーに欠ける。

北側の病棟は，タタミ式となり，手術処置後の児童居室となっている。廊下の巾は十分広く，中央に直線や曲線のラインが引かれ，廊下の突き当りに大きな鏡が置かれている。そこで自分の姿をみながら歩行訓練が行なわれるのである。

南北の病棟の間にある機能訓練室には，各種の新しい訓練設備が備えられている。回数が明示されるメーターのついたものが多くてよい。風呂は狭いので，ここで訓練をするところまでは行かない。

食堂も，人数が増加して狭くなり，一部のものを限って利用させて，他は自分のベッドや居室で食事をさせている。病棟や訓練，サービス棟を巾広い廊下が結び，そこに便所や洗面流しが集約されてついている。

病室の両開き扉は，やや斜めにとりつけ，自然に閉じるように考え，教室の机は，手前を丸くえぐって深く坐りやすくし，鉛筆が落ちないように縁をとっている。また，洗面・流しの手前は，人研を机のように丸く凹ませて，使いやすくしている。廊下はもちろん手すりをずっととりつけているし，便所や手洗いに，ももちろん安全を保って手もちパイプがついている。

× × ×

以上，この施設は細かい部分が子供の便宜と安全のために入念に考えられている。また，私がみてきた他の施設より歴史が古いにもかかわらず，他でみられなかった最新の訓練や補助の機器をどんどんとり入れている。最近ボイラーも設置された。建物自身は木造で，他の新しい施設にくらべると貧弱にみえ，敷地も狭くて，隣棟間隔も苦しいが，この種の施設の新しい原形となり，これらに新しい息吹きを吹き込み，多くの示唆を与えた価値は大きい。

見学にでかけた日は，ちょうど水曜の午後で，面会日に当っていた。久し振りに両親に会った子供が一人で歩いてみせたり，自慢話を聞かせている風景にあちこちで接した。そしてこういう施設の意義の深さをまざまざと感じたのである。

大仏さまのおひざもと，すぐ目の前にみ上げられる南大門や若草山に囲まれた古都の一隅で，希望に満ちてはしゃぎまわっている子供たちのこんな健康な声が聞かれるとは，くるまで思ってもいなかったことであった。発足当初は教員もおらず，社会の認識も低く，種々の困難とたたかってこられたことだろうが，この子供たちの笑顔がその努力に対するなによりの贈りものであろう。

― おわりに ―

どうもだらだらと，二，三の児童福祉施設のみたまま感じたままをご紹介してきたが，今まで社会に置き忘れられ，邪魔もの扱いされてきた気の毒な児童を暖かく迎え入れ，健康に育てて，社会に復帰させようとしているこれらトップクラスの施設の使われ方や生活を通して，これらの施設は特に経営主体の運営管理・施設・児童に対する理解と熱意の，三者が一致し一体となって進まなければ，十全なものにならないことを，お伝えしたかったのである。これに限らず一般の建築にとっても当然のことだろうが，ここではそれが特に身近かに感じられたのである。

また，これらの施設におよびもつかない貧弱な施設をみるにつけ聞くにつけ，そして施設にも入っていない児童の数多いのを知って，ますます児童福祉施設の量的質的な拡充の必要性を痛感するのである。

（筆者　神戸大学講師・建築計画）

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㊱四一三一～四

＝特許＝
氣光式通風器 製造販売
南閉式レヂスター
特許第一五三八号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀下通2-17
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437―9

伊奈の タイル 衛生陶器

衛陶マーク

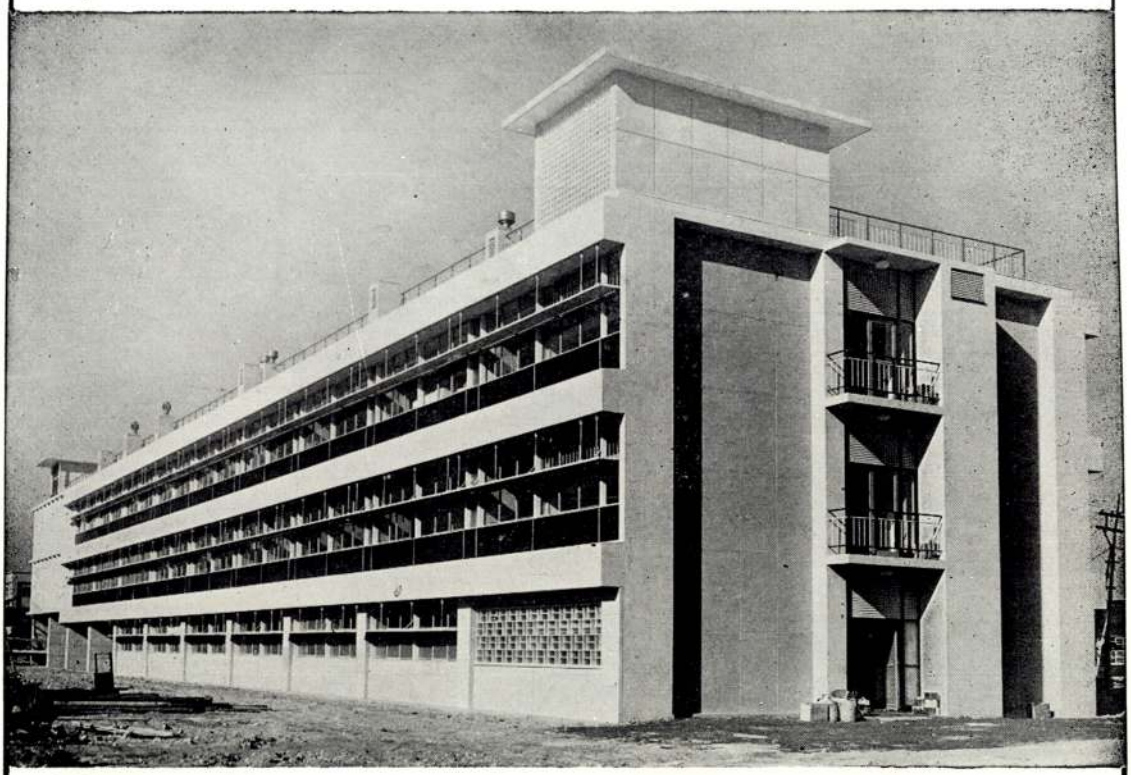
良質と量産を誇る

カタログ送呈

許可番号　第6428号

タイルマーク

衛生陶器はJIS表示の伊奈の製品を



名古屋市大基礎医学教室
設計・市営繕課
施工・大成建設
納品・CC130

伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇[illegible]面[illegible]新[illegible]田[illegible]　電(代)　7　0　0
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2－8　電(代)(551)6371
大阪事務所　大阪市西区新町南通1－23　電(代)　㊿　5484

コーキングパテ

ウヅラEP



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪 ㊼ 1494～4
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪 ㊼ 0426

パテタイル

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許……耐酸・耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板

オリエンタル カラーメタル

美しいアル三箔 ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

型録送呈

責任施工

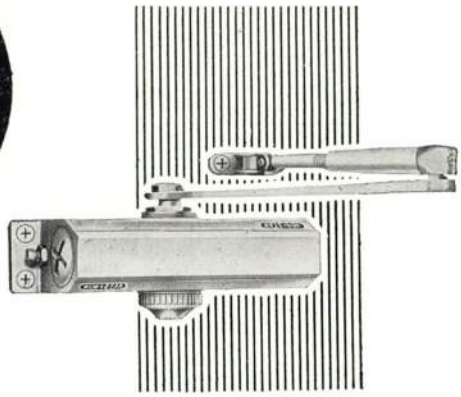
オリエンタルメタル製造株式会社

本社並工場　尼崎市大物北口　電話 (48) 4947~9
東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話蕨 3252~4
支店、出張所　八幡・郡山・名古屋・敦賀・徳島・三原・徳山・延岡・岩国・宇部・川崎

NEW★STAR

創業大正八年











日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場	布施市横沼町３丁目１１番地	電話	大阪（72）代表６６６６－８
第二工場	大阪市生野区巽矢柄町２２２	電話	大阪（72）６　６　６　９
東京支店	東京都千代田区神田錦町１丁目２３	電話	東京（291）１９２０・４９２０
福岡出張所	福岡市舟津町１番地	電話	福岡（４）２３７２・３３１２
・名古屋出張所	名古屋市中区下園町１丁目５番地	電話	名古屋（23）７　３　６　１



建築界の話題をさらう

ゴールデンプリントボード

美しい木目・柄を印刷した優雅にして強じんな建材です

御設計には　第３の材質　**ゴールデンボード**　を

保温・断熱・防音にすぐれた
- **インシュレーション**
  建物から家具まで用途が広い
- **ハードボード**
  間仕切用に効用大
- **サンドウイッチボード**

四季を通じて快適な居住性を造る建築材料です　経済的で仕上りが美しいので住宅・オフイス・工場等に広く用途を持っています

日本ハードボード工業株式會社

名古屋市港区汐止町
TEL　名古屋（23）４２８４・８２６１
東京都中央区京橋２の４
TEL　東京（281）５１５１～５
大阪市西区南堀江大通り１の19（三友ビル）
TEL　大阪（54）２７４５～６

代理店　伊藤忠商事株式会社　三菱商事株式会社
安宅産業株式会社　住友商事株式会社

ABCの建材

ABCコーキング

凡ゆる間隙から永久に漏水の心配を根絶する
永久に気密を保持する
廉価で耐久性のある コーキング剤

18リッター罐		8,500円（現場渡）
1cm×1cm×1m	材料費	48円
コーキングガン		3,000円（現場渡）

カラクリート

美しく，磨耗せず，滑らず，かつ耐水性に富んだ床材床，廊下，階段，ロビー，バルコニー，ガソリンスタンド等美しい色彩と耐磨耗性を必要とする場所や，防水力があるので戸外にも使用出来る。

価　格　42kg袋入（6坪分）　現場渡｛緑 7,080円（坪当り¥1,180）／その他 5,880円（〃 ¥980）

フェロコン

工場，倉庫用コンクリート床仕上材コンクリート床の金属性硬化材で，フェロコンの施工によって床は恰も鋼板を張ったような効果をあげる。

価　格　49kg袋入（7坪分）　現場渡｛色物 6,200円／ナチュラル 5,400円

コルキート

近代人の部屋には疲れをいやし，いらいらを取る壁材合成ゴムとコルクから製造されたコルクシートで落着いた上品な感覚で，老化せず水洗出来る

価　格　坪当り　東京渡　2,200円　　寸法　3尺×6尺×0.7mm

ロビンスコンダクティブタイル

麻酔ガスの爆発を防止する手術室用電導ビニールタイル

- 常に一定の電導性を保証出来る
- 施工翌日から使用出来る
- 掃除、補修が容易である

K.K. ABC商会

東京都千代田区永田町2～77
TEL（581）1411（代表）～7

大阪出張所
大阪市西区京町堀通1～18（京町会館ビル）
TEL（44）3915・0500・9303

同和火災海上保険株式会社名古屋支店

1. 所在地

名古屋市中区広小路通り2の2

名古屋市の繁華街広小路通りを西へ当時の名古屋駅（現在の笹島）との中間に位置するところで現在は向いに朝日ビル，名古屋宝塚劇場など近代建築が並び，それと対照的に同社屋が建っている。

2. 工期 起工 不詳
竣工 大正3年3月18日

3. 工費 4～5万円ぐらいにて詳細不明

4. 設計者 鈴木禎次
現場担当 加藤和夫

5. 施工者 志水建築株式会社
現場主任 故吉田光次郎

6. 構造規模

鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階 地下なし
建面積171.67m² 延面積534.845m²

7. 設計上の問題：当時はルネッサンス様式などの影響により，設計上とくに曲線には一定の拘束をうけることが多かったが，この建物は当時としては新しい様式を表現したものであった。

構造設計においても，鉄骨鉄筋コンクリート造なるものは，当地にてははじめてで，担当者である加藤氏も実際にはみたことがなかったとのことで，参考書も少なく翻訳書は誤植が多くて信用できず，原書と比較しながら設計した。

最初鉄骨構造として計算，耐火のために鉄筋を入れ，コンクリート造とした。現在のように鉄骨，鉄筋を一緒に考える計算法ではなかったため，壁にも鉄骨が入っているとのことである。

屋根は木造のため，スレート下地にモルタル塗をして防火の配慮をした。（焼夷弾の直撃のため屋根のみ焼失）

鈴木先生がひじょうに厳格で，図面をみていただくために長時間座って待たなければならなくて，ひじょうにつらかったと当時を語られた。

8. 施工上の問題：コンクリート造の建物としてははじめてのため，打込みなどもバケツを吊上げる方法で容器の破損はなはだしく苦労した。

当時コンクリートは土間のように水平なところに用いられるのが多く，柱，壁のように垂直部に使用することは一般の人にはかなり危険感をいだかせたようであった。

一番苦労したのは，壁のセパレーターで，最初は壁厚のモルタルブロックに孔をあけたものを使用したが，数の多いことその他で不便にて，つぎにパイプに新聞紙を巻いて試みたが，新聞紙を剝ぎとることが予想に反しむつかしく，けっきょく木製切張りとしてコンクリート打込みにしたがってはずす

全景

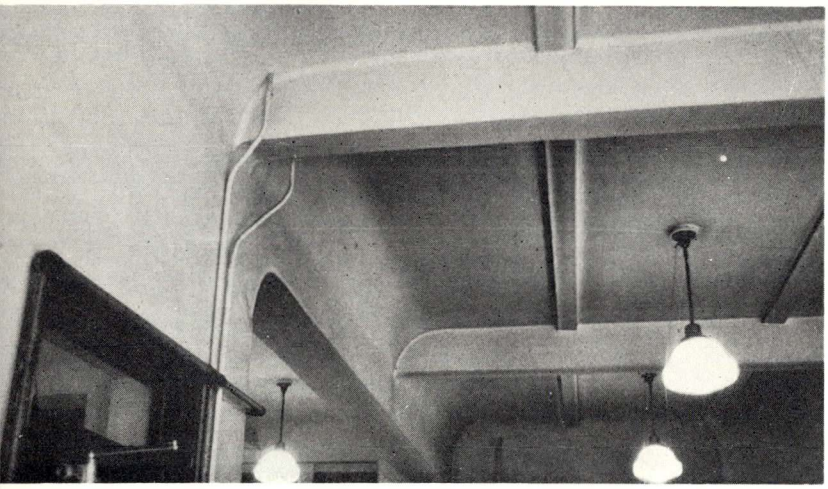




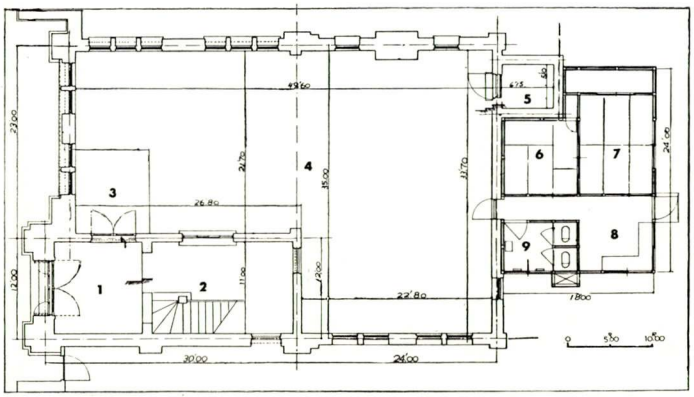
正面ホールの化粧オーダー



正面階段（1階より2階へ）



2 階 天 井



同和火災海上保険ＫＫ名古屋支店　1階 平 面 図

1. 玄　　関　2. 階 段 室　3. 客 溜 り　4. 営 業 室　5. 金 庫 室
6. 四 帖 半　7. 六　　帖　8. 炊 事 場　9. 便　　所

ことにした。

型枠はずしもポストをはずしてみて，本当にコンクリートが落ちないものだと実際に確められる始末であったとのことで，まったく当時がしのばれるわけである。

外部人造は服部人造なるところが上手で木型を利用人造ブロックとして製作，取付けた。これは現在みてもなかなか立派なものである。当時としては珍らしい高層建築であったが，落下物，沈下などによる隣家よりの苦情は全然なかった。

9. 材料上の問題：セメントは当時愛知セメントが良質であったので，これを使用した（名古屋市堀田付近にあったとのことであるが現在はない）。三重に三重セメントというものもあったが，品質が劣るため使用しなかった。

外装タイルは伊奈製陶にて製作されたが，玄関ホール土間のタイルは異形であるため，英国のミントン社（ピルキントン社？）に発注使用した。

鋼材のうち鉄骨は輸入材を使用したが，鉄筋は国産の丸鋼（軌鋼）を使用した。石材は小豆島産の花崗岩を使用したとのことである。

10. 設備工事上の問題：不明

11. 一般社会的事項：同社は日露戦争に勝利をおさめ，国運隆昌期にあたる明治39年6月7日に三井，三田，住友系の銀行をバックとして，当時としては巨額な500万円という資本金で，共同火災保険株式会社として創業され，この株式も旬日にして満株締切りとなるなど田辺貞吉氏を社長とする経営者の諸氏がいかに世の信用を得，また時宜に適した事業であったかがうかがわれる。このとき建てられた名古屋支店も，また立派な建築であったわけである。当時は中区新柳町２の３と呼ばれ，現在の町名は昭和11年１月改称された。

追記：施工者である志水建築も戦災で一切を焼失したため，記録として残っている書類または図面もなく，たまたま鈴木先生のところで現場を担当された 加藤和夫氏（後に愛知県建築課長として長らく奉職）がご健在の由を聞き，たずねて当時の模様をお伺いしてまとめた。図面は当支店設計部の実測によるものである。一般的事項の項は同社のご厚意により 社史より抜萃した。

（kk 竹中工務店名古屋支店記）

会　　報（10　月　分）

理　事　会

10日　11時——正午　於会館会議室
出席者　尾崎，東畑正副会長外8理事
議　事　（1）科学技術館の展示内容に対する意見申出での件
（2）忘年懇親会の寄附金募集に関する件
（3）協会の年中行事企画に関する件
（4）入退会者承認の件
（5）報告事項

閉会後集会室において先般ソ連の視察から帰られた理事の方ならびに近日出発される本会欧米建築事情視察団一行の歓送迎会を催した。

事業委員会

3日　5時半——7時　於会館集会室
出席者　岩崎，岡本正副委員長外9委員
議　事　（1）忘年懇親会の件
（2）11月事業について
（3）新建材資料刊行工程変更の件
（4）報告事項

小委員会（新建材資料作成）
5日　正午——1時　於会館会議室
出席者　矢野主査外5委員

18日　6時——10時　於会館会議室
出席者　山本主査代理外6委員
資料の検討ならびに今後の工程につき協議

小委員会（工場見学会）
7日　5時半——6時半　於会館会議室
出席者　山本主査，関谷委員
日本ハードボード芝野氏
名古屋における工場見学会について具体的打合せ

編集委員会

幹　事　会
6日　4時——7時　於会館会議室
出席者　上林副委員長外3幹事
正月「アイディア特集」号の企画審議

委　員　会
8日　4時——8時　於会館会議室
出席者　上林副委員長外4委員
議　事　（1）経過報告
（イ）2月「居留地特集」号
（ロ）11月「公共住宅特集」号
（ハ）12月「児童福祉施設特集」号
（2）正月「アイディア特集」号企画
（3）「建築と社会」に対するアンケートの件
（4）木毛セメント板に関する投稿措置の件

出版委員会

鉄骨コンクリート実例集小委員会
5日　5時半——7時　於会館会議室
出席者　石崎主査外3委員
編集方針全般についてさらに協議

教育委員会

衛生設備図書編集準備会
2時——5時　於会館集会室
出席者　田中教授外9氏
編集項目に関する検討協議

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安　価・速　乾・美　麗
水谷ペイント

法規委員会

24日　3時半——6時　於会館会議室
出席者　恒岡委員長外7委員
議　事　（1）地域指定の修正に関する要望書案検討
（2）違反建築の是正に関する件

近代建築調査委員会

幹事会

6日　4時——5時半　於会館会議室
出席者　滝沢委員長外4幹事
居留地建物特集号の資料検討

委員会

20日　3時半——6時　於会館集会室
出席　滝沢委員長外12委員
議　事　（1）報告事項
（2）調査対象建物に使用のタイル調査の件
（3）現存先輩の作品について調査の件
（4）居留地建物特集号に関する件
（5）1月号発表建物の件

テレビ放送実行委員会

懇談会

6日　5時半——7時　於会館会議室
出席者　足立委員長外3委員
次期委員長について懇談

打合会

12日　3時—5時　於毎日放送局
出席者　足立委員長，提供3社総務部長
今田プロデューサー外
26日　2時——4時　於会館会議室
出席者　同　上
会長と3社長座談会の放送実施について打合せ

委員会

19日　5時半——8時　於会館集会室
出席者　足立委員長外9委員
議　事　1．今後の放送番組の原稿内容を検討，ならびに演出方法について協議

コルビュジェ大阪展実行委員会

4日　正午——2時半　於大阪建設会館
出席者　森田委員長外11委員
議　事　（1）経過報告
（2）大阪市立美術館との契約に関する件
（3）展覧会予告パンフレットの件
（4）共催団体追加の件
（5）委員の分担に関する件

12日　2時——6時　於市立美術館
出席者　森田委員長外13委員
議　事　（1）坂倉準三氏の挨拶
（2）契約書の調印
（3）総合パンフレットの件
（4）目録の件
（5）予告パンフレットの件
（6）入場券の件
（7）講演会の件
（8）展示および開梱立会いの件

職場グループ世話人懇談会

4日　6時——8時　於会館集会室
出席者　山本委員外官庁，会社営繕グループ世話人8氏

合成樹脂調合ペイント
タイコーペイント
大日本塗料
型録進呈
本　社　大阪市此花区西野下之町38　営業所　東京．札幌．仙台．新潟．静岡．名古屋．神戸．高松．岡山．広島．福岡　工　場　大阪．横浜．茅ヶ崎．平塚

5日　6時——8時　於会館集会室
出席者　山本委員外建設業，設計事務所グループ
世話人10氏
会員増加，会の事業活動などについて意見交換懇談

工高生設計コンクール審査会

22日　2時——6時　於会館集会室
出席者　教育委員　中原委員長，田沢委員
審査員　伊藤委員長外7審査員
応募26校94点を審査して入選作10点を決定

テレビ放送

毎日曜　午前11時——11時20分　毎日放送
2日　子供の空間
9日　団らんの空間
16日　ビルの進歩
23日　ある私鉄の沿線開発
30日　中流住宅

見学会

南禅寺の茶室を見る会

23日　11時——4時　於京都南禅寺
岡田孝男氏の解説で，金地院の八窓の席，慈氏院の看雲席，南禅院の竜淵窟，天授庵の松関の席，本坊の不識庵の各茶室を見学。参加者16名

名古屋の建材工場と新建築見学会

29日　8時半——5時半　於名古屋市
竹中工務店名古屋支店ならびに各見学工場のご賛助後援で，日本ハードボード工場——中村合板工場——三菱電機工場——名古屋大学豊田講堂——淑徳学園——住宅公団団地を見学。参加者大阪より39名，地元名古屋より5名。合計44名。

杭
株式会社　武智工務所
取締役社長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話㉖3606・4089

欧米建築事情視察団出発

青木団長外一行13名は，10月12日夜，スイス航空便で羽田を出発。

東海支部設立総会

10月15日，愛知県職員会館で東海支部設立総会を開催。支部規程，同細則，事業計画，収支予算を議決，ならびに支部長外支部役員を選任

後援した催

「第2回住宅設計コンクール」
1．主　催　大阪住宅復興促進協議会
1．課　題　夫婦子供二人（小学生以下）の標準家族向テラス住宅（2階建）の設計
1．対　象　近畿工高建築連盟加盟の工高在学生
1．〆　切　10月20日
1．後　援　大阪府，大阪市，住宅金融公庫大阪支所日本住宅公団大阪支所，本会
1．協　賛　近畿工高建築連盟



建築界待望の新扉錠……！
ゴールユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
株式會社　谷山製作所
本社工場 大阪市東淀川区三津屋北通四丁目 電(301) 5231～4
東京営業所 東京都港区芝浜松町四丁目 電(431) 8708
シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠

▶欧米建築事情視察団より第2報◀

＜青木友一氏より＞ ―チューリッヒより―

これまでが強行軍でしたが，ここことローザンヌでは静養できますので，やれやれです。（中略）昨日東京の建設業者一行と会いました。

＜玉置豊次郎氏より＞ ―10月31日西ベルリンにて―

昨30日の晩には，ベルリンの酒場で百数十人のドイツ人に囲まれて，日本の歌をうたう，踊るで全ドイツ人をすっかり喜ばせて，日独親善をやりました。なお，私らはアルプスの最高峰モンブランユングフラウにも登りました。

＜室谷山水氏より＞ ―11月5日ロンドンより―

各国とも，みるもの，聞くもの，珍しいこと，感心すること，など多く，収獲のあったことを喜んでおりますが，多少疲れてきたようです。しかし，これからは，ブロークンの英語でも通じるらしいので，いままでの調子より気が楽です。明後日パリに参ります。

近畿コンクリートブロック工業組合の調整規程

近畿コンクリートブロック工業組合（理事長藤井正一氏）では，調整規程をつくり，9月28日，大阪通商産業局長より認可された。

（設立趣旨） 中小企業団体法に基く工業組合を設立して業者の無制限なる進出をおさえ，設備を登録し品質を向上することにより，過当競争による採算割れとこれに基因する品質の低下を防止して，コンクリートブロック業界の健全なる発展を期せんため。

（規定抜萃） （品質および規格の制限）第3条：組合員は組合規格に適合するコンクリートブロック（以下「適格品」という）でなければ出荷してはならない。ただし組合規格に適合しないもの（以下「適格外品」という）についてはあらかじめ本組合の承認を得たときに限り出荷することができる。

（生産者の表示） 第7条：組合員はその生産に係るコンクリートブロックに，その組合員が生産したものであることを示す表示をつけたものでなければ出荷してにならない。（以下省略）

編集後記

「子どもの健康と安全のために」「子どものしあわせを守るために」これは，11月26，27日，静岡市で開かれた「子どもを守る文化会議」でとりあげられたテーマである。こんにち，おとなの権利はあつても，子どもの権利というものは，なんとなくみすごされがちである。子どもにも文化的教育，健康と安全，しあわせのために必要な諸施設をうる権利があるはずだ。子どもはそれを主張しはしないけれども……。

これらの権利を満たしてやるのは，おとなの責任であり，課題である。ところが，極端ないい方かもしれないが，小児マヒの流行にあたつて，ようやく，おとなが，この点にめざめてきた，というのではなさけないことである。実際，小児マヒ患者の発生数は，昭和32年には1,718名，それが年々増えて，昭和35年には11月で5,000人以上に達しているのである。年々増えていく傾向にある小児マヒに対してすら，政府対策にはなんとなく消極的な感じがする。これは一例にすぎないが，それほど，いままで，この児童福祉施設というもののとりあげ方は少なかつたわけである。

12月号の特集を組むにあたつて，いろいろの案がでたが，けつきよく「福祉施設特集」となつた。この福祉施設には老人ホームなどの老後の種々の施設問題も考えられるが，それはまたの機会にゆずるとして，今回は，とくに児童福祉に焦点をあてることにしたわけである。この企画には，三川，島田両委員のほかに，右田紀久恵氏（大阪市大・家政），栗原嘉一郎氏（大阪市大・工）に幹事としていろいろとお世話になつた。ひとくちに児童福祉といつても，本文の各論者がのべているようにいろいろあるが，問題をもつものは大きくわけて，肢体不自由児に対する施設と精神薄弱児に対する施設になる。この両者を中心に編集を考えてみたものである。わたしたちは，この編集幹事会での討論や，法律などの資料集成，取材（島田委員担当）を通じて，大いに勉強になつた。いままでに，こうした特集を組んだことがないだけに，編集の良し悪しは別として，ひとつの大きな喜びをもつている。ご批判いただきたい。

建築以前の問題のことがらが多いだけに，執筆者も，児童福祉の各界の方にご協力いただいた。厚く感謝します。またこの企画に協力いただいた上記の方々に誌上をかりてお礼を申します。

次号（1961年正月号）は，「アイデア特集」の予定である。

建築材料の選び方使い方の専門誌
建築技術者と材料業者の必読書
建築雑誌 材料と設計
毎月1日発行
建設文化社 B5 ¥150〒共
全国書店で発売
本社 東京都文京区小石川町1－1 電話(921)2739
支社 大阪市西区西長堀1―5 四ツ橋ビル 電話㊿9200

今秋発行！ 建築建材業者の必読書
プラスチックス&ビルディング
早大助授教 田村 恭 著
振替 大阪二一一三番
建築におけるプラスチックスの正しい活かし方を
内外の豊富な資料と
多数のデーターと
写真による解説
¥380〒共
予約申込先 月刊 プラスチックス・エージ
大阪南区東清水町34 TEL(27)6077~9
東京中央区日本橋木町4―5 TEL(241)5320・5398

特許 防火シャッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖・オートマチック
ステンレス・アルミニウム・シャッター
株式会社小俣製作所大阪支店
大阪市北区若松町30 電話(34)9004・9016・4825
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本 社 大阪市城東区野江東之町４の１０４ ㊳3679・4481・8471
支 店 新 居 浜・名 古 屋・四 日 市・広 島

田中式
スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町２～89　　ＴＥＬ 大阪(40)6341（代表）・(40)6342

本社	東京第一工場	東京都墨田区錦糸町１～25
	東京第二工場	東京都墨田区吾嬬町東４～122
	小倉工場	福岡県小倉市赤坂上の宿37
	川崎工場	神奈川県川崎市東渡田３～43
	札幌出張所	北海道札幌市北上通東４丁目４
	盛岡代理店	岩手県盛岡市木伏49・東北建設（株）
	名古屋代理店	愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・岡田建材ＫＫ
	米子代理店	鳥取県米子市祇園町２～93・吉田工務店
	長崎代理店	長崎県長崎市要町11・関西工業（有）

ＴＥＬ	東京(623)代表0106～0108・(622)0790
ＴＥＬ	東京(611)2118～９
ＴＥＬ	小倉0653・2833
ＴＥＬ	川崎 ② 4540
ＴＥＬ	札幌 ③ 6762・0515
ＴＥＬ	盛岡 7642
ＴＥＬ	名古屋(53)0121・2057
ＴＥＬ	米子 4683
ＴＥＬ	長崎 ② 6046

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町５番地　電話大阪(34)207～8・4836～7

暖冷房・温湿度調整
水道・衛生・環境衛生装置
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀上通1丁目7
電㊹(代表)2613・(代表)9431
営業所 神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所 名古屋市中村区牧野町1－6 電話㊿0966
〃 東京都北区上十条1の10 電(911)2346
〃 広島市西魚屋町31 電②1375

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社 大阪市北区富田町一六 ㉞7031㊱6793
出張所 東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階)(561)5441
名古屋市中区新栄町二丁目一 ⑨1820
福井市宝永上町一〇五 1596
松江市東本町四丁目一四九 5098
広島市紙屋町八 ②1938
福岡市養巴町二二 ④1158

給排水・衛生 設計施工
暖冷房・換気

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役 城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㊲7575(代表)
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**

取締役社長 菅谷三郎

本店 大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電話大阪㊹大代表8231番
支店 東京・名古屋
出張所 京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡
熊本・札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉖代表4496～8・4993～4番
本店 東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番
金沢営業所 金沢市高岡町三五 電話金沢②2074
福井出張所 福井市城之橋下町一〇 電話福井2436
高松出張所 高松市二番丁九 電話高松②5195

創業 大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **斎藤省三商店**

東京店 東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店 大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話大阪㊹1568・1569・2594
札幌店 札幌・北四・西四(札幌駅前)
電話札幌②0010・0956③4661
名古屋店 名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号 電話中局㉔1766

暖冷房・環境衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁番壱番地・電話代表26局{2951 3076
本社 東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所 名古屋・福岡・札幌・広島
工場 川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電話㊹代表5171番
東京支店 東京都港区芝田村町6丁目 電話(431)代表7121
名古屋支店 名古屋市中区材木町1丁目 電話㉓代表7856
京都支店 京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤1989・2255
神戸支店 神戸市生田区北長狭通2丁目 電話③代表5101
福岡支店 福岡市千代栄町 電話㊺代表4731

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通2丁目51 電話大阪㊾3415
東京事務所 東京都港区西芝浦3の1電話東京(451)5281
広島出張所 広島市空鞘町99の1 電話広島③7544
福岡出張所 福岡市下呉服町2の9 電話福岡②5389
祐徳ビル

空気調和装置・塗装乾燥装置
設計施工

株式会社 **建材社**
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目(新朝日ビル5階)
電話大阪㉓6041(代)
本社及東京支店 東京都中央区八重洲三丁目七
営業所 名古屋市中区西万町二丁目一

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設計施工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル8階）
電話大阪㉓7641(大代)
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話大阪㉞局8356(代表)
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360番地

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 栄興商会

取締役社長 中山敏正

本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話(351)2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
京都出張所 京都市中京区高倉通三条下ル 電話上③2869番
三沢出張所 青森県三沢市上久保三一 電話大三沢36番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 朝日工業社

大阪市北区中之島4—39 電㊹6671～5

東京支店 東京都港区芝浜松町2—7 電(431)7341～5
北海道出張所 札幌市北四条西15丁目 電②2203・③5374・5969
仙台出張所 仙台市元寺小路(五城ビル) 電②8061・③9261
名古屋出張所 名古屋市中区東陽町6—5 電㉔1270・1484
広島出張所 広島市大手町8—155 電③7949
福岡出張所 福岡市薬研町3 電④0788・⑤0296

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話大阪㉞ (代表)0977 0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2—10
電話(281)2631—5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 73 32
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3—6
電話⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川進男

本社 京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
電話㉒(代表)7975・(夜間専用)5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・換気・空気調和
給排水・衛生・電気
設計施工

日本熱学工業株式会社

取締役社長 牛田正郎

本社 大阪市東区唐物町5丁目10
電話大阪㉕(代)5171～3・3643
東京支店 東京都千代田区神田和泉町1
電話東京(866)7683・7716・2594
西部営業所 下関市大和町33 大和ビル23号室
電話②7306

煖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長 嘉幡政四郎

大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話大阪㊱直通2085・5725
(代)9851～9・9951～9
東京 東京都千代田区西神田町一ノ八
電話東京(291)8002～3
出張所 愛媛県川之江市・九州福岡市

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市西区江戸堀北通3丁目46番地
電話大阪㊹(代表)3818
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話(921)(代表)6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

冷暖房・温湿度調整装置・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所 大阪市北区宗是町1(大ビル)
電大阪代(44)8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46(大同ビル)
電東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉓5273—5・5451—2
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)1316・2536・4715・3573
営業所 名古屋・札幌・沖縄・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英
大阪市北区永楽町8番地(日産生命館)
電話 大阪㉞代表 1234～9
支社 東京都港区芝浜松町(大門ビル)
出張所 名古屋・舞鶴・広島・八幡
福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪㉞8131代表～4 ㊱7263
営業所 東京・名古屋・新宮・御坊

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451)0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(44)9516～8番夜間専用(44)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54)6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4)7813番 (5)3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地電話(4)2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話 大阪㉞代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三
本社 大阪市北区絹笠町50(堂ビル3階)
電話 (312)1471(代)～5
倉庫 大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話 (45)5148・6646
支店 東京都中央区西八丁堀4丁目10番地
(後関ビル3階) 電話(551)5590～2
営業所 名古屋市中村区泥江町2ノ1
電話 (55)7146

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル7階
電話 大阪局㉓9531(大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話 大阪局㊹5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㉞3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716)4035(代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 ㉝5143・5373・9594・2134
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 ㉝2193

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長　梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪（94）6531（代）～5
支店　名古屋
出張所　東京・岡山・門司

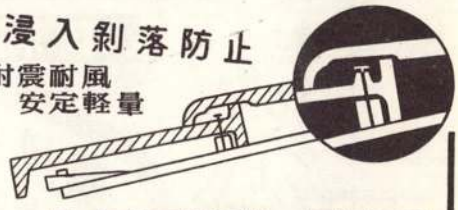
PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 林塗装店
TEL. 大阪㉕1756—7・東京㉙1335


大和洋瓦
雨風に強く緩勾配に最適
超軽量荷重（坪当37貫）
和型より安い
発売元
大仏組　大仏瓦，各種和洋瓦工事請負一式
本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㉔975



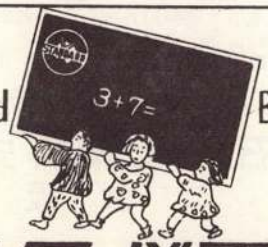
陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・アンホール
株式会社 三幸商會
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪㉞3145

コペンハーゲンリブ
商月報無料送呈
井田ペイント
井田商事株式会社
大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物入号門前
電話（53）4890　（54）0808~9

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目七四三 電話㊹㊀六五
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付（空葺）瓦

特許植物性　型枠離剝塗料
サンヒット
メタルフォーム用特号
関西代理店　株式会社 金剛商会
大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㊼0417・4091

タイル衛生陶器
販売と施工
奉仕感謝の店
株式会社 川岸窯業
大阪市西区靱南通二の二一（市電靱南通電停前）
電話 ㊿2435・2788・8597



Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話天王寺(74)4692番

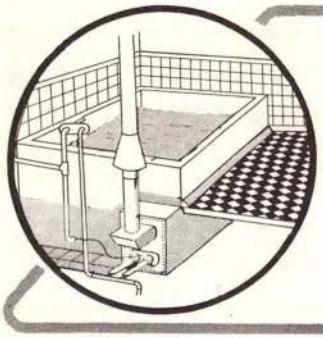
耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店

株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪㉞2403・3904

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729



田中のガス風呂

清

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

大阪ガス会社指定

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊹5313・8128



平和式

親切・丁寧ヲ御照会

軽量シヤッター

平和工業株式会社

大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目電(64)5750・8444
東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目電(741)0160・1733

トイレの脱臭に

メルコン

電気脱臭器

熱海　萊の宮ホテル　全室装備

製造元　株式会社　メルコン　大阪市東区今橋一ノ一〇（朝日生命ビル）TEL 大阪㉓5110

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店　大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話　大阪㊺3426～7

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント・セレミコン・ブロック 特約販売店
セントラル硝子特約販売店

樫野石灰工業株式会社
大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
（桜橋電停曽根崎新地西入）　電話大阪㊹1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

プリント合板
ビデオンボード

リブ付塗装合板
美装パネル

吸音多孔合板
ベニヤトーン

織物の壁貼材料
オーツカクロース

九つの特長を誇る
九徳天井板

綿條塗装合板
ラインボード

ビニール合板
ビニライト

立体塗装合板
カーベライト



浪速合板

大阪市浪速区 幸町通3丁目20
電話 新町(53) 2201−3番

工場 大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81
電話 住吉(67) 5109

吸音テックス

Acoustic Tex



株式会社 室谷商店

本 社 神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL神戸 ③ 0881〜3
支 店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪(312) 2031〜4

燃えない建築資材

耐火ボード

タイガー印

石膏デスボード
タイガートーン

絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材

Y.N石膏プラスター

キーンズセメント
各種焼石膏

吉野石膏大阪支店

大阪支店 大阪市西区土佐堀通1−1(大同ビル)
電 話 (44) 8912〜4
本 社 東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電 話 東 京 (281) 2391(代表)
福岡営業所 福岡市相生町1−1 電話 (58) 631〜3

木毛セメント板



東邦商会

本 社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪⑭1296〜7
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山②0298・9435

軽 量 鉄 骨
設 計・施 工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長 吉 田 信 武

本 社 大阪市西区新町通2丁目25
電話 ㊸ 7418・609・6575
工 場 神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話 神戸 ⑧ 616
広島県御調郡向島町立花3010
電話尾道2968 向島西19

諸官庁御指定
吹付及び掻落ソリジットスタイン
床材(合同リグノイド) マグネシート
外壁シリコン防水
製造。販売。責任施工

合同特許建材工業株式会社

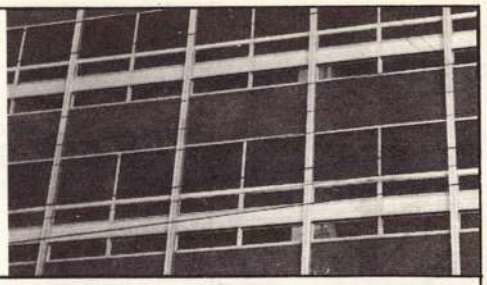
取締役社長 山 下 謙 治

本 社 大阪市東住吉区田辺東之町3−109 電大阪 ㊻ 9086
営業所 大阪市東住吉区駒川町3−54 電大阪 ㉙ 4370・7660
出張所 広島市比治山本町1180 電広島 ④ 4967
出張所 東京都新宿区花園町46 電東京(351)5298・5264

SAK

アルミニウムの総合メーカー

昭和アルミの押出型材



昭和アルミニウム株式会社

本　　社　堺市海山町6の224　電話 堺(3)1181(大代表)
大阪営業所　大阪市東区唐物町2の47　電話 大阪(26)1991～7
東京営業所　東京都中央区日本橋堀留町1の12　電話 東京(661) 6541(代表)

光り 波型ガラス

ダイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板



製造元 大日本硝子工業株式会社

大阪支店　大阪市北区玉江町2—4 (三菱倉庫ビル) 電話 大阪 ㊹3389・1389
本　　社　東京都中央区京橋3—6　電話(281)6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話大阪㊲1333番

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式

N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売

内外工業株式会社

脇山静夫

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話㊸3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.インシュライト断熱材製造発売元

最良のコンクリートを保証する…

日曹マスタービルダーズ株式会社

設立御挨拶

セメント分散剤「**ポゾリス**」に関し毎々格別の御引立を賜わり有難く御礼申上げます

今般　皆様の御支援により日曹マスタービルダーズ株式会社は、お蔭様にて無事設立いたしました。　当社は従来日本曹達株式会社、日曹商事株式会社の「**ポゾリス**」関係業務を引継ぐと共に、ポリゾリスを始め輸入諸建材の国産化を図るべく12月1日より業務を開始いたしました

当社は　**（1）　輸入各種建材の国産化**
（2）　各工事に適応した高度の製品
（3）　テクニカルサービスの徹底

をモットーとして、日頃のご愛顧にお報い致したいと存じます

何卒弊社に対し倍旧の御指導御支援を賜わりますよう御願い申上げます

セメント分散剤
ポ　ゾ　リ　ス
ネオ・ポゾリス

モルタル
無収縮、注入剤
エ　ム　ペ　コ

コンクリート表面
耐　磨　耗　剤
マスタープレート

コンクリート表面
カラー耐磨耗剤
カ　ラ　ク　ロ　ン

コンクリート・モルタル
防水　撥水剤
ス　テ　ア　ロ　リ　ス

コンクリートゼロスランプ
ウオカビリチイ増進剤
ル　ブ　リ　リ　ス

其他諸製品

日曹マスタービルダーズ株式会社

本社　東京都千代田大手町2の4（新大手町ビル）

大阪出張所　大阪市東区北浜2の90（日産生命館）
名古屋出張所　名古屋市中区新栄町1の6（朝日生命館内）
福岡出張所　福岡市天神町8（西日本ビル内）
仙台出張所　仙台市一番丁11（東一ビル内）
札幌出張所　札幌市北三条西2丁目（桑沢商店内）
二本木出張所　新潟県中頸城郡中郷村（日曹二本木工場内）
高岡出張所　富山県高岡市向野本町（日曹高岡工場内）

日東紡の新建材

新しいお部屋の設計に

FILON® 硝子繊維 ＋ ナイロン強化波板

美しいプラスチック床材！

グラスライト
ニットータイル ファイロン

日東紡績株式会社

東京本社	東京都中央区八重洲6－1	TEL（281）0211
大阪支店	大阪市東区北浜2－90	TEL（23）2125～9
名古屋営業所	名古屋市中区御幸本町通り9～8	TEL（23）0945・4414
福岡駐在所	福岡市天神町8 西日本ビル三井物産内	TEL（4）7631～7
日東紡サービスセンター	東京都中央区銀座1－4	TEL（561）3437

デラックス床材の決定版！



TLモザイク・フローリング
TLモザイク・ブロック

★**フローリング**はランバーコア合板式で狂いがなく簡単に張る事が出来ます寸法が一定していますから取扱が便利ですその上値段は寄木の½位の格安です
★**ブロック**はタイル式でコンクリートや板の上に接着剤で簡単に安価に豪華な寄木張の床が出来ます。
（各々樹種はなら、さくらがございます）

製造元 天塩川木材工業株式会社
関西総代理店 **太洋木材工業株式会社**
大阪市東区横堀6丁目21 電話 大阪㉕1025・5127

カタログ進呈

何よりも安心できる 年限仕様

Ⓐ アスタイト防水

地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	(株) 久保商店	大阪市北区真砂町5	大 阪㊱0207～8・4836～7
	(株) 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	大 阪㊹5408・5486
	(株) 明正社	大阪市東区高麗橋詰町21	大 阪㊸8125～8・0761
	(株) 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	大 阪㊹8531～5
	(株) 大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	大 阪㊸6221～4
	(株) 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	大 阪㊿3340・3505
	内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町1ノ51	大 阪㊸3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	大 阪㊿6555～7
	日本瀝青工業(株)大阪支店	大阪市北区富田町40	大 阪㊱1804
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神 戸⑤2140・2697
	(株) 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6ノ9	神 戸⑤4630
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	京 都㊸4468
	田島応用化工(株)大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1ノ14	大 阪㊹5951～8
東海	岡田建材株式会社	名古屋市西区西菊井町2ノ12	名古屋㊸2057・0121
	(株) 名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	名古屋㊸1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区村木町1ノ12	名古屋㊸3295
北陸	北川工業株式会社	金沢市西側町8	金 沢②4552～3
	北川工業(株)富山営業所	富山市奥田新町23	富 山②2218 ③1014
	北川工業(株)福井営業所	福井市大和中町70	福 井②4532
	(株) 小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ1	高 岡 2463
	(株) 小島工務店 富山営業所	富山市神通町3区1003	富 山②8221
中国・四国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	広 島②2281～4
	青盛建材(株)岡山営業所	岡山市東田町3	岡 山②7911・8169
	(有) 小野基商店	岡山市内山下30ノ10	岡 山②4272
	(株) 浜原豊商店	尾道市若宮町	尾 道 2760
	(株) 浜原豊商店 防府支店	防府市大林寺	防 府 1037
	古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町960	高 松③5034
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松 山②8161～5
九州	青盛建材(株)福岡営業所	福岡市万行寺前町14	福 岡③1225～6
	暁建材工業株式会社	福岡市薬院町65	福 岡④4326・8467
	高稲工業株式会社	長崎市天橋町138	長 崎④1726

出資金 600 万円

建設省阪建 22 号認可

三星 西日本アスファルト事業協同組合

大阪市西区京町堀上通一の一四　TEL ㊹ 代表5951
東京連絡所 東京都足立区小台町六三三（田島応用内）　TEL (911) 代表1181
北陸・東海・近畿・中国・四国・九州



（カタログ進呈）

角形鋼管

「鋼管を素管とした
継目角形鋼管」

形鋼を組合わせて溶接した角形鋼管と比べると
均質で、**軽量**で、**経済的**な(高級)継目角形鋼管

住友金属工業株式会社

本　社 大阪市東区瓦町4丁目31電話(大代表)大阪(27)2201
支　社 東京都千代田区丸ノ内1丁目8ノ6(新住友ビル)電話(大代表)東京(211)2211
福岡営業所　福岡市天神町58番（天神ビル8階）　電話福岡(5)5190・3582
広島営業所　広島市紙屋町8番地（広電ビル内）　電話広島(2)7471・7596
名古屋営業所　名古屋市東区久屋町5-9(住友商事名古屋ビル)　電話 名古屋(97)1490・6222
仙台営業所　仙台市東1番町11東1番丁ビル内　電話仙台(3)3501-(5)2643
札幌営業所　札幌市北大通西4丁目6(住友生命札幌ビル内)　電話 札幌(4)0378

減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材

カラー・コンク

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノ口汚れ等の缺点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（**坪当り材料代¥ 950**）仕上り厚さ約2㍉程度
学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室等に最適であります。

（求 代 理 店）

慧精（ケイセイ）工業株式会社

大阪市此花区四貫島旭町1－3
TEL 大阪（46）3594

青写真とマイクロフィルム

株式会社 内外写真

製図・トレース・複写写真

大阪市北区堂島北町16　TEL ㊱9055(代表)

電気工事設計施工

阪急電気工事株式会社

TEL 大阪（301）1757（代）　名古屋 ⑨ 5980

DK

伝統の歴史と最高の技術を誇る!!

ダントウタイル

カタログ進呈



淡陶株式会社

大阪支店　大阪市西区阿波座南通1—1
電話代表(54)8523～5
東京支店　東京都中央区日本橋浜町2—47
電話(671)7309
本社及阿万工場　兵庫県三原郡南淡町伊賀野
福良工場　兵庫県三原郡南淡町福良

小野田防水ブロック

美しくて、強くて経済的な唯一の化粧目地、仕上用防水ブロック

特許 小野田NN防水剤

透水比も吸水率も低く、耐久的な防水モルタル、防水コンクリートをつくるには唯一不可欠な防水剤

小野田パーライト

粒状・均質・純粋で軽量性・断熱性・耐火性・吸音性の卓れた経済的なパーライト

特許 小野田CXモルタル

耐薬品性・防水性・防滑性・耐震動性・接着力の卓れた特殊弾性（ゴムセメント）モルタル

小野田 パール・フォーム・ボード

小野田パーライトの特性を活かした軽量・断熱・耐火・吸音防湿の諸点が特に卓れた強化気泡コンクリート板

特許 小野田K6セメント

塗装によって人造大理石が簡易にできる特殊着色セメント

CXC 小野田ブロック株式会社

本社・東京都千代田区丸の内1の1　第一鉄鋼ビル
電話・東京（201）1311・1411内線365~7

御問合せは最寄り工場へ
東京工場　東京都江東区深川豊州1の1
神戸工場　神戸市灘区灘浜町3
名古屋工場　名古屋市港区丸池町1の1

アスファルト防水の材料と工事は

（アイウエオ順）

◀製造業社

協和建材工業k.k.	大阪市東淀川区田川通5丁目91	(37) 6002・857
k.k.工英社	大阪市西成区橘通9丁目24	(66) 8861～2
k.k.工盛社	大阪市城東区西鴫野6丁目43	(97) 4460・8288
田島応用化工k.k.大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1丁目14	(44) 代5951
大恵工業k.k.	大阪市西区江川区姫島町1690	(47) 3131～2
東亜工業k.k.	八尾市竜華町字太子堂629	八尾 (029) 2308・3039
日瀝化学工業k.k.大阪営業所	大阪市東淀川区堀上通3丁目39	(39) 0924～5・2045
日新工業k.k.大阪支店	大阪市西区新町北通1丁目40	(53) 5281～3

◀販売業社

浅野物産k.k.大阪支店	大阪市東区瓦町2(三和ビル)	(23) 1731代・2931代
井上工材k.k.	大阪市西区京町堀上通2丁目4	(44) 代8581～5
池田商事k.k.	大阪市福島区鷺州本通1丁目48ノ3	(45) 7601～5
内田商会	大阪市北区万才町47	(312) 0871～8
梅本石油k.k.	大阪市東淀川区新高南通1丁目28	(39) 2080・2207・0238
枝松商会	大阪市北区道本町41	(36) 5858～9・5850
大阪朝日瀝青k.k.	大阪市西区南堀江一番町14	(53) 4520・8401
三友アスファルトk.k.	大阪市東住吉区矢田住道町913	(79) 4427
川崎物産k.k.大阪営業所	大阪市北区絹笠町50（堂ビル二階）	(36) 0774
中西瀝青産業k.k.大阪営業所	大阪市北区老松町2丁目7	(34) 4305
k.k.長野商店	大阪市西区京町堀上通3丁目40	(44) 5195～6
日本建設興業k.k.	大阪市東区北浜4丁目19	(23) 2771～2
前田商店	大阪市西区江戸堀北通5丁目36	(44) 5224
村井工業所	大阪市生野区生野田島町94	(73) 2514
山文商事k.k.	大阪市西区土佐堀通1丁目13	(44) 0255代・5392代

◀工事業社

旭化建工業k.k.	大阪市北区茶屋町38	(37) 6555～7
k.k.井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1丁目7	(44) 3520・4564・1005
k.k.石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通1丁目31	(37) 3340・3505
大阪耐酸工業所	大阪市北区浮田町82	(37) 1333
大島応用化学工業k.k.	大阪市城東区野江東之町4丁目104	(33) 3679・4481・8471
大野産業k.k.	大阪市北区同心町1丁目33	(35) 3845
k.k.カナヱ商会	大阪市北区空心町1丁目30	(35) 2922
共栄瀝青工業k.k.	大阪市東区船越町2丁目34	(94) 5561～2
k.k.木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5丁目35	(44) 5408・5486
k.k.久保商店	大阪市北区真砂町5	(34) 0207～8・4836～7
坂口興業k.k.	大阪市北区木幡町18	(34) 1105・8640
清水興業k.k.	大阪市北区鶴野町34	(37) 0251～3
k.k.新光商店	大阪市南区塩町2丁目13	(26) 7195代
関本建材k.k.	高槻市大字高槻146	高槻（5）1646～7
k.k.大和商会	大阪市南区高津四番丁73	(63) 6221～4
谷中建材工業k.k.	京都市下京区西七条比輪田町28	京都（5）9954
友田工業株式会社	大阪市都島区都島中通6丁目41	(35) 4779・0997
内外工業k.k.	大阪市阿倍野区旭町1丁目51	(64) 3434～6
日新工材k.k.	大阪市西区新町北通1丁目52	(54) 3785～6
日本瀝青工業k.k.大阪支店	大阪市北区富田町40	(34) 1804
フタバ興業所	大阪市福島区上福島北4丁目24	(45) 6089
k.k.双葉商会	大阪市東淀川区木川西ノ町2丁目6	(37) 3375
松本瀝青工業k.k.大阪支店	大阪市北区伊勢町40	(35) 9231
マルヱス工業k.k.	大阪市福島区上福島南通1丁目152	(45) 2360・2030
k.k.明正社	大阪市東区高麗橋詰町21	(94) 8125～8
米田工業所	大阪市天王寺区南玉造町43	(75) 7271・0871
石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸（5）2697
k.k.中出商会	神戸市兵庫区上沢通6丁目9	神戸（5）4630
三信工業所	神戸市兵庫区神田町439	神戸（4）6930
中村瀝青工業株式会社	神戸市生田区北長狭通6神繊共栄ビル	神戸（4）5884
日建瀝青工業k.k.	神戸市兵庫区水木町8丁目5	神戸（6）0505
有限会社小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山（2）4272
k.k.浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道 2760
青盛建材k.k.	広島市鉄砲町108	広島（2）2881～2
古市断熱工業k.k.	高松市宮脇町960	高松（3）5034
正和商事k.k.	松山市一番町	松山 0525・1159・2159
k.k.山本商会	松山市萱町2丁目95	松山 2717

▶賛助会員

丸善石油k.k.	大阪市南区長堀橋筋3丁目	(27) 1251(代)

広告目次 (50音順) 建築と社会 昭和35年 Vol. 41 No. 12

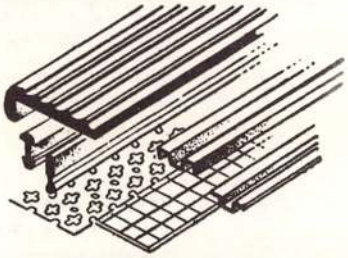
ア アスファルト ……14
浅海電気kk …… 4
kk 朝日工業社…… 3
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk …… 5
kk 岩住鉄工所……前付
岩元工業kk ……16
ABC商会 ……中挟
kk 栄興商会…… 3
荏原製作所……表4
オリエンタルメタル製造kk 中挟
大阪建材工業kk ……20
kk 大阪城口研究所…… 2
kk 大阪電気暖房商会…… 2
大阪耐酸工業所 ……18
大島応用化工業kk …… 1
kk 奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk ……21
織本建築事務所 ……19
小野田ブロックkk ……11
カ 樫野石灰工業kk …… 6
kk 川岸窯業…… 5
川口ゴム工業kk ……前付
関西暖房工業kk ……17
関西三星タイル会 ……前付
関西ペイント ……前付
柏原瀝青 ……中挟
工藤電気kk …… 4
kk 久保商店…… 1
栗原工業kk …… 4
kk 工英社…… 表2
慧精工業kk ……12
江東電気kk …… 4
合同特許建材工業kk …… 7
kk 小俣製作所……本文
kk 金剛商会…… 5
サ 斎久工業kk …… 2
サンエス石膏kk ……18
kk 斎藤省三商店…… 2
「材料と設計」 ……本文
三機工業kk …… 2
kk 三幸商会…… 5
kk 三晃商会…… 2
三宝電機kk …… 4
kk 三和シヤッター製作所…前付
敷島金物kk ……前付
昭和アルミニウムkk …… 8
新鋼建設工業kk …… 7
kk 新興建材工業所……19
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 6
住友金属工業kk ……12
タ 田島応用化工kk …… 表4
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所…… 6
田辺工業kk ……本文
田村商会建材部 ……16
kk 谷山製作所……本文
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大日本硝子工業kk …… 8
太洋木材工業kk ……10
大仏組 …… 5
耐酸化学工業kk ……15
高砂熱学工業kk …… 3
kk 武智工務所……本文
淡陶kk ……13
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東京鋼板工業kk ……15
東邦商会 …… 7
東洋キヤリア工業kk …… 3
東洋シャッターkk ……前付
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……前付
ナ ナニワ瓦kk …… 5
内外工業kk …… 8
内外土木建材社 ……18
内外写真 ……12
中本電気kk …… 4
浪速合板 …… 7
浪速建材工業kk ……20
日共冷熱機材kk ……前付
日曹マスタービルダーズKK 大阪出張所 …… 9
日本管工業kk …… 3
kk 日本金具製作所……中挟
日本サッシ協会関西支部 …前付
kk 日本シヤッター製作所… 表3
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエツク製造KK ……中挟
kk日本ドアーチエツク製作所 ……17
日本熱学工業kk …… 3
日本ハードボードkk ……中挟
日東紡績kk ……10
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合……11
kk 西原衛生工業所…… 表2
ハ kk 林塗装店…… 5
阪急電気工事 ……10
kk 日立製作所…… 2
kk 平川鉄工所……前付
平田タイル ……18
フタバ黒板 …… 5
福屋工業kk …… 6
藤森建材kk ……前付
「プラスチックス・エージ」…本文
平和工業kk …… 6
北陸軽金属工業 ……20
マ 水谷ペイントkk ……本文
kk 三高製作所……19
美素工業所 ……前付
kk 室谷商店…… 7
kk メルコン…… 6
森井電業kk …… 3
ヤ 山田工業kk …… 2
八幡エコンスチール ……前付
八幡製鉄 ……前付
kk ヤマト電気商会…… 4
八千代電設工業kk …… 5
kk 山本建材社……22
kk 油脂化工社…… 表3
kk 吉田芳雄商店…… 5
吉野石膏kk …… 7
kk 寄木商店……16
ラ 理研鋼機kk …… 3

特別広告 (順不同)

大成建設kk …… 1
東光電気工事kk …… 2
関ケ原石材kk …… 2
kk 熊取谷石材店…… 2
内外木材工業kk …… 3
立川ブラインド工業kk …… 3
敷島金物kk …… 3
山武ハネウエル計器kk …… 4
kk 斎藤省三商店…… 4

タムラ 最高の品質・新しい建築資材

金属建材



田村式メタルシーリング
田村式金属タイル
田村式ジョイナー
モリソン式ボードサッシュ
ノンスリップ・目地棒
コーナービード・パンチング

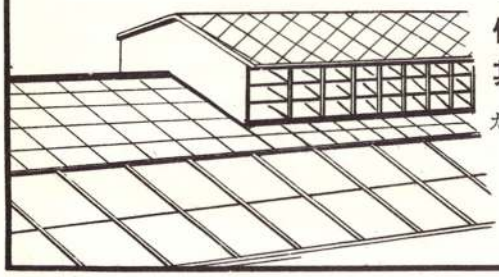
創業明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本店 神戸市生田区京町72（クレセントビル） 電話 代表神戸 ㊴ 0881
支店 東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰 電話 東京(271) 6181・6182

岩元式 スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター

サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工





カタログ進呈

岩元工業株式会社

本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話 ㊽ 0616・0617

寄木貼床板
フローリング 施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー 造作取付
グラインダー床削

株式会社 寄木商会

営業所 大阪市東区横堀6—49
電話 ㉕ 3731・3960
工場 大阪市浪速区勘助町1



T
K K

アルミニウム
サッシ・ドアー
ステンレス
スチールシヤッター

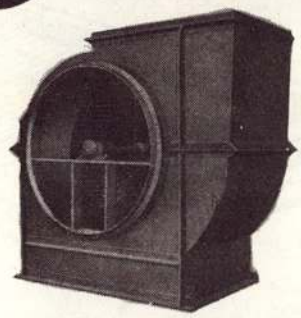
東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話　(891) 8131～7
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地(聚嚇ビル3階)
電話　㊱ 9154～7
名古屋支店　名古屋市中区大池町24（丸菱ビル）㉔3048・4593
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）　④8825

KANDAN

煖冷房温湿度調整

設計　施工



各種送排風機

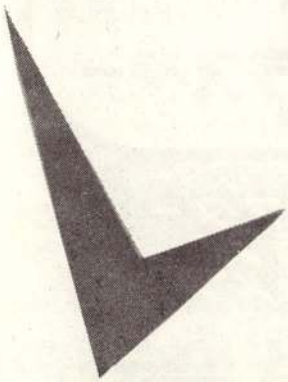
設計　製作

関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電話　大阪　67－6751(代表)～4・1590
堺工場　堺市浜寺石津町中二丁目二四〇番地
電話　堺 ① 1213 ③ 1322
出張所　福岡　徳島

防水工事の一大革命

プラスチックス防水帯

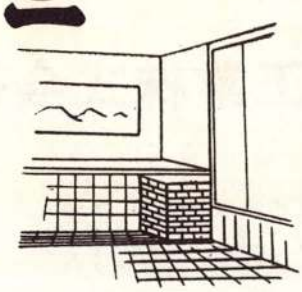


最も新しい防水工法
強靱、耐薬品性で老化しない
火熱を要しないので施工容易

責任施工

耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町八十番地　電話代表㊱ 0178・4161番㉞ 4957・4958番



タイル・衛生陶器

株式會社

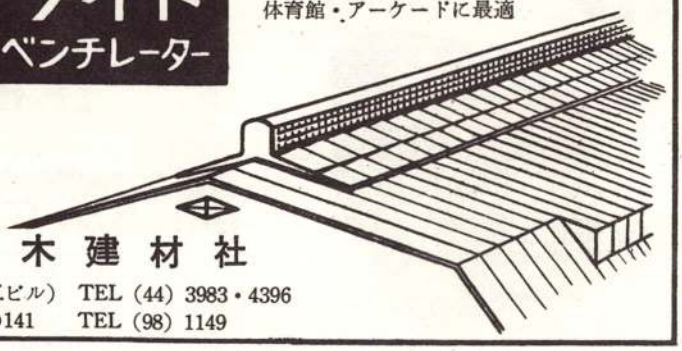
平田タイル

内外式 スカイライト

コンチニアス ベンチレーター

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適



ベンチレーター（筒型各種）
バーチカルベンチレーター（電動式）
波型硝子屋根完全葺
タービヤ舗装工事・設計施工

株式会社 内外土木建材社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル） TEL（44）3983・4396
工場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL（98）1149

新発売!! 定評ある SSS印

遂に完成……石膏の色壁

SSSカラープラスター

色むらのない 変色しない ペイント代節減

パーライトには

SSSパーライト用プラスター

軽量天井 吸音 保温 断熱に

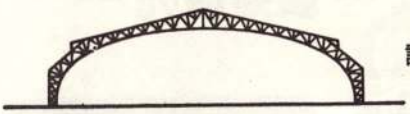
石膏ボード ボード用(S·B)プラスター
ラスボード 混合プラスター
吸音ボード 純石膏プラスター
キーンスセメント

サンエス石膏株式会社

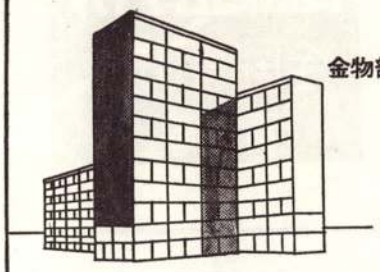
本社	姫路市神屋町4－77	TEL 姫路134·1220市外専用43	
大阪営業所	浪速区北日東町145	〃	⑥③ 3161～2
東京 〃	新宿区三光町22みくにビル内	〃	(351) 0396・(341) 3542
名古屋 〃	名古屋市東区駿河町1～18	〃	⑨ 4675
福岡 〃	福岡市下名島町29	〃	④ 8358

三高式
サッシュ.ドアー.シヤッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7－69
電 話 大 阪 37—1 7 5 4(代 表)

綜合建築設計への道

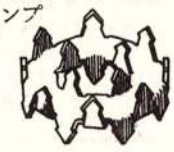


設計部 1.各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2.ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

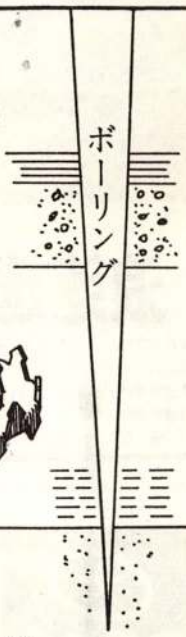


金物部 耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式（織本式）ヂベル及クランプ



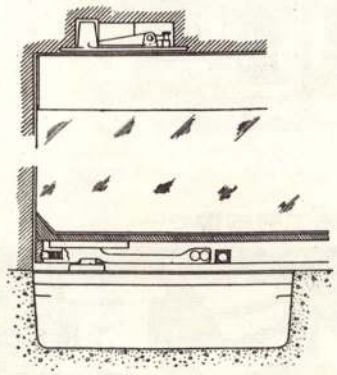


地質部 ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査

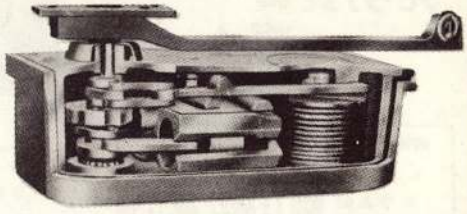


株式会社 織本建築事務所 所長 織本道三郎
(旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体)
東京都中央区日本橋かきがら町3の2 電話(671)6443・7007・7062

登録 NEWS 商標



ニュース印フロアーヒンヂ

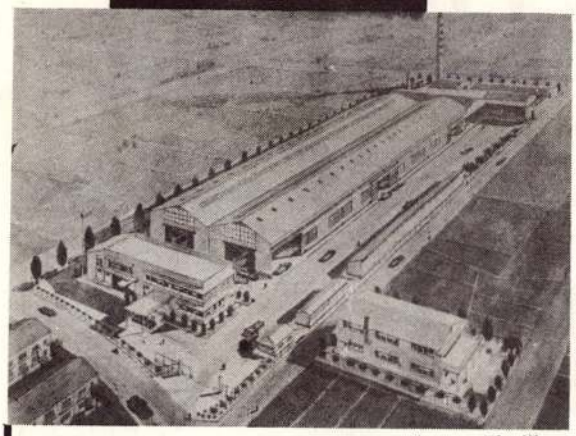


営業品目
ニュース印 ドアーチェック
〃 フロアーヒンヂ
〃 ピボットヒンヂ
〃 ラバトリーヒンヂ
カタログ進呈

株式会社 日本ドアーチェック製作所
尼崎市金楽寺2丁目24番地・電話 大阪(48)5855・7273番

浪建式

アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シヤッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —



第二工場

NANIWA
大正十四年
創業

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話 大阪㉝1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地　電話大阪㉝6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室　電話　東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話　福岡　④　8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話　大分　1366番

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

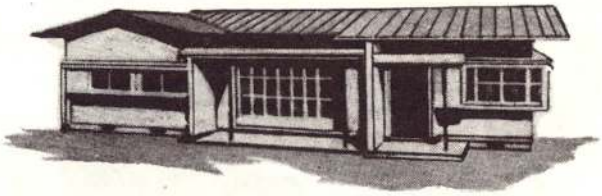
ホクセイ

アルミニウムの新しい瓦！

よい住心地をお約束……



MBV表面処理



—設計施工は施工明細書で—

発明賞に
輝く……

特許 アルミ瓦

—特　徴—

☆近代建築にマッチした美しい銀白色
☆軽くてさびず塗装不要の理想的屋根材
☆緩勾配で完全な防風水特許
☆熱反射高く夏は涼しく冬は暖かい
☆不燃・耐震性で防火・密集地区にも最適

北陸軽金属工業株式会社
本　社　富山県高岡市金屋町168　電話（代）2045
東京出張所　東京都中央区築地4の4（築地会館6階）
電話（541）4005～7・夜間専用（622）9885

建物内外装用に……
アルミニウムの ホクセイ 角波板
—色種— 金,銀,赤,青緑,青,黒,ブロンズ

※長尺,規格板,その他アルミ建材も販売致しております。



塗りつける

織物壁

★化学繊維の特長を生かした高級化粧壁材！

パピロン壁

（カタログのお申込みは全国有名建材店へ）

★純和壁の最高級……

日本壁

★日本座敷に優美な……

錦上壁

★近代文化建築の塗壁材……

いすゞ壁

株式会社 新興建材工業所

本　　社　大阪市西区四ッ橋　TEL（54）5756～9番
九州出張所　福岡市西唐人町1番地　TEL福岡(4)4651番

COPPER-BOSUITAI TRADE MARK OAM

● 黄綬褒章受賞

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

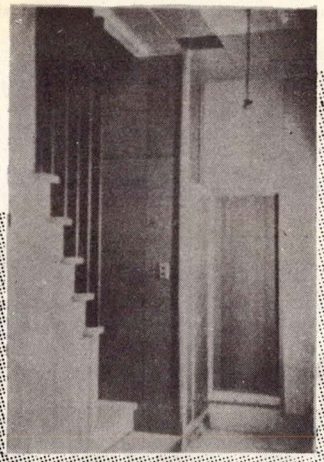
東京都中央区銀座西8の3
TEL　銀座（571）2703～4・2370・4064・0264

●御申越次第カタログ進呈

新 防火材
- アルマイト吸音板
- スギメラス
- 木毛セメント特殊板

建 化粧板
- メラミン樹脂製品
- ボード特殊合板
- プラスチック製品

材 吸音断熱
- スロール天井板
- 吸音ボード
- スロール断熱板

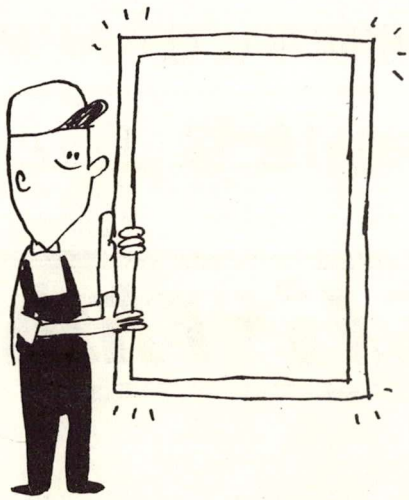


ロック認
ルモア
生きる近代建築に
魂ある文化材

30メーカー代理店

モデルハウス展示
すまいの開発店
西区立売堀2電(53)2843

大阪・四ツ橋
株式会社 山東建材社
TEL (54) 1861～5・2131・2233



近代建築に....
大建の
アルミサッシ
住友軽金属工業株式会社と提携

■錆びないスチールサッシは
オートメーション焼付塗装ラインに依る
大建の 2重焼付塗装で
■部材で1回、成品で1回

建
大阪建材工業株式会社
営業所 大阪市南区九郎右衛門町21番地 TEL 大阪 ⑮ 0836～9
本社工場 堺市松屋町1丁目6番地 TEL 堺 ② 3323～7
出張所 名古屋 TEL 名古屋 ⑨ 4884 金沢TEL金沢 ③ 3427～8

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚(079) 2153
大阪連絡所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話 ㊾ 2626(直通)
出張所電話　東京（431）0874・名古屋 ㉜ 1331
ウォータイト式防水工事代行店電話　大三工業 高松②8697　安藤工事 仙台③0721・札幌⑤7171　福岡③5765　豊永建材 広島④3567

仕様書型録贈呈

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

本社 東京都品川区二葉町1－441　電話東京(781) 1715
取締役社長 矢中龍次郎　大阪営業所 大阪市東成区西今里町2－48 電話 ㊼ 4765・0063

防火シヤッター

甲種

乙種

パイプシヤッター

電動式・手動式・バランス

株式会社 日本シヤッター製作所

本社工場	大阪市東淀川区田川通6丁目38番地	電話(大阪)㊳代8565～8番
東京工場	川崎市新丸子東3丁目1159番地	電話中原局(047)6325～7番
九州工場	福岡市橿田町1268番地	電話 ② 4647番
名古屋支店	名古屋市中区宮出町23番地	電話 中㉔4811番
高松営業所	高松市丸ノ内10番地(井筒ビル内)	電話 ② 4008番
岡山営業所	岡山市内山下30ノ7番地	電話 ② 7219番
高知営業所	高知市西紺屋町10番地	電話 ② 7349番
神戸連絡事務所	神戸市生田区中山手通3丁目18番地	電話 ② 2650番

（呈カタログ・資料）

代行販売店

中博光商店	札幌市北1条通東1丁目(通川通)	電話 代表(4)0281番
理研興業株式会社	小樽市色内町5ノ45番地	電話(0872・2656・7523番
三協建材株式会社	東京都中央区八重洲3ノ1(広瀬ビル2階)	電話(271)66～6番
栄進鉄工所	沼津市大岡南小林3400	電話 沼津 955番
佐野鋼材株式会社	清水市江尻竹下町8	電話 (2) 3628・4615番
石本金属株式会社	新潟市古町五番町624	電話(2)3181～5番
福田商店	富山市奥田北町8番地	電話代表8541市外99
磯田金属工業株式会社	広島市研屋町25	電話(4)8271～4番
永見金属株式会社	松江市朝日町駅南口通	電話3224・5452番
三京交易株式会社	福岡市下浜口町23番地	電話 (3) 0144 (2) 4647番
〃 小倉出張所	小倉市博労町72ノ1	電話 (5) 3673番
〃 長崎出張所	長崎市千馬町1ノ9	電話 (2) 0890番
大石産業株式会社	八幡市通町20丁目	電話(61)195～6番
中村金物株式会社	鹿児島市武町570番地	電話代表6650～3番
〃 熊本支店	熊本市紺屋町1ノ30	電話 (2) 1231・4684番
田中鉄工株式会社	九亀市城西町142	電話329・1221番
小川建材店	千葉市汐見ヶ丘24番地	電話 (2) 0897番
橋本工作所	福島県郡山市北田町16	電話 郡山 2830番

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十五年十二月二十日印刷
昭和三十五年十二月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

エハラ・ポンプ
ターボ冷凍機



株式會社
荏原製作所

新しい製品！

●色柄がずっと豪華版な……

三星ソフトンタイル

足ざわりも歩いた気分も

ソフトな弾力

ソフトンタイルは，まるで美しい織物のように，
複雑な絵模様を出すのに成功しました　それに，
姉妹品プラスタイルPに比べ，弾力もつよく，す
べりも少くなりました
ご家庭やホテル・喫茶店，会社・官庁などに，……

●三星プラスタイル　●三星アスファルトタイル
●三星Pタイル　●三星マチスタイル

三星ルーフィングの

田島応用化工株式会社

工場・小台営業所・東京都足立区小台町633　TEL（911）1181（代）
本社・神田営業所・東京都千代田区神田岩本町13　TEL（866）6148
大阪出張所・大阪市西区京町堀上1～14　TEL（44）5951（代）

売価　一部　金百八十円（送料共）